

通訳案内士就業実態等調査事業 報告書

平成20年3月

国土交通省

第1部	1
1. はじめに	1
(1) 調査事業背景	1
(2) 通訳案内士制度	1
① 通訳案内士試験	1
② 通訳案内士の登録	2
③ 無資格ガイド対策	2
2. 通訳案内士試験の現状	3
(1) 通訳案内士試験	3
(2) 地域限定通訳案内士	7
3. 通訳案内士登録者数	8
第2部	11
1. 調査の実施概要	11
(1) 調査の目的	11
(2) 調査概要	11
(3) 調査の手法	11
(4) 調査の概観	11
2. 有効回答者の属性	15
(1) 年齢	15
(2) 性別	15
(3) 都道府県別回答者数	16
(4) 登録言語	16
3. 調査結果の概要	17
(1) 通訳案内士登録者の概観	17
(2) 通訳案内士の就業実態	17
(3) 通訳案内士の稼働実態	18
(4) 通訳案内士の業務内容実態	21
(5) 兼業者・未就業者の実態	24
(6) 業界団体への所属状況	25
(7) 研修・自己啓発	26
第3部	28
1. 通訳案内士の就業実態	28
(1) 就業状況	28
① 世代別就業状況	28

②	男女別就業状況	29
③	地域別就業状況	29
④	登録言語別就業状況	32
2.	通訳案内士の稼働実態	33
(1)	年間稼働日数	33
①	世代別年間稼働日数	34
②	男女別年間稼働日数	35
③	地域別年間稼働日数	36
④	登録言語別年間稼働日数	37
⑤	専業／兼業別年間稼働日数	38
(2)	年間ツアー本数	39
(3)	就業日数の増減	40
①	地域別就業日数の増減	41
②	登録言語別就業日数の増減	42
(4)	通訳案内業による年収	43
①	世代別通訳案内業による年収	44
②	男女別通訳案内業による年収	45
③	地域別通訳案内業による年収	46
④	登録言語別通訳案内業による年収	47
⑤	就業状況別年収	48
(5)	仕事の取得方法	49
3.	通訳案内士の業務内容実態	50
(1)	主な業務内容	50
①	地域別業務内容	51
②	登録言語別業務内容	53
③	専業／兼業別主な業務内容	55
(2)	活動地域	56
①	世代別活動地域	56
②	登録地域別活動地域	56
③	登録言語別活動地域	56
④	専業／兼業別活動地域	60
(3)	案内することの多いお客様の地域・国	60
①	通訳案内士の活動地域別案内するお客様の多い地域	61
②	案内するお客様の多い地域別通訳案内士の登録言語	64
(4)	お客様の多い時期	65
①	通訳案内士の活動地域別お客様の多い時期	65
②	登録言語別お客様の多い時期	67

(5)	案内する事の多い観光地・観光施設	69
①	登録言語別案内する事の多い観光地	71
(6)	最近の傾向	73
①	旅行者の傾向	73
②	観光地・観光施設の現状	74
③	ガイドについて	74
4.	兼業者・未就業者の実態	75
(1)	兼業者の本業（副業）	75
(2)	未就業者の本業	75
(3)	兼業・未就業の理由	75
(4)	未就業者の就業意思	76
①	世代別未就業者の就業意思	76
②	男女別未就業者の就業意思	77
③	地域別未就業者の就業意思	78
④	登録言語別未就業者の就業意思	79
(5)	通訳案内士業に就く際の弊害	80
5.	業界団体への所属状況	82
(1)	所属の有無	82
①	世代別業界団体への所属有無	82
②	男女別業界団体への所属有無	83
③	地域別業界団体への所属有無	84
④	登録言語別業界団体への所属有無	85
⑤	就業状況別業界団体への所属有無	86
(2)	所属している団体	87
(3)	団体に所属していない理由	87
6.	研修・自己啓発	88
(1)	就業前研修（新合格者研修）について	88
①	参加経験	88
a.	登録言語別参加経験	89
b.	地域別参加経験	90
c.	就業状況別参加経験	91
②	研修実施主催者	92
③	研修情報の入手方法	92
④	参加した感想・要望	92
(2)	就業後の研修について	93
①	参加経験	93
a.	就業状況別参加経験	93

②	研修実施主催者	94
③	研修情報の入手方法	94
④	参加した感想・要望	95
(3)	ガイド研修以外に自主的に受験・受講している試験・講習会等	96
7.	「通訳ガイド検索システム」について	97
(1)	「ガイド検索システム」の認知度	97
①	就業状況別	98
②	ガイド団体の登録状況別	99
(2)	登録希望の有無	99
①	就業状況別	100
②	業界団体の所属別	101
(3)	登録希望の場合の掲載可能な情報	102
8.	意見・要望	103

資料

通訳案内士就業実態調査アンケート用紙

就業実態調査データ

通訳案内士に対するアンケート調査結果（北海道実施分）

第 1 部

1. はじめに

(1) 調査事業背景

外国人に対し、我が国・地域の魅力を正確かつ適切に伝えることが使命である通訳案内士は、外客接遇の向上および国際相互理解の増進の観点から極めて重要な役割を果たしている。

2010 年訪日外国人数 1,000 万人達成に向けて、平成 18 年度に「通訳案内業法」および「外国人旅客の来訪地域の多様化の促進による国際観光の振興に関する法律」を改正し、通訳案内士に係る参入規制の緩和や地域限定通訳案内士制度の創設など通訳案内士制度の見直しが行われてきた。また、平成 18 年度には通訳ガイド検索システムの運営開始や通訳ガイドスキルアップ・プログラムの策定等通訳案内士の就業を補助する施策もとられた。

しかし、通訳案内士の詳細における就業状況等は調査されていないのが実情である。

(2) 通訳案内士制度

通訳案内士とは、報酬を得て、通訳案内（外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をすることをいう。）を行うことを業とするものである（通訳案内士法第 2 条）。通訳案内士となるには、通訳案内士試験に合格し、都道府県知事の登録を受けなければならない（通訳案内士法第 2 条、第 3 条、第 18 条）。

通訳案内士試験は、通訳案内士として必要な知識及び能力を有するかどうかを判定する事を目的としており、筆記及び口述の方法により行われている（第 5 条、第 6 条）。

訪日外国人旅行者の増加、並びにニーズの多様化に対応するための人材の確保に向け、平成 18 年度には「通訳案内業法」及び「外国人観光旅客の来訪地域の多様化の促進による国際観光の振興に関する法律」の改正に伴い、通訳ガイドに係る参入規制が緩和され、さらには、地域限定通訳案内士制度が創設されたところである。

① 通訳案内士試験

通訳案内士試験に合格したのものは、通訳案内士となる資格を有する（通訳案内士法第 3 条）。通訳案内士試験は、通訳案内士として必要な知識及び能力を有するかどうかを判定することを目的とする試験である（通訳案内士法第 5 条）。通訳案内士試験は、筆記及び口述で行われ、筆記試験は「外国語」、「日本地理」、「日本歴史」、「産業、経済、政治及び文化に関する一般常識」の四科目について行われ、筆記試験に合格したものにつき、通訳案内実務について口述試験が行われる（通訳案内士法第 6 条）。平成 18 年度の試験制度の見直しを受け、外国語の筆記試験の評価方法が以前の相対評価から絶対評価へと変更され、また、前年度受験者に対する試験免除制度の拡充、他の試験の合格者に対する筆記試験の一部科目の受験免除が導入されたところである。受験免除となる試験は下記の通りである。

-
- a. 旅行業取扱管理者試験合格者・・・「日本地理」の受験免除
 - b. 実用英語技能検定一級合格者・・・「外国語（英語）」の受験免除
 - c. 歴史能力検定の日本史一級・二級合格者・・・「日本歴史」の受験免除

また、同じく平成18年度より、ソウル市、北京市、香港特別行政区及び台北市において通訳案内士試験の筆記試験（一次試験）が実施されるようになった。

② 通訳案内士の登録

通訳案内士となる資格を有する者が通訳案内士となるには、都道府県に備える通訳案内士登録簿に、氏名、生年月日、住所その他国土交通省令で定める事項の登録を受けなければならない（通訳案内士法第18条、第19条）。都道府県知事は、通訳案内士の登録をしたときは、申請者に通訳案内士登録証を交付する（通訳案内士法第22条）。通訳案内士は、通訳案内を受ける者に対して、登録証を提示しなければならない。また、その業務を行っている間は、登録証を携帯し、国若しくは地方公共団体の職員又は通訳案内を受ける者の請求が合ったときはこれを提示しなければならない（通訳案内士法第29条）。

平成18年の通訳案内士法への改正に伴い、従来の免許制から登録制になったが、平成18年4月1日までに免許を取得した者については、新たな手続きなく自動的に登録簿へ登録されている。

登録簿に登録されている事項に変更が生じた場合は、通訳案内士は、遅滞なくその旨を都道府県知事に届け出なければならない（通訳案内士法第23条）。また、通訳案内士が、その業務を廃止したとき、死亡したとき、通訳案内士の欠格事由に該当するとき、偽りその他不正の手段により通訳案内士の登録を受けたことが判明したとき、には通訳案内士又は相続人の届出により、都道府県知事はその登録を抹消しなければならない（通訳案内士法第25条）。

③ 無資格ガイド対策

通訳案内士法では、通訳案内士でない者は、報酬を得て、通訳案内を業として行ってはならないとし、これに違反したものに対しては50万円以下の罰金に処する（通訳案内士法第36条、第40条）。通訳案内業法から通訳案内士法への改正に伴い、罰則が強化された（罰金3万円から50万円へ変更）。

2. 通訳案内士試験の現状

(1) 通訳案内士試験

平成18年の通訳案内士試験の見直しを受け、外国語の筆記試験の評価方法が相対評価から絶対評価に変更となり、また、前年度受験者に対する試験免除制度の拡充、他の試験の合格者に対する筆記試験の一部科目の受験免除の導入により、試験合格者が顕著に増加している（表1、図1参照）。

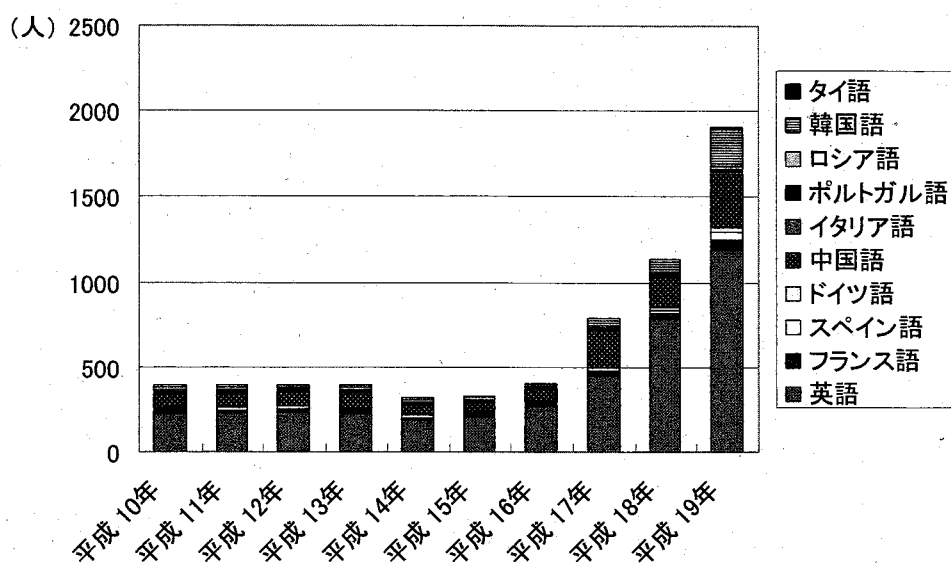
表 1.1 言語別通訳案内士試験合格者数

年度	合格者数(人)										累計 昭和24年～ 平成18年
	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	
英語	228	232	236	222	186	204	269	450	787	1,189	14,373
フランス語	14	15	14	9	15	14	12	16	28	64	873
スペイン語	10	12	8	11	13	5	10	11	23	41	832
ドイツ語	13	11	15	12	12	11	11	17	16	28	737
中国語	77	72	85	95	49	59	70	228	182	324	1,700
イタリア語	2	5	6	2	5	3	4	3	8	9	165
ポルトガル語	3	7	5	4	7	3	2	2	6	9	118
ロシア語	12	9	5	8	8	5	4	8	6	16	328
韓国語※	34	29	23	34	21	27	26	54	77	221	830
タイ語									4	4	8
合計	393	392	397	397	316	331	408	789	1,137	1,905	18,352

※平成17年度までは「朝鮮語」として実施。

(資料：国土交通省、JNTO)

図 1.1 合格者数推移



(資料：JNTO)

平成19年度は合格率が20.6%と前年の13.1%に比べ7.5ポイント伸びている(表2参照)。試験制度の見直し以前の平成17年から10ポイント以上合格率が伸びているのは、英語(10.9ポイント増)、フランス語(15.7ポイント増)、スペイン語(16.5ポイント増)、ロシア語(10.8ポイント増)、ポルトガル語(18.4ポイント増)の5ヶ国語。

表 1.2 言語別合格率

外国語	平成17年	平成18年		平成19年	
	合格率(%)	合格率(%)	前年比	合格率(%)	前年比
英語	10.5	16.8	6.3	21.3	4.5
中国語	12.9	8.2	-4.7	20.5	12.3
韓国語	13.5	6.9	-6.6	16.8	9.9
フランス語	7.3	12.6	5.3	23	10.4
スペイン語	9.3	16.4	7.1	25.8	9.4
ドイツ語	17.3	16.8	-0.5	23.1	6.3
ロシア語	11.4	8.8	-2.6	22.2	13.4
イタリア語	5.6	14.8	9.2	13.2	-1.6
ポルトガル語	5.9	13.3	7.4	24.3	11.0
タイ語		9.5		14.3	4.8
全体	11.2	13.1	1.9	20.6	7.5

(資料：JNTO)

年齢別合格者構成比（図2参照）では、30代と40代で全体の6割から7割を占めている。また、50代の合格者が占める割合が微増傾向にある。

表 1.3 年齢別合格者構成比

	平成17年		平成18年		平成19年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
10代	1	0.1%	3	0.3%	7	0.4%
20代	113	14.3%	125	11.0%	209	11.0%
30代	259	32.8%	342	30.1%	609	32.0%
40代	270	34.2%	398	35.0%	585	30.7%
50代	121	15.3%	209	18.4%	391	20.5%
60代	22	2.8%	58	5.1%	97	5.1%
70代	3	0.4%	2	0.2%	7	0.4%
合計	789	100.0%	1,137	100.0%	1,905	100.0%

(資料：JNTO)

合格者の職業別では、会社員が最も多く、毎年全体の約3割を占めている。次に多いのは主婦で、全体の約2割を占めている。

表 1.4 職業別合格者構成比

職業	平成17年		平成18年		平成19年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
会社員	222	28.1%	335	29.5%	591	29.5%
教職員及び塾講師	86	10.9%	151	13.3%	248	13.3%
翻訳・通訳	66	8.4%	96	8.4%	156	8.4%
公務員	40	5.1%	66	5.8%	76	5.8%
団体職員	21	2.7%	24	2.1%	32	2.1%
学生	37	4.7%	58	5.1%	65	5.1%
主婦	174	22.1%	214	18.8%	356	18.8%
無職	65	8.2%	82	7.2%	114	7.2%
その他	77	9.8%	111	9.8%	267	9.8%

(資料：JNTO)

居住地別合格者数では、東京都、大阪府、神奈川県の順で多く、この順位は過去3年間変動していない。平成19年度には韓国が千葉県を抜いて4位に入っている。
(表 1.5 参照)

表 1.5 居住地別合格者数上位5都府県

順位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
1位	東京都 (218名)	東京都 (320名)	東京都 (458名)
2位	神奈川県 (108名)	神奈川県 (138名)	神奈川県 (206名)
3位	大阪府 (54名)	大阪府 (104名)	大阪府 (165名)
4位	千葉県 (51名)	千葉県 (73名)	韓国 (151名)
5位	兵庫県 (42名)	埼玉県 (64名)	千葉県 (112名)

(資料：JNTO)

(2) 地域限定通訳案内士

平成19年度より地域限定通訳案内士制度が岩手県、静岡県、長崎県、沖縄県の4県にて英語、中国語、韓国語の3ヶ国語で導入された。試験は外国語については通訳案内士試験と同一試験となり、外国語以外は当該都道府県に係る「地理」、「歴史」、「産業、経済、政治及び文化」の筆記試験が行われる。

平成19年度は4県で84名が地域限定通訳案内士試験に合格した。

表 1.6 言語別地域限定通訳案内士試験合格者数

	都道府県別				合計
	岩手県	静岡県	長崎県	沖縄県	
英語	16	17	8	16	57
中国語	4	7	2	8	21
韓国語	0	0	3	3	6
計	20	24	13	27	84

(資料：岩手県、静岡県、長崎県、沖縄県)

3. 通訳案内士登録者数

現在、通訳案内士として登録している者は 10,958 名（平成 19 年 4 月 1 日現在）である。

言語別では、約 7 割が英語（7,490 人）の通訳案内士で、次いで中国語（1,164 人）、韓国語（512 人）、スペイン語（506 人）の通訳案内士が多い。しかし、平成 19 年 4 月 1 日現在で登録している通訳案内士 1 人に対する訪日旅行者数（平成 19 年）では、英語は通訳案内士 1 人あたり訪日旅行者数が約 211 人となるが、近年旅行者数が増加している韓国語は訪日旅行者約 5,000 名に対し 1 人、中国語は訪日旅行者約 2,300 人に対し 1 人となっている。

地域別では、通訳案内士登録者数は東京都（3,346 人）が最も多く、次いで神奈川県（1,524 人）、大阪府（991 人）で、全体の約 76%が関東 4 都県と近畿 3 府県に集中している。

表 1.7 訪日旅行者数あたりの通訳案内士数

言語	国名	訪日旅行者数 (平成19年)	通訳案内士登録者数 (平成19年4月1日現在)	通訳案内士1人あたりの 訪日旅行者数
英語	アメリカ	815,882	7,490 人	211 人
	カナダ	165,993		
	イギリス	221,945		
	オーストラリア	222,518		
	シンガポール	151,860		
フランス語	フランス	137,787	491 人	281 人
スペイン語	スペイン	33,478	506 人	102 人
	南アメリカ (ブラジル 除く)	18,148		
ドイツ語	ドイツ	125,193	427 人	324 人
	オーストリア	13,217		
中国語	中国	942,439	1,164 人	2,371 人
	台湾	1,385,255		
	香港	432,042		
イタリア語	イタリア	54,022	104 人	519 人
ポルトガル語	ポルトガル	13,351	69 人	467 人
	ブラジル	18,853		
ロシア語	ロシア	64,244	193 人	333 人
韓国語	韓国	2,600,694	512 人	5,079 人
タイ語	タイ	167,481	2 人	83,741 人

(資料: 国土交通省、JNTO)

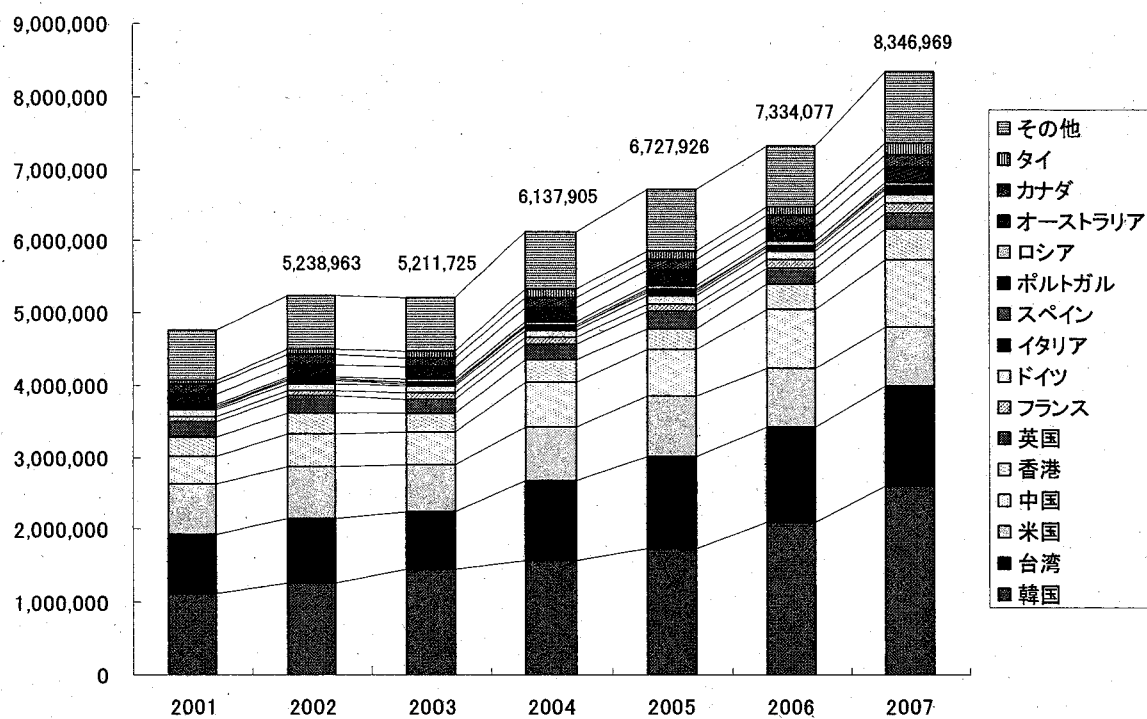
表 1.8 通訳案内士登録者数

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

外国語 都道府県名	英語	フランス語	スペイン語	ドイツ語	中国語	イタリア語	ブルガリア語	ロシア語	韓国語	タイ語	合計
北海道	110	4	3	7	18			8	14		164
青森	16			3	1				1		21
岩手	9				1			1	2		13
宮城	51		1	1	5	2			1		61
福島	24	2		1	1			1	1		30
秋田	7				3						10
山形	16	1	2		1	1		2	1		24
新潟	40	1	1	3	4			3	2		54
長野	39		1		4	1			4		49
茨城	81	6	4	6	14	1	2	1	3		118
栃木	44	1		2	3				1		51
群馬	28		3	4	9			2	2		48
埼玉	397	19	28	24	79	1	5	19	39	1	612
千葉	510	26	37	38	81	5	8	17	21		743
東京	2,138	234	182	156	320	45	29	78	164		3,346
神奈川	1,049	70	82	68	169	19	10	23	34		1,524
山梨	28	1	2		2	1		1	1		36
富山	19	1			4			1	3		28
石川	28	1	3	2	4			1	2		41
福井	21	1			4				1		27
岐阜	54		3		11		2		1		71
静岡	82	8	7	2	15	2	3	1	3		123
愛知	253	10	20	13	54	5	2	2	13		372
三重	53	1	2	1	4			1	2		64
滋賀	66	4	4	1	6			2	5		88
京都	297	31	10	16	46	8	1	5	32		446
大阪	694	23	54	33	94	6	3	12	71	1	991
兵庫	474	19	31	17	76	4	1	7	26		655
奈良	140	9	9	6	19	1	1	1	6		192
和歌山	24		2		4			1	4		35
鳥取	6	1	1	1	2			1			12
島根	13	1		1	3				1		19
岡山	53	4	4		3		1		4		69
広島	167	2	4	3	21		1	1	5		204
山口	32			1	6			1	5		45
徳島	16	1			2	2					21
香川	40				3						43
愛媛	38		1		3				1		43
高知	18		1						1		20
福岡	145	5	4	13	41				24		232
佐賀	9			2	2				2		15
長崎	34	2			1				2		39
熊本	29	1			8				2		40
大分	34			1	4				1		40
宮崎	23			1							24
鹿児島	23	1			5				2		31
沖縄	18				4				2		24
計	7,490	491	506	427	1,164	104	69	193	512	2	10,958

(資料：国土交通省)

図 1.2 国籍別訪日旅行者数推移



(資料：JNTO)

第2部

1. 調査の実施概要

(1) 調査の目的

現在、通訳案内士登録者数は10,958名（平成19年4月1日現在）であるが、観光立国推進基本計画においても平成23年までに地域限定通訳案内士も含め、約5割増の15,000人の登録を目標としている。

一方で、通訳案内士は各都道府県に登録する個人事業主であるため、通訳案内士の就業実態や各種施策の効果は把握できていないのが現状である。そこで、本調査においては、通訳案内士の就業実態を明らかにするとともに、通訳案内士制度の充実を図ることを目的とする。

(2) 調査概要

- ① 調査対象：44都府県に登録している通訳案内士（北海道、群馬、大分を除く）
- ② 調査方法：郵送によるアンケートの配布・回収
- ③ 配布数：10,403通
- ④ 回収数：回答数 3,488通
 - 有効回答数 3,446通（有効回答回収率 33.1%）
 - 無効回答数 42通（回答不備及び回答者死亡）
 - あて先不明 3,396通（回収状況詳細については表2.1参考）
- ⑤ 配布時期：平成20年2月～3月
- ⑥ 回収時期：平成20年2月～4月末日

(3) 調査の手法

各都道府県に設置している登録簿に登録している通訳案内士の登録者の氏名、住所について、各都道府県から調査の協力を受け、アンケートを発送し、郵送にて回収した。

なお、北海道¹、群馬県、大分県については、調査の協力が得られなかったため、調査対象が44都府県に登録している通訳案内士となった。

(4) 調査の概観

本調査では、以下の事項について調査、分析を行った。なお、調査票は添付資料の通り。

¹ 北海道は平成19年に道に登録している通訳案内士を対象に同様の調査を行っている。北海道の行った調査結果は別添資料を参照。

調査・分析項目一覧

調査事項	クロス分析項目
1. 通訳案内士の就業実態（調査対象：回答者全員）	
(1) 就業状況（専業、兼業、未就業の別）	① 世代 ② 性別 ③ 登録地域 ④ 登録言語
2. 通訳案内士の稼働実態（調査対象：専業・兼業者）	
(1) 年間稼働日数	① 世代 ② 性別 ③ 登録地域 ④ 登録言語 ⑤ 就業状況（専業・兼業）
(2) 年間ツアー本数	無
(3) 就業日数の増減	① 登録地域 ② 登録言語
(4) 年収	① 世代 ② 性別 ③ 登録地域 ④ 登録言語 ⑤ 就業状況（専業・兼業）
(5) 仕事の取得方法	無
(6) 主な業務内容	① 登録地域 ② 登録言語 ③ 就業状況（専業・兼業）
(7) 活動地域	① 世代 ② 登録地域 ③ 登録言語 ④ 就業状況（専業・兼業）
3. 訪日外国人客の動向（調査対象：専業・兼業者）	
(1) 案内することの多いお客様の地域・国	① 活動地域 ② 登録言語
(2) お客様の多い時期	① 活動地域 ② 登録言語
(3) 案内する事の多い観光地・観光施設	① 登録言語
(4) 最近の傾向	無
4. 兼業者・未就業者の実態（調査対象：兼業・未就業者）	
(1) 兼業者の本業（副業）	無
(2) 未就業者の本業	無
(3) 兼業・未就業の理由	無
(4) 未就業者の就業意思	① 世代 ② 性別 ③ 登録地域 ④ 登録言語
(5) 通訳案内業に就く際の弊害	無

5. 業界団体への所属状況（調査対象：回答者全員）	
(1) 所属の有無	① 世代 ② 性別 ③ 登録地域 ④ 登録言語 ⑤ 就業状況
(2) 所属している団体	無
(3) 団体に所属している理由	無
6. 研修・自己研鑽（調査対象：回答者全員）	
(1) ① 就業前研修参加経験	a. 登録言語 b. 登録地域 c. 就業状況
(1) ② 就業前研修実施主催者	無
(1) ③ 就業前研修情報の入手方法	無
(1) ④ 就業前研修に参加した感想・要望	無
(2) ① 就業後研修参加経験	- 就業状況
(2) ② 就業後研修実施主催者	無
(2) ③ 就業後研修情報の入手方法	無
(2) ④ 就業後研修に参加した感想・要望	無
(3) ガイド研修以外に自主的に受験・受講している試験・講習会等	無
7. 「通訳ガイド検索システム」について（調査対象：回答者全員）	
(1) 「通訳ガイド検索システム」の認知度	① 就業状況 ② ガイド団体登録状況
(2) 登録希望の有無	① 就業状況 ② ガイド団体登録状況
(3) 登録希望の場合の掲載可能な情報	無

表 2.1

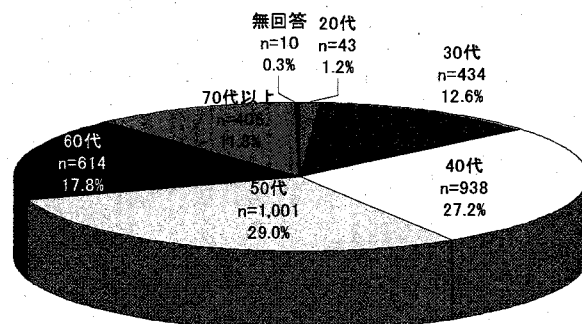
アンケート回収状況

都道府県	登録者数	有効回答数	無効回答数	宛先不明
北海道	164			
青 森	21	14		
岩 手	13	7		
宮 城	61	17	1	31
福 島	30	11		9
秋 田	10	6		
山 形	24	10		1
新 潟	54	15		19
長 野	49	16	1	15
茨 城	118	37		43
栃 木	51	14		12
群 馬	48			
埼 玉	612	210	4	176
千 葉	743	232	1	249
東 京	3,346	841	9	1,320
神奈川	1,524	502	3	379
山 梨	36	13		
富 山	28	22		
石 川	41	18		11
福 井	27	9		
岐 阜	71	29		11
静 岡	123	54		23
愛 知	372	132		96
三 重	64	30		15
滋 賀	88	31		24
京 都	446	130	1	126
大 阪	991	316	3	324
兵 庫	655	194	5	234
奈 良	192	59		56
和歌山	35	10		11
鳥 取	12	4		
島 根	19	7		4
岡 山	69	26		17
広 島	204	77	1	53
山 口	45	13		15
徳 島	21	12		1
香 川	43	14		12
愛 媛	43	18		
高 知	20	11		5
福 岡	232	82		79
佐 賀	15	9		6
長 崎	39	16		
熊 本	40	19	1	13
大 分	40			
宮 崎	24	6		
鹿児島	31	8		1
沖 縄	24	6		5
無回答		139	12	
計	10,958	3,446	42	3,396

2. 有効回答者の属性

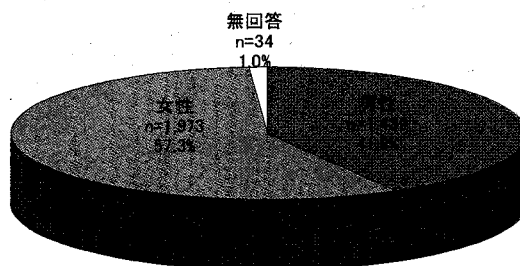
(1) 年齢 (n=3,446)

回答者の年齢は、50代が 29.0% (n=1,001) で最も多く、次いで 40代 (27.2%、n=938)、60代 (17.8%、n=614)。



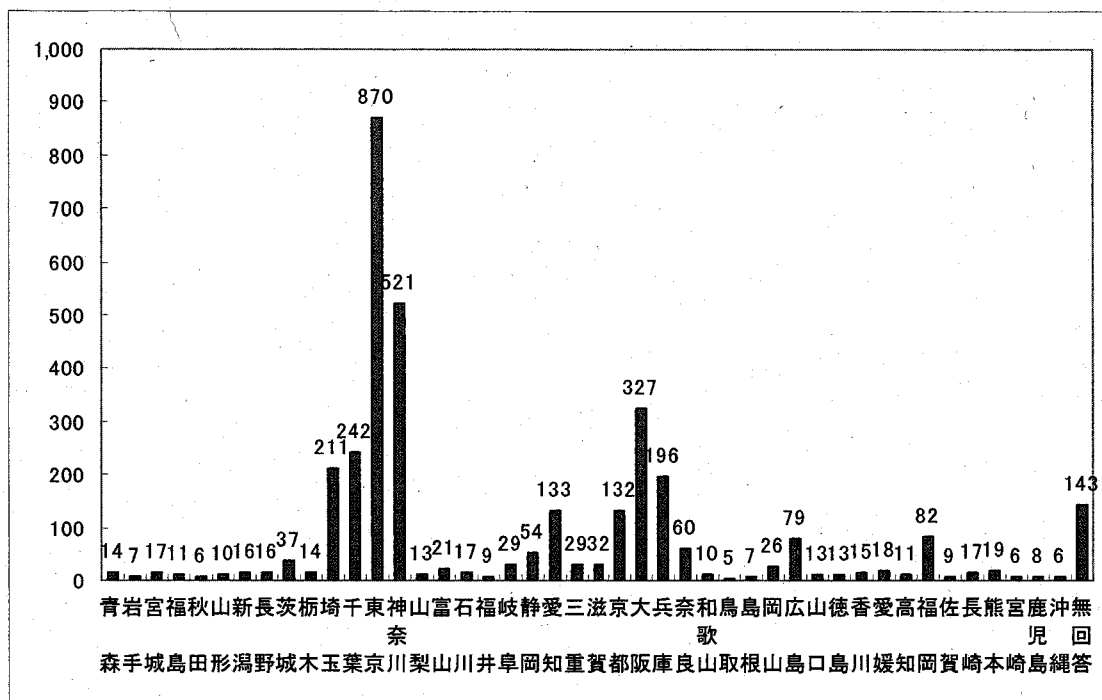
(2) 性別 (n=3,446)

男性が 41.8% (n=1,439)、女性が 57.3% (n=1,973) と女性が 15.5 ポイント男性を上回っている。



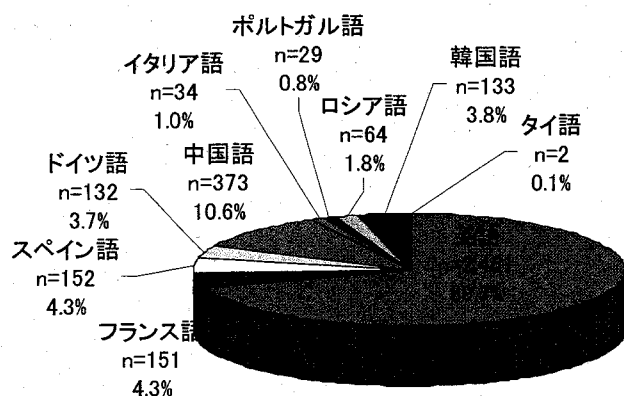
(3) 都道府県別回答者数 (n=3,446)

都道府県別回答者数は、登録者数の多い東京都が最も多く 870 人、次いで神奈川県
の 521 人となっており、関東が全回答者の約 55%を占める 1,908 人。



(4) 登録言語 (n=3,446)

登録言語の割合は、英語が 69.7% (n=2,461)、次いで中国語が 10.6% (n=373)、
フランス語、スペイン語がともに 4.3% (n=152) となっている。

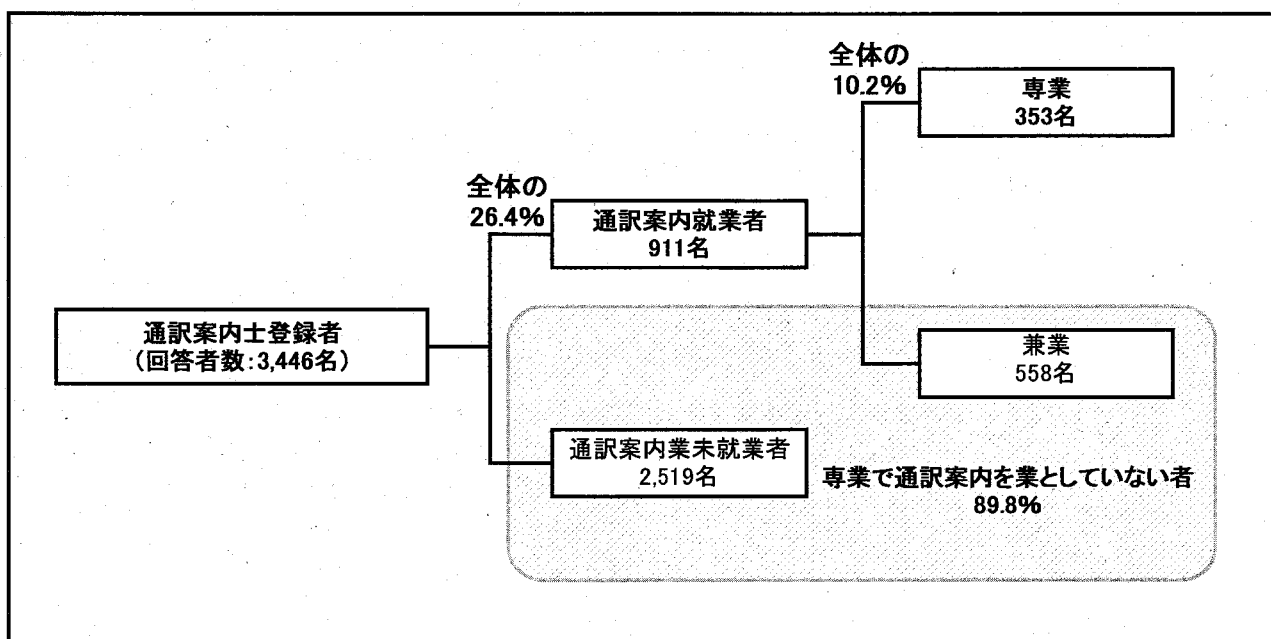


3. 調査結果の概要

(1) 通訳案内士登録者の概観

本調査結果によれば、通訳案内士として都道府県に登録している者のうち、実際に通訳案内業をしている者は26.4%であった。また、通訳案内業を専業としているのは、通訳案内士としての登録者全体の10.2%であった。

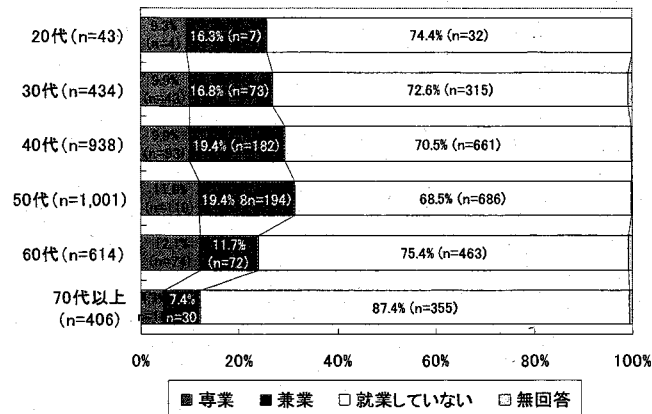
図 2.1 通訳案内士登録者の概観



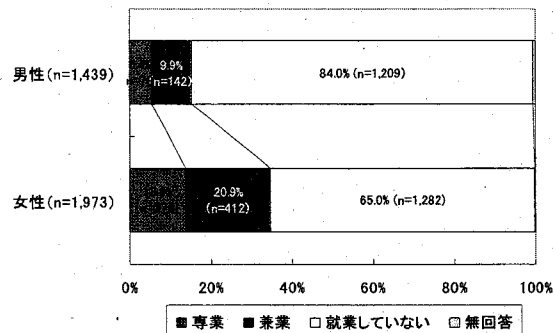
(2) 通訳案内士の就業実態

通訳案内士として登録している者のうち、通訳案内士として就業している者（専業および兼業）の割合が高いのは、50代が最も多く、次いで40代、30代となっている。一方、60代、70代は就業率が低い状況となっている。性別では、男性より女性の方が就業割合は高い。

世代別就業状況



男女別就業状況

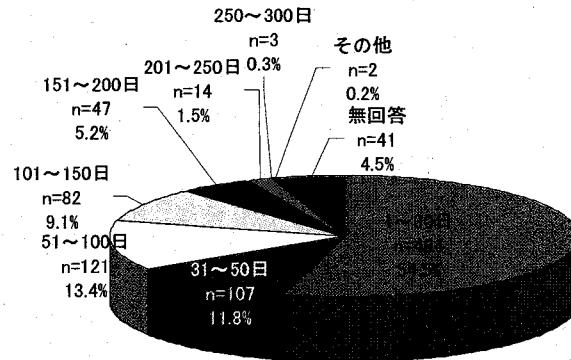


また、地域別の就業率については、関東で就業率（専業・兼業の割合）が 25.1%、近畿で 33.4%となっている。通訳案内士の登録者数が関東・近畿に集中しており（全体の約 76%）、それに伴い調査の有効回答数にも地域別に差があるため、他の地域については傾向がつかみにくい。同様に言語別の就業率（専業・兼業の割合）についても登録者数および調査の有効回答の約 70%が英語の通訳案内士であることから、英語の通訳案内士の就業率は 23.6%だが、他の言語の傾向はつかみにくい。

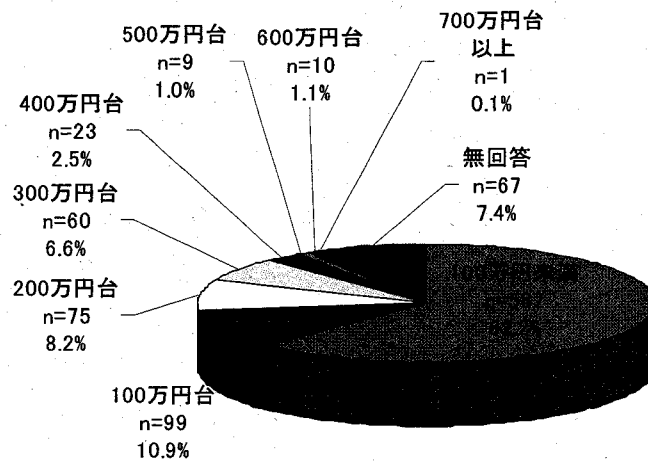
(3) 通訳案内士の稼働実態

通訳案内就業者の約半数の 54.5%が年間稼働日数 30 日以下となっており、また、通訳案内業による年収は 100 万円以下が 62.2%を占めるなど、通訳案内士の資格を有している者であっても就業機会や収入が限られている実態が伺える。

年間稼働日数

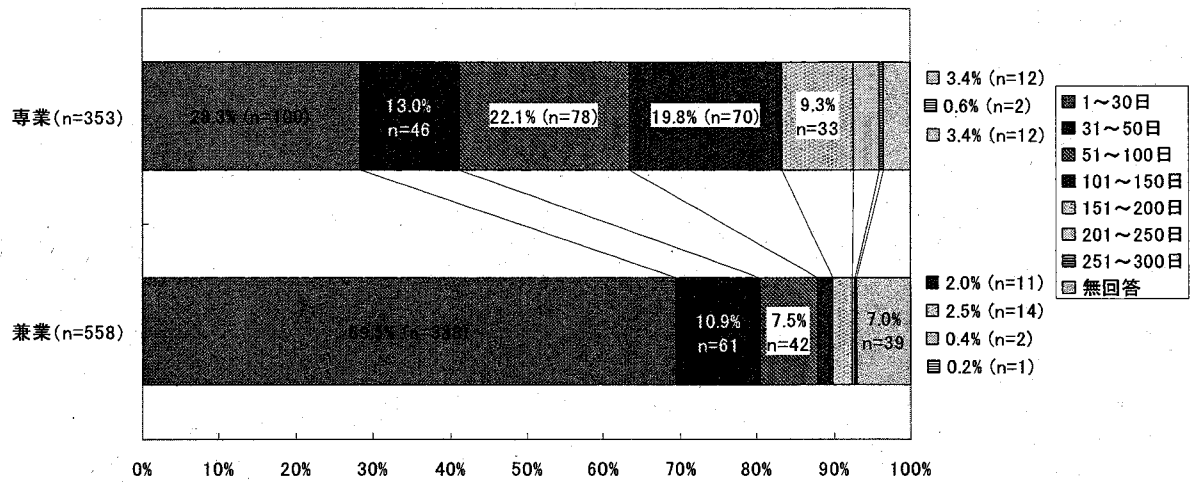


通訳案内業による年収

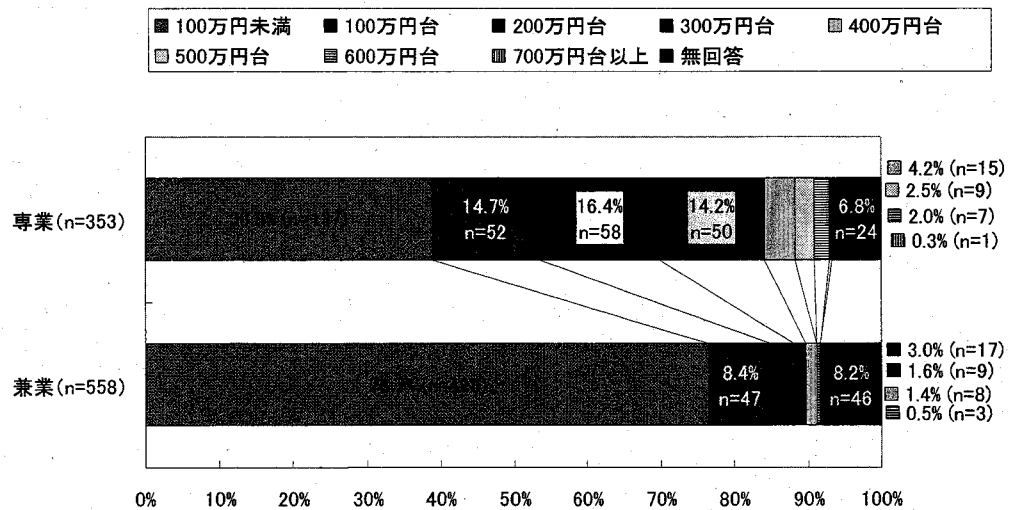


通訳案内業を専業としている者は、兼業に比べて稼働日数、収入とも高い数値を示しているものの、稼働日数で年間30日以下の就業が28.3%と最も高い割合、また、通訳案内業による年収に関しても100万円未満の者が38.8%と最も高い割合となっており、通訳案内業のみで生計を立てるのが困難な状況がうかがえる。

専業／兼業別年間稼動日数

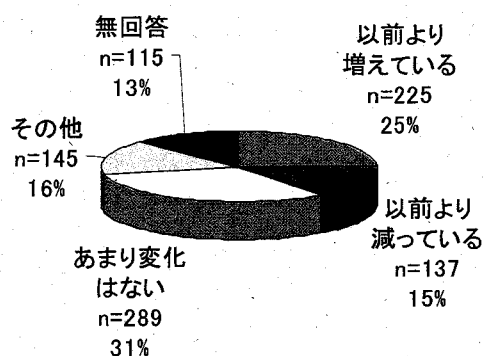


専業／兼業別年収

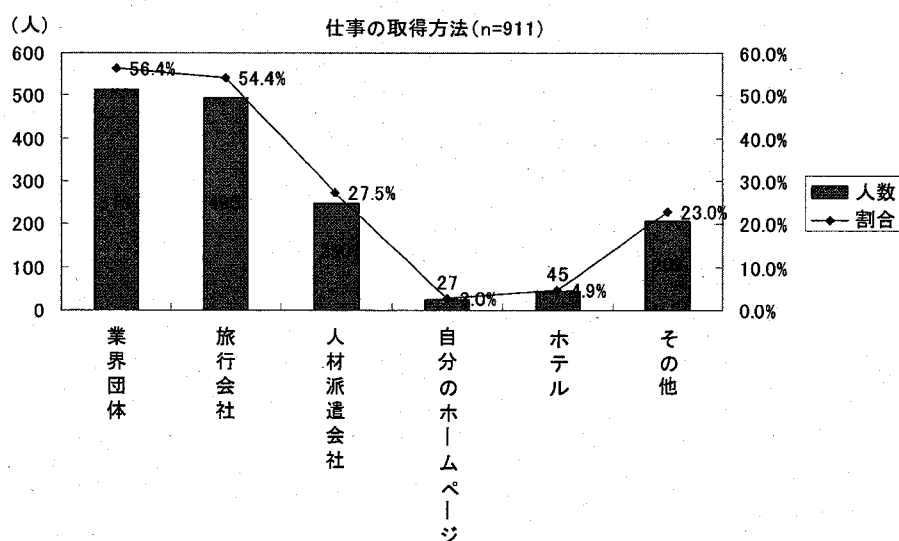


一方で、就業日数については、「以前より増えている」との回答が「以前より減っている」との回答を上回っており、徐々に仕事の機会が増加しているとも考えられる。

就業日数の増減



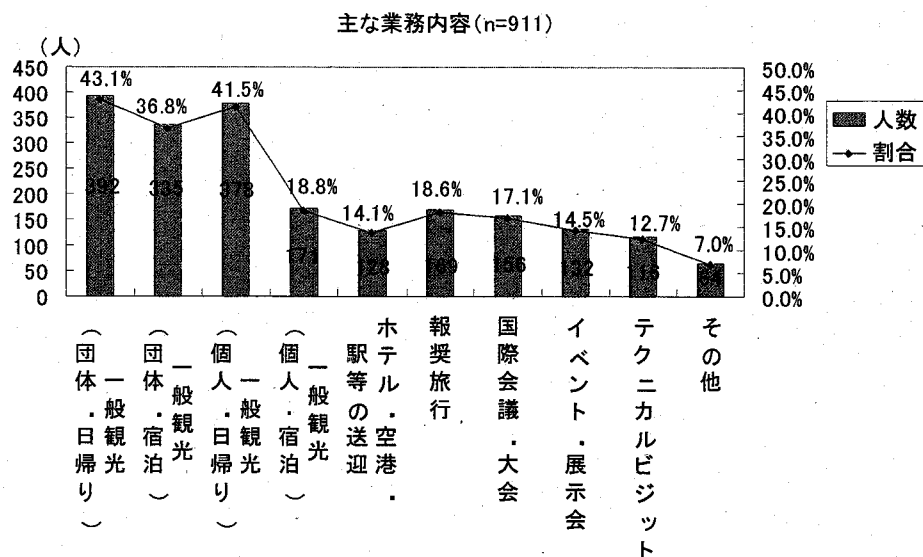
・仕事の取得方法としては、ガイド団体（56.4%）と旅行会社（54.4%）がもっとも多く、自分のホームページ（3.0%）や友人・知人の紹介など個人的なつながりによる依頼・紹介（15.0%（「その他」の内数））は、比較的少なくなっている。



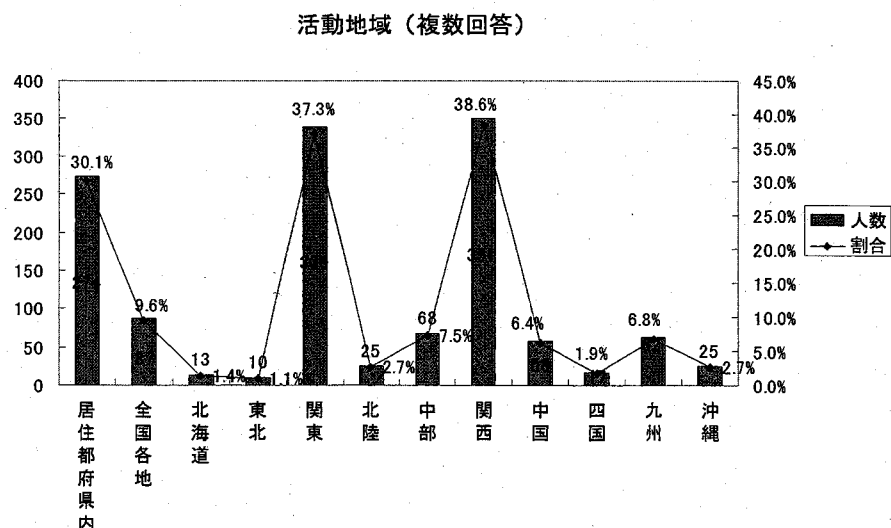
(4) 通訳案内士の業務内容実態

業務内容では、団体の一般観光（団体・日帰り：43.1%、団体・宿泊：36.8%）や個人の一般観光（個人・日帰り：41.5%、個人・宿泊：18.8%）が多数を占める一方で、報奨旅行（企業等による海外招待客への随行業務、18.6%）や国際会議・大会

(17.1%) やイベント・展示会 (14.5%) などにおけるプレ・ポストツアー等の案内業務も多く、幅広い業務内容となっている。

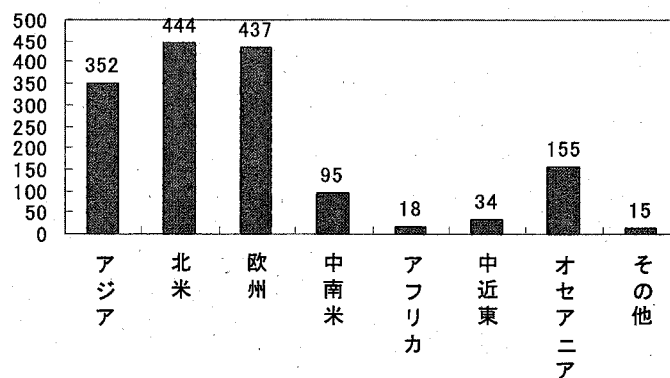


活動地域としては、関東 (37.3%)、関西 (38.6%) での仕事が多い。また、約 7 割が居住都道府県外の仕事であり、居住地に関わらず仕事を請負っている実態が伺える。

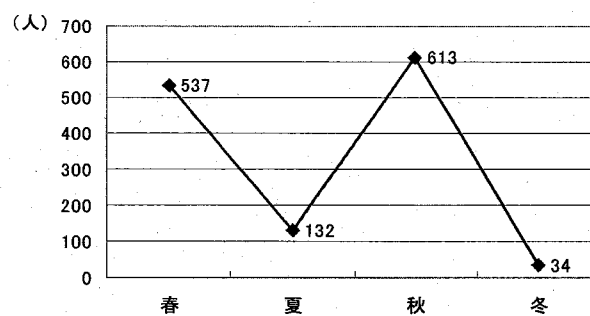


顧客の多い地域は、順に北米、欧州、アジアとなっており、季節としては、春と秋に偏りが見られる。

案内するお客様の多い地域



お客様の多い時期



案内することの多い観光地は、京都、東京、箱根、奈良、鎌倉、日光などのいわゆるゴールデンルートと呼ばれている地域が多い。観光施設では、金閣寺、皇居、清水寺、明治神宮、二条城など有名な寺社仏閣が上位を占めている。

案内することの多い観光地・観光施設

順位	観光地(n=2,201)	人数
1	京都	326
2	東京	237
3	箱根	187
4	浅草	184
5	奈良	131
6	日光	126
7	鎌倉	117
8	富士	83
9	広島	55
10	大阪	53
11	高山	47
12	宮島	47
13	秋葉原	35
14	銀座	34
15	お台場	33
16	金沢	33
17	白川郷	29
18	長崎	27
19	名古屋	18
20	築地	17

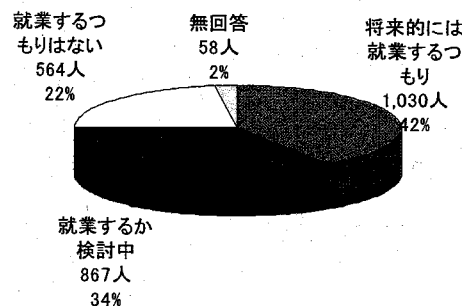
順位	観光施設(n=1,288)	人数
1	金閣寺	131
2	皇居	119
3	清水寺	112
4	明治神宮	105
5	二条城	83
6	寺社仏閣	65
7	東大寺	49
8	東京タワー	45
9	大阪城	44
10	浅草寺	35
11	平安神宮	26
12	三十三間堂	25
13	広島平和公園	23
14	竜安寺	22
14	春日大社	22
16	長崎原爆資料館	14
17	名古屋城	13
18	江戸東京博物館	12
19	熊本城	11
20	東京ディズニーリゾート	10
20	首里城	10

(5) 兼業者・未就業者の実態

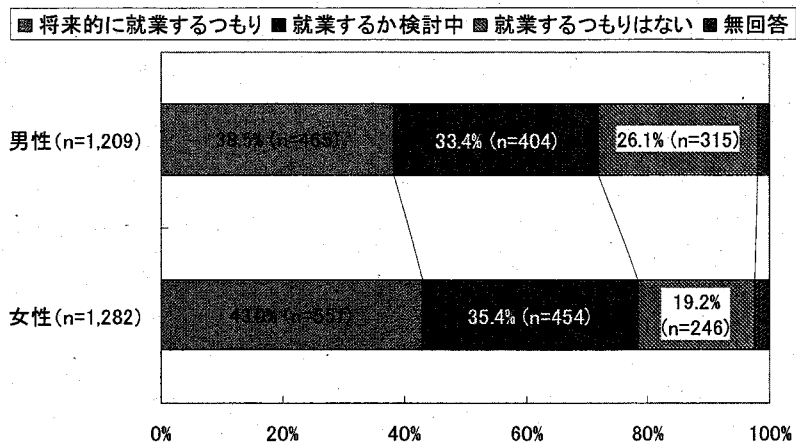
通訳案内士登録者の 16.2% を占める兼業者、73.6% を占める未就業者について、兼業者の本業（又は副業）としては、通訳・翻訳業が最も多く、ついで語学学校講師や語学学校経営など語学を活かしたものが中心となっている。一方、未就業者の本業としては、会社員（旅行業以外）、退職者、主婦、無職、学校教職員が多い。

通訳案内業未就業者の 42% が将来通訳案内を業としたいと回答している。年齢別にみると全体的に年齢が若いほど就業意思があり、また、性別では男性より女性の方が就業意思は高い。

通訳案内業に就く際の弊害としては、生業としての不安定さ、需要がない・少ないなどがあげられている。



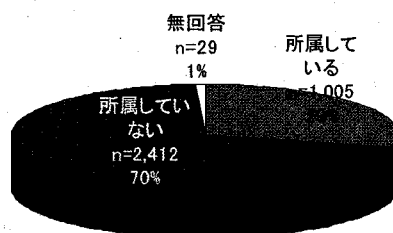
男女別未就業者の就業意思



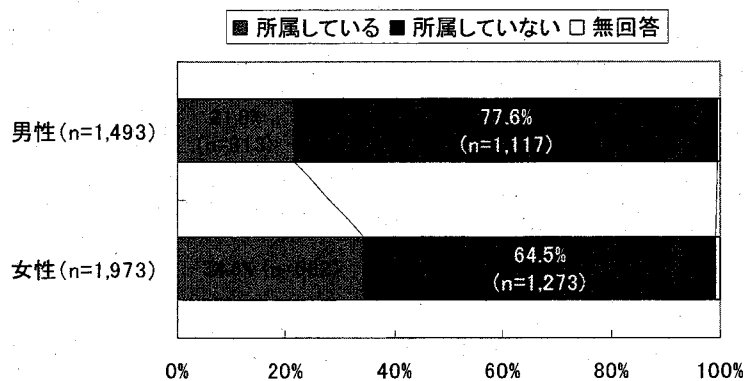
(6) 業界団体への所属状況

通訳案内士登録者のうち業界団体（ガイド団体）に所属しているのは 29%で、性別では女性（34.6%）の方が男性（21.8%）よりも所属割合が高い。専門者の 86.1% が団体へ所属している一方で、兼業者は 58.4%にとどまっている。

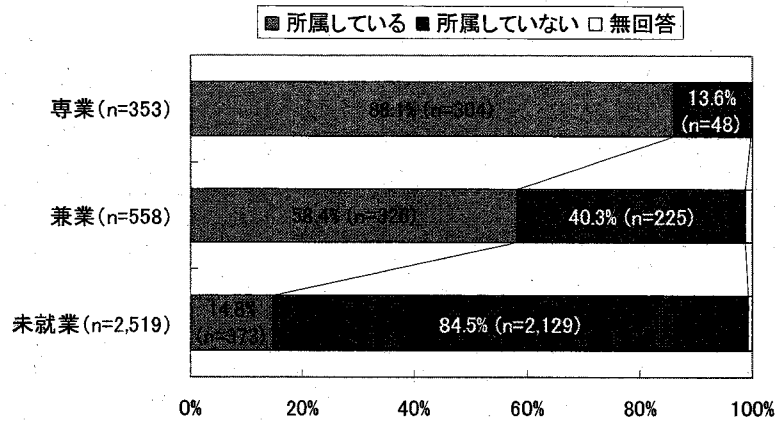
業界団体への所属状況



男女別業界団体への所属状況

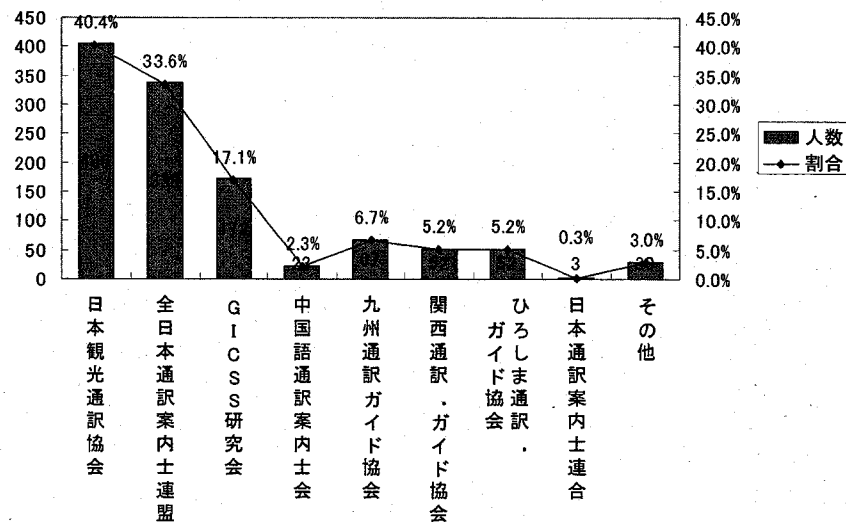


就業状況別業界団体への所属状況



所属団体としては、順に、日本観光通訳協会（40.4%）、全日本通訳案内士連盟（33.6%）となっている。

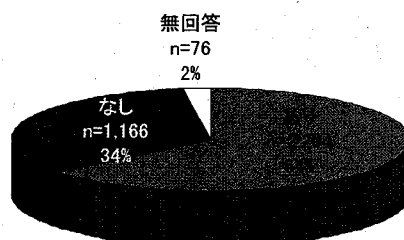
所属している団体



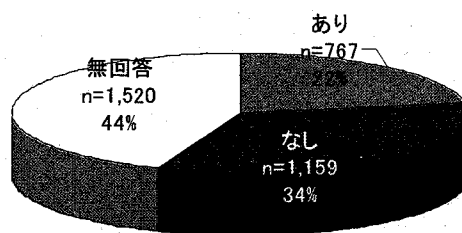
(7) 研修・自己啓発

就業前研修（新合格者研修）には、通訳案内士登録者の 64%が、就業後の研修には 22%が参加経験があると回答している。

就業前研修（新合格者研修）参加経験

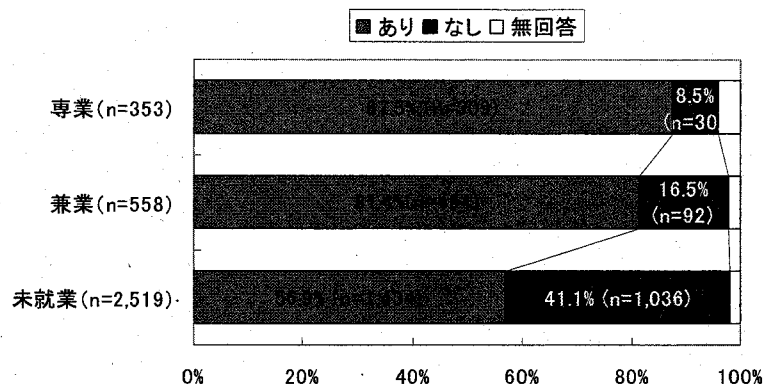


就業後の研修参加経験

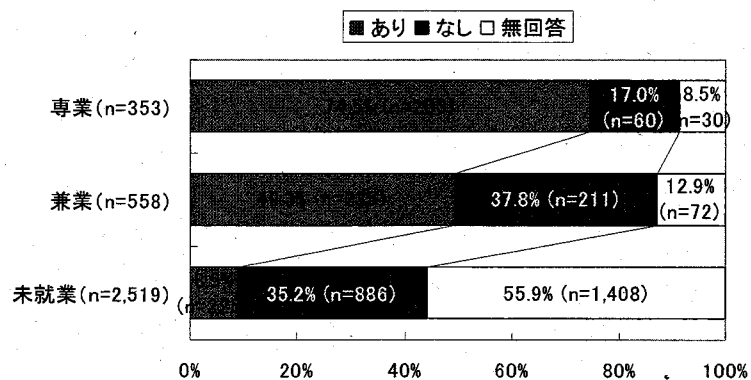


専門者の 87.5%、兼業者の 81.4%が就業前研修に参加、また、就業後研修についても、専門者の 74.5%、兼業者の 49.3%が参加している。

就業前研修（新合格者研修）：就業状況別参加経験



就業後研修：就業状況別参加経験



また、通訳ガイドの研修以外にも、語学力研鑽のために語学コースに通訳したり、旅程管理研修を受講するなど、自主的に研修を受講しているものもいる。

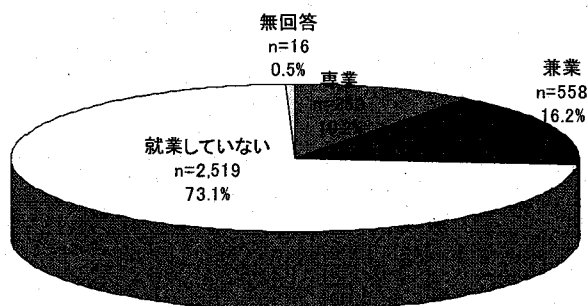
第3部

1. 通訳案内士の就業実態

通訳案内士登録者の就業状況を分析する。

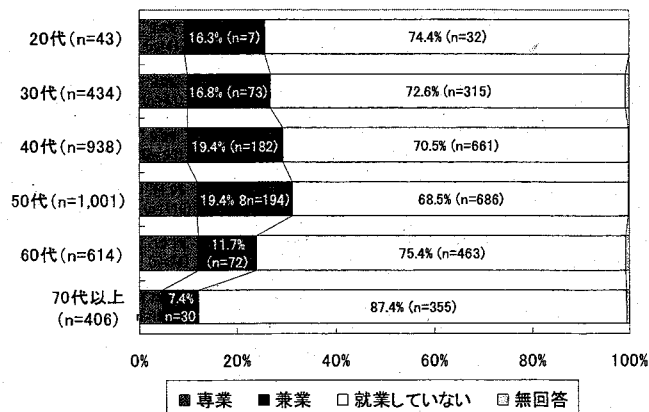
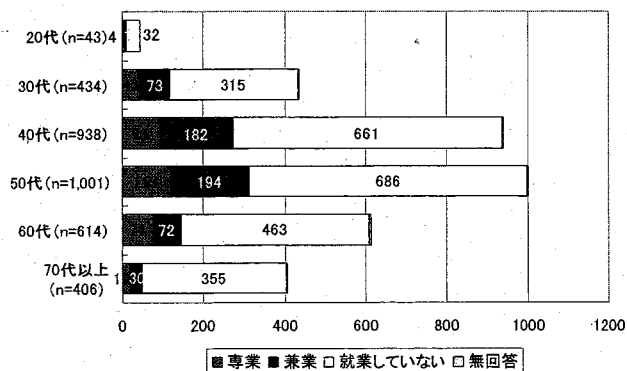
(1) 就業状況 (n=3,446)

通訳案内業を専業としていると回答した者は 10.2% (n=353)、通訳案内業と別の業務を兼業していると回答した者が 16.2% (n=558)、通訳案内業に就業していないと回答した者が 73.1% (n=2,519) と、通訳案内を業としている者は3割に満たず、7割以上の通訳案内士が資格を取得し登録はしているものの通訳案内を業としていない。



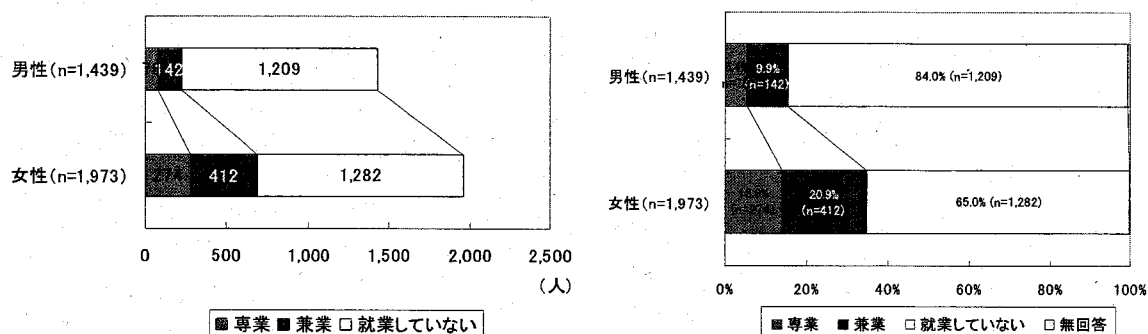
① 世代別就業状況

専業もしくは兼業で通訳案内を業としている者が最も多いのが50代(31.3%、n=119)、次いで40代(29.3%、n=93)。60代では専業の割合(12.1%、n=74)がわずかに兼業の割合(11.7%、n=72)を上回っている。



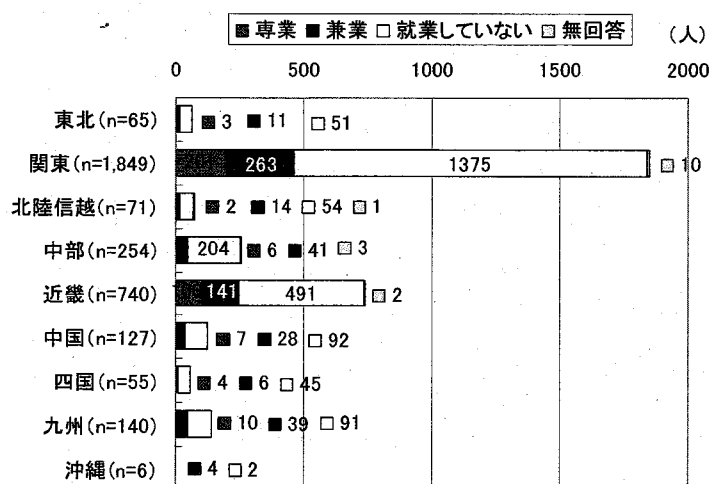
② 男女別就業状況

通訳案内を業としている人数、割合ともに女性が高く、女性では約 35% (n=686) が専業もしくは兼業で通訳案内を業としている。



③ 地域別就業状況

専業として通訳案内を業としている割合が最も高いのは、近畿で 14.3% (n=106)、次いで関東が 10.9% (n=201) となっている。また、関東・近畿地区で、専業者全体 (n=353) の 89% を占めている。その他の地域については、通訳案内士登録者数および有効回答数が少なく傾向はつかめない。



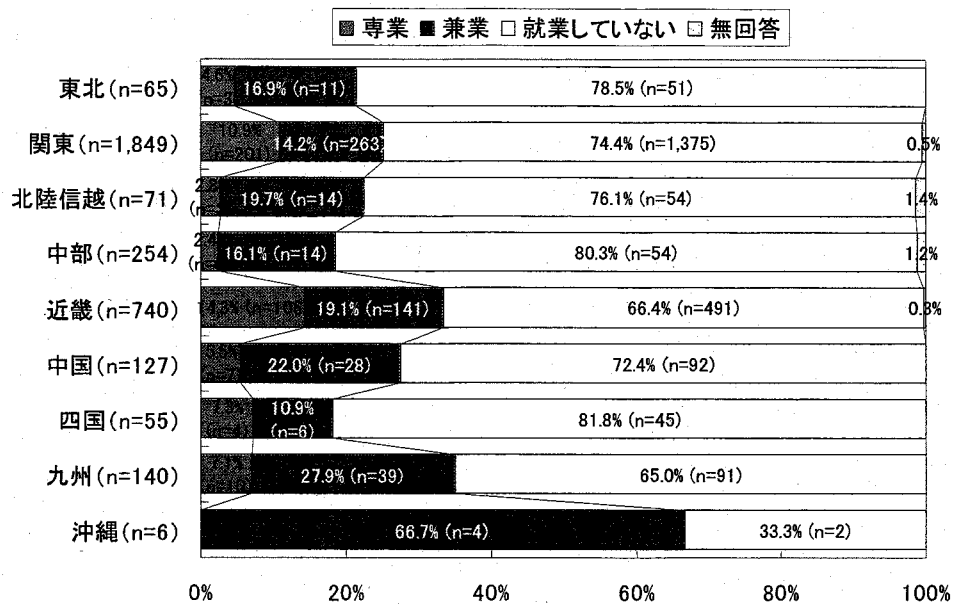


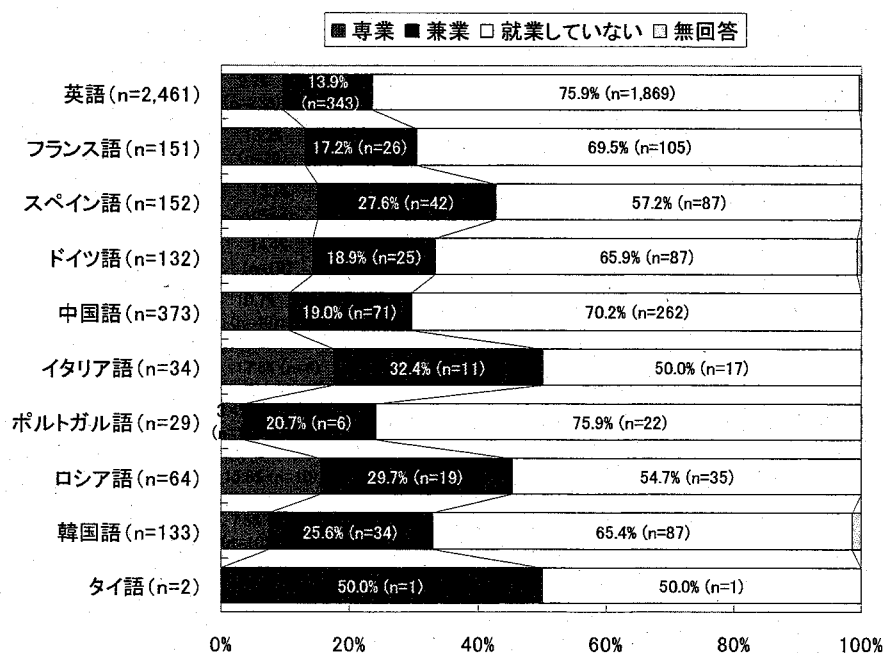
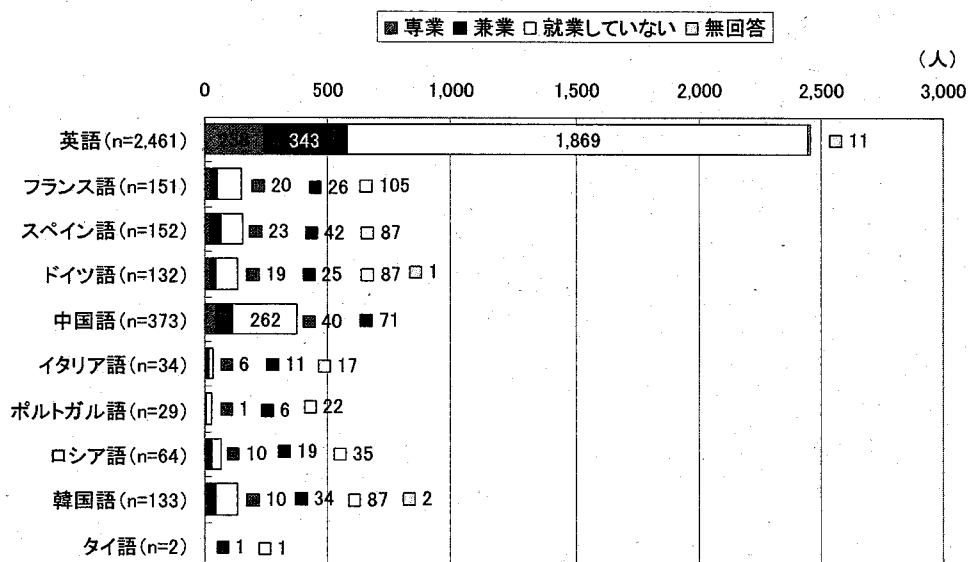
表 2.2 都道府県別就業状況

	都道府県	専業	兼業	就業して いない	無回答	計
東北	青森県		4	10		14
	岩手県		2	5		7
	宮城県	1	2	14		17
	福島県		2	9		11
	秋田県			6		6
	山形県	2	1	7		10
	計	3	11	51	0	65
関東	茨城県	1	4	30	2	37
	栃木県		3	11		14
	埼玉県	22	27	161		210
	千葉県	32	32	168		232
	東京都	84	127	623	7	841
	神奈川県	60	68	373	1	502
	山梨県	2	2	9		13
	計	201	263	1,375	10	1,849
北陸 信越	新潟県	1	5	9		15
	長野県	1	3	12		16
	富山県		3	19		22
	石川県		3	14	1	18
	計	2	14	54	1	71
中部	福井県		2	7		9
	岐阜県		5	24		29
	静岡県		9	45		54
	愛知県	6	21	103	2	132
	三重県		4	25	1	30
	計	6	41	204	3	254
近畿	滋賀県	4	7	20		31
	京都府	31	35	63	1	130
	大阪府	40	59	216	1	316
	兵庫県	26	31	137		194
	奈良県	5	7	47		59
	和歌山県		2	8		10
	計	106	141	491	2	740
中国	鳥取県			4		4
	島根県		1	6		7
	岡山県		5	21		26
	広島県	5	22	50		77
	山口県	2		11		13
	計	7	28	92	0	127
四国	徳島県		1	11		12
	香川県	1	1	12		14
	愛媛県	2	3	13		18
	高知県	1	1	9		11
	計	4	6	45	0	55
九州	福岡県	5	25	52		82
	佐賀県		3	6		9
	長崎県	5	2	9		16
	熊本県		5	14		19
	宮崎県			6		6
	鹿児島県		4	4		8
	計	10	39	91	0	140
沖縄	沖縄県		4	2		6
無回答	無回答	14	11	114		139
総計		353	558	2519	16	3,446

④ 登録言語別就業状況

専業の割合が最も高いのは、イタリア語で 17.6% (n=6)、次いでロシア語が 15.6% (n=10) スペイン語 15.1% (n=23) となっている。イタリア語、ロシア語、スペイン語は兼業者の割合も高くなっており、それぞれ 32.4% (n=11)、29.7% (n=19)、27.6% (n=42) である。専業率が最も低いのはポルトガル語で 3.4% (n=1)、次いで韓国語の 7.5% (n=10)、英語の 9.7% (n=238) となっている。

ただし、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語については、登録者数および有効回答数が少なく、傾向はつかめない。

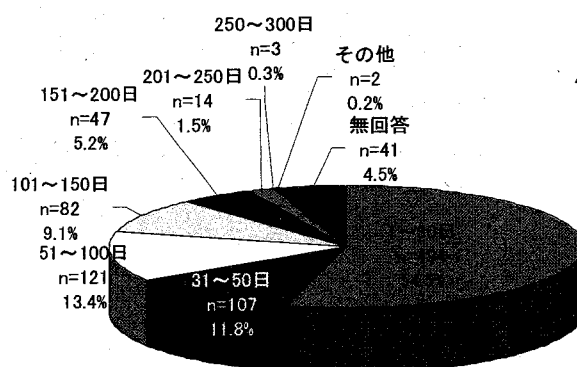


2. 通訳案内士の稼働実態

専業もしくは兼業として通訳案内を業としている案内士の稼働日数や年収、業務内容等の稼働実態について分析する。

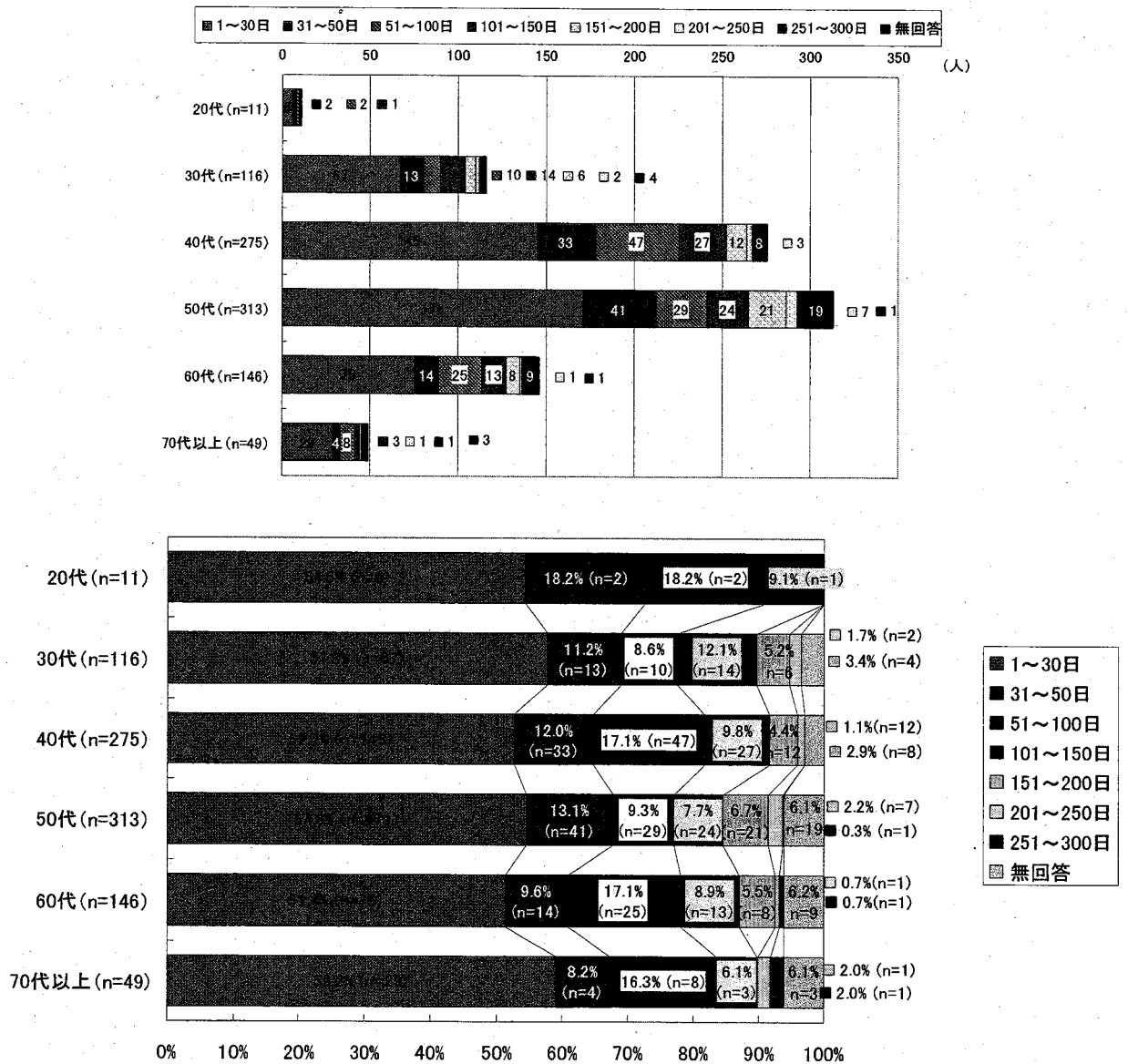
(1) 年間稼働日数 (n=911)

年間 30 日以下の稼働の者が約半数の 54.5% (n=494) で最も多く、年間稼働日数 100 日以下と回答した者が、全体の 79.7% (n=722) を占めている。



① 世代別年間稼働日数

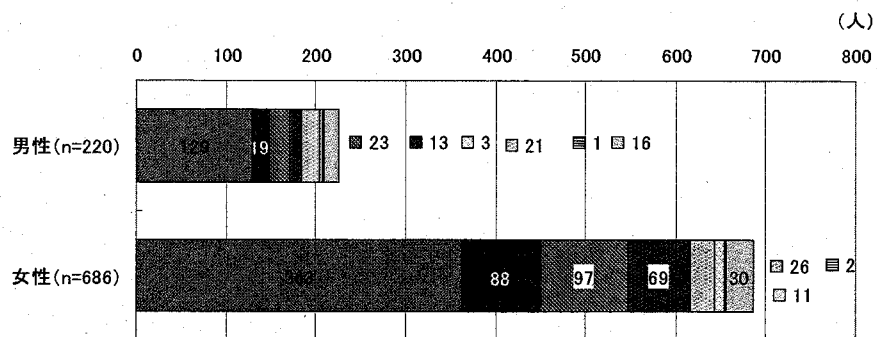
年間稼働日数が 151 日以上の割合は、50 代が最も高く 9.2% (n=29)、次いで 30 代で 6.9% (n=8)、60 代で 6.9% (n=10) となっている。20 代では年間稼働日数が 151 日以上と回答した者は全くいなかった。



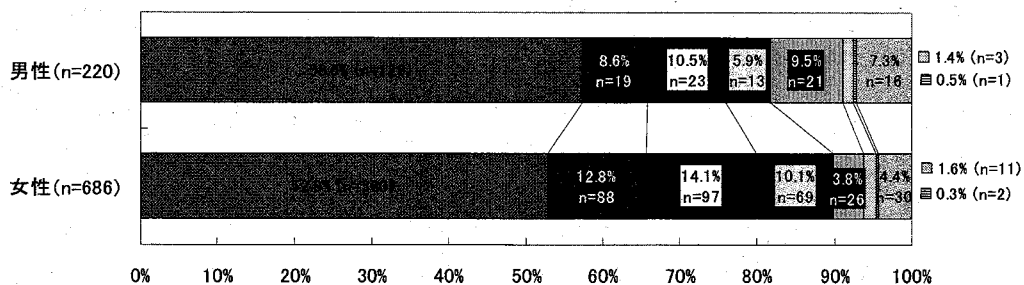
② 男女別年間稼働日数

年間稼働日数 151 日以上の割合は、男性が 11.4% (n=25)、女性が 5.7% (n=39) と女性より男性の方が高い。

■ 1～30日 ■ 31～50日 ■ 51～100日 ■ 101～150日 ■ 151～200日 □ 201～250日 ■ 251～300日 □ 無回答

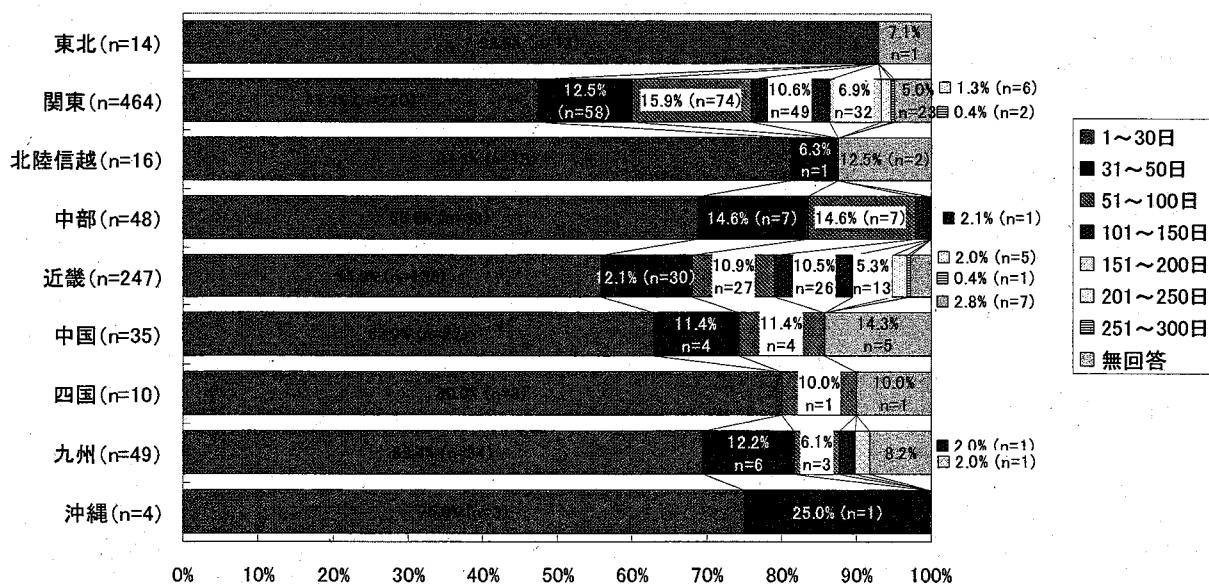
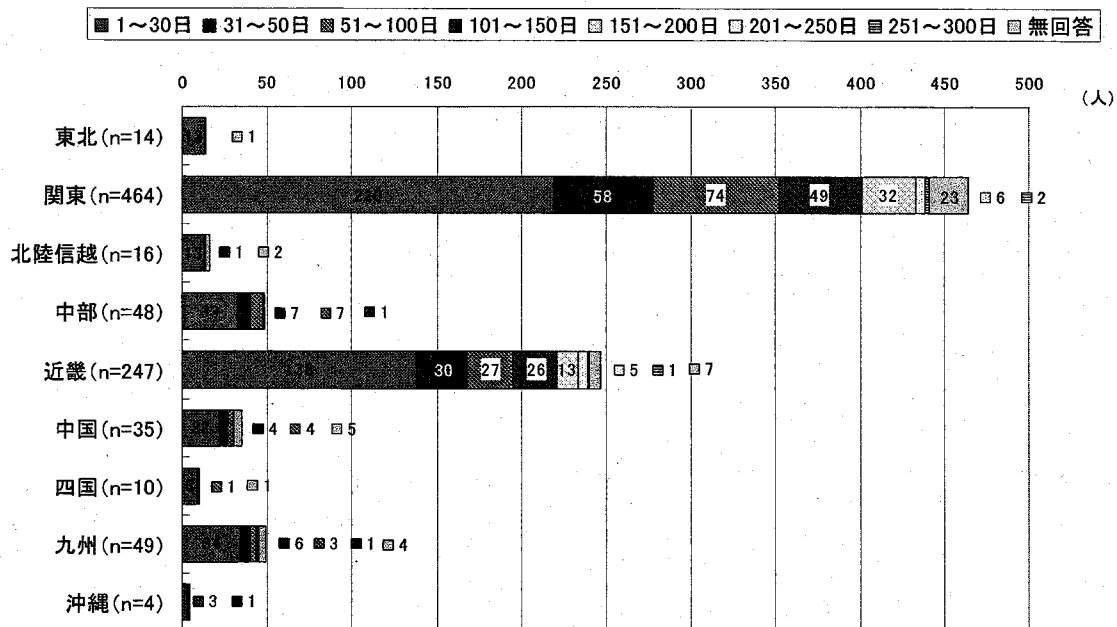


■ 1～30日 ■ 31～50日 ■ 51～100日 ■ 101～150日 ■ 151～200日 ■ 201～250日 ■ 251～300日 □ 無回答



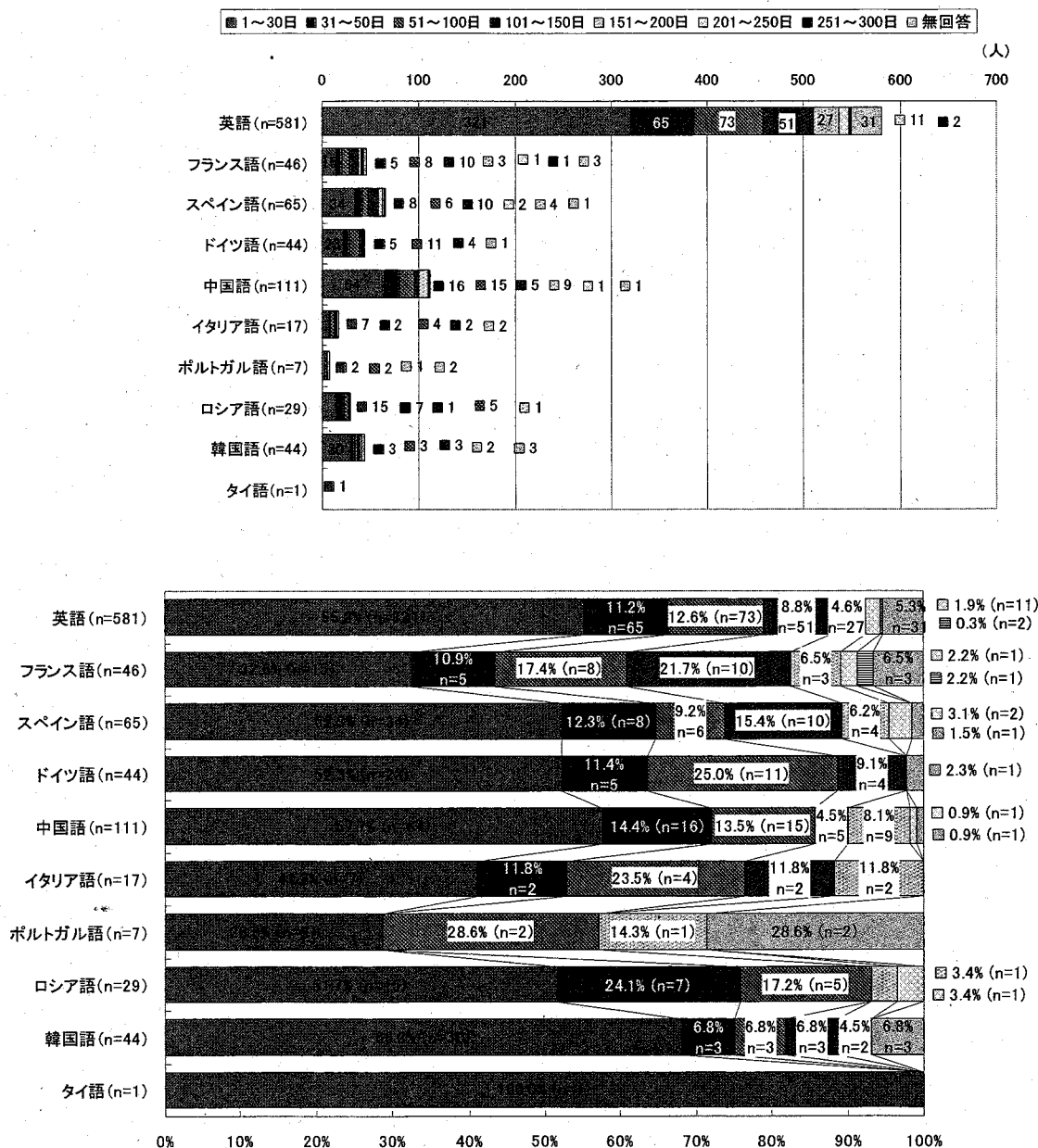
③ 地域別年間稼働日数

年間稼働日数 151 日以上の割合は、関東が 8.6% (n=40)、近畿が 7.7% (n=19)、九州が 2.0% (n=1) となっており、その他の地域においては、年間稼働日数が 150 日以下となっている。



④ 登録言語別年間稼働日数

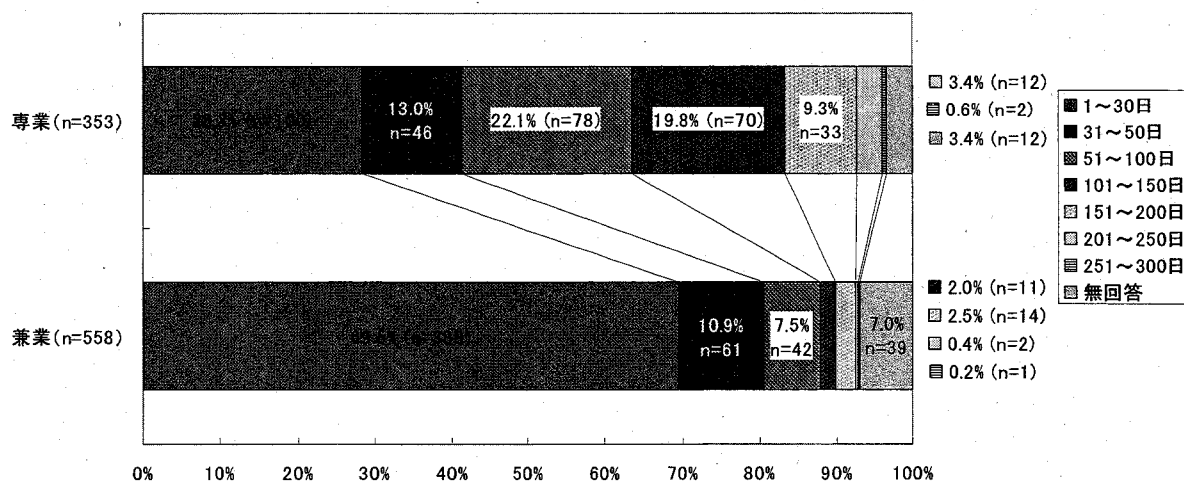
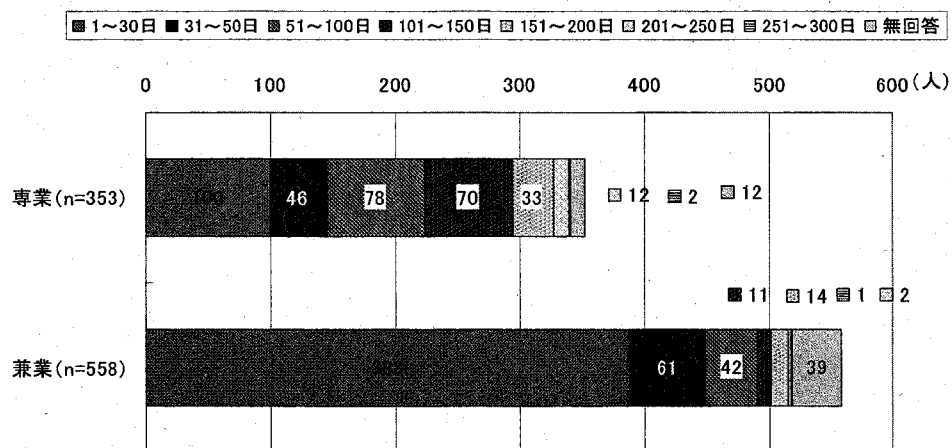
年間稼働日数 151 日以上の割合は、ポルトガル語が最も高く 14.3% (n=1)、次いでイタリア語が 11.8% (n=2)、フランス語が 10.9% (n=6) となっている。



⑤ 専業／兼業別年間稼働日数

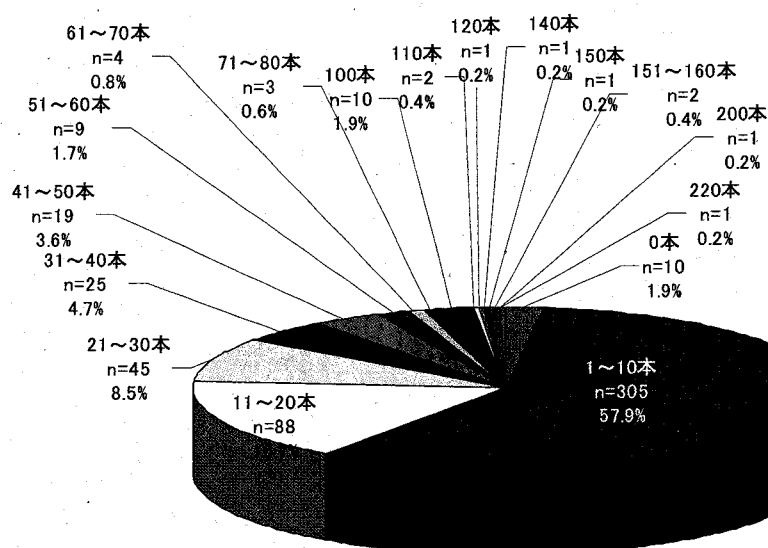
専業として通訳案内業を行っていると回答した者のうち、年間稼働日数 30 日以下なのが 28.3%(n=100)と最も多く、次いで 51～100 日と回答した者が 22.1%(n=78)、101～150 日とした者が 19.8%(n=70) である。年間 151 日以上稼働しているのは、13.3%(n=47) である。

また、兼業者においては、年間稼働日数 30 日以下が 69.5%(n=388) と大半を占め、年間 50 日以下の稼働の者が全体の 80.4%(n=449)。一方で、年間 150 日以上稼働している者の割合は 3.1%(n=17) である。



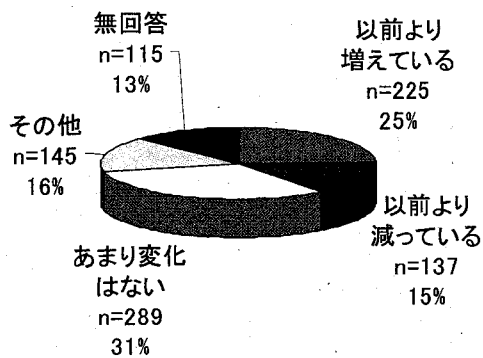
(2) 年間ツアー本数 (n=520) (自由回答)

年間のツアー本数は、1～10本が最も多く 57.9% (n=305) となっている。年間でツアー本数 0本と回答した者も 1.9% (n=10) いる一方、多い者では年間 200本以上のツアーを受けている。ただし、ツアー本数については、回答者によりツアーの数え方が異なる。



(3) 就業日数の増減 (n=911)

年間の就業日数が以前と比較し増えていると感じている者が 25% (n=225)、あまり変化がないと感じている者が 31% (n=289)。その他の中には、「就業日数自体は増えていないが仕事の依頼は増えている」や「仕事の依頼は増えているが断っている」ので就業日数は減っている／変わらない」といった回答も見受けられ、あまり変化はないものの、仕事の機会は徐々に増加している傾向にあると考えられる。

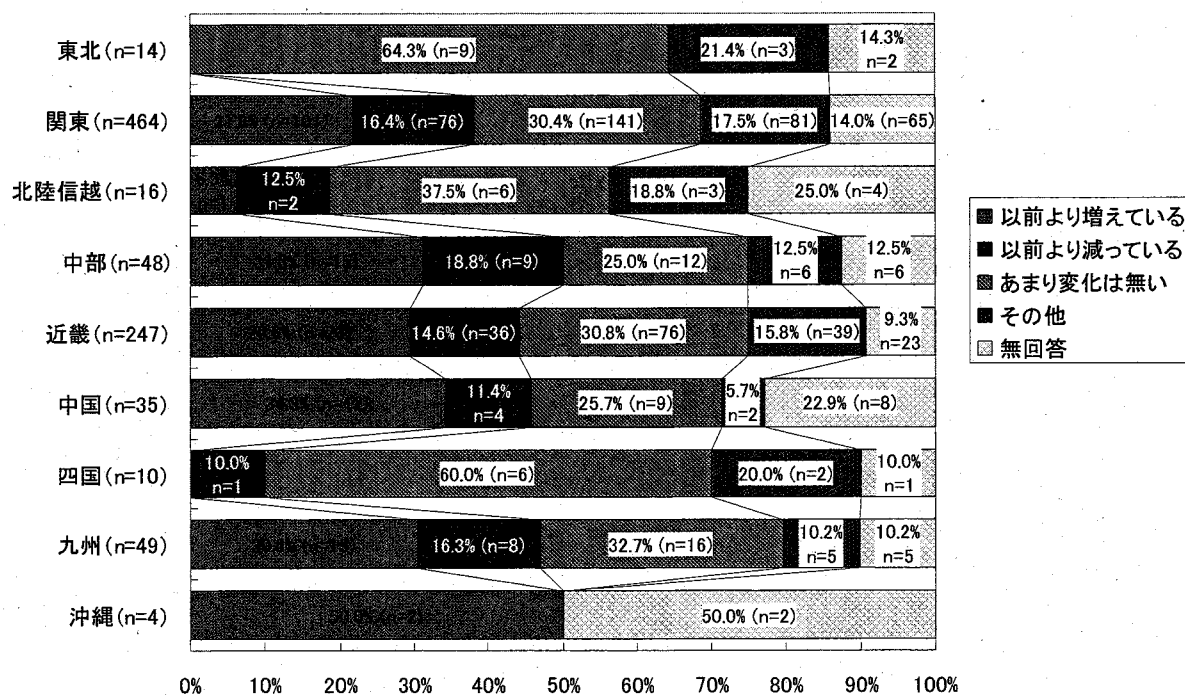
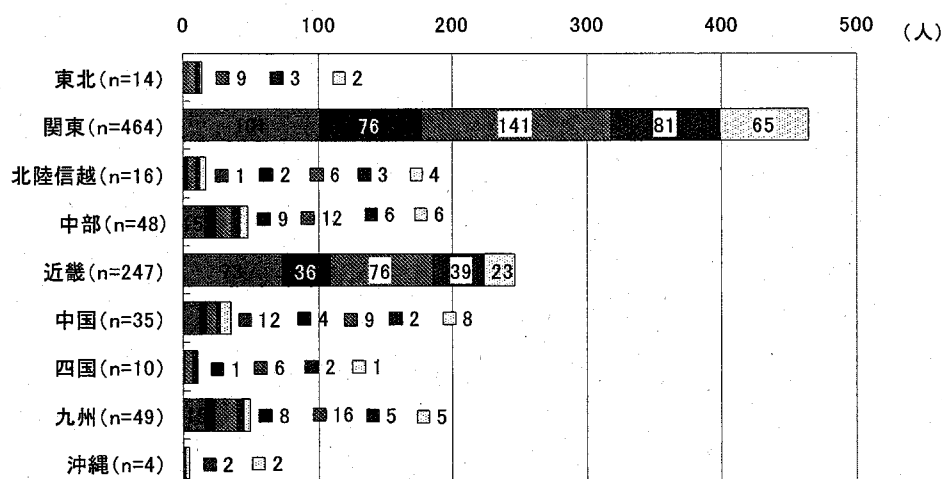


その他内容	
わからない	
わからない	108
ばらつきがある	1
年毎に異なる	1
少ない／減少している	
就業機会がない	4
就業機会がほとんどない	2
最近では就業なし。	1
減らしている	1
どんどん減っている	1
ここ数年就業機会がない	1
やれる時だけ受けるので回数は非常に少ない。	1
よくわからないが、少ないと感じる	1
ほとんどないのでなんともいえない	1
全体的に少ない	1
今まで免許を持っていたが、仕事はなかったが、このところ依頼が増えている。	1
増えている	
平成20年4月は昨年より増えています。	1
これから増えそう	1
よくわからないが、少しずつ仕事をもらっている。	1
斡旋数は増えているが、就業日数は変えていない	1
依頼そのものは増えていると感じる。	1
その他	
積極的に活動していない	1
他の兼業の仕事のほうが、安定的で収入が良いので通訳ガイドはしなくなりました。	1
本業多忙のためガイド依頼を断るが増えたため、就業機会が減少	
休業中	1
去年はキャンセルが多かったです。	1
総計	135

① 地域別就業日数の増減

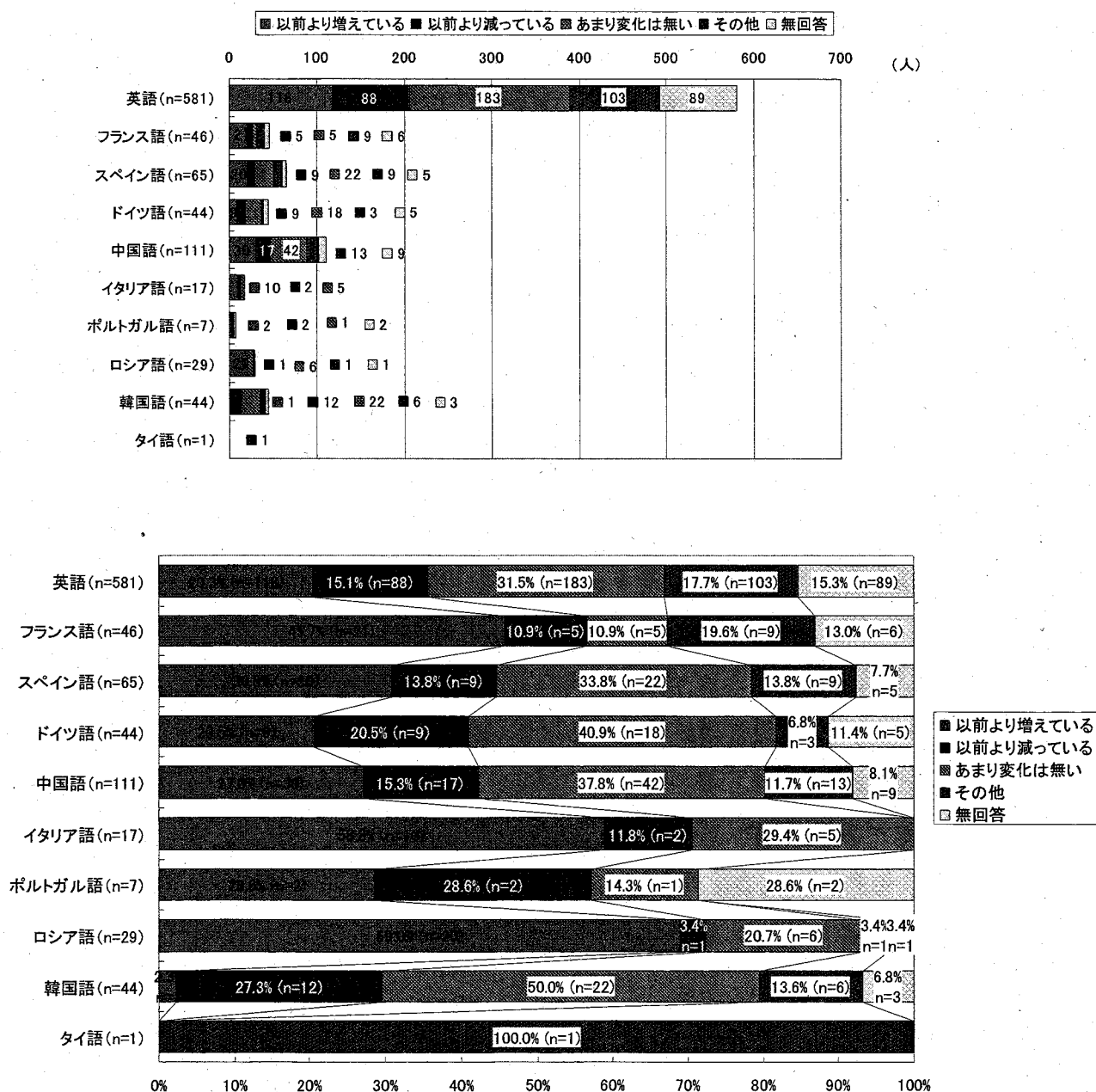
就業日数が以前より増えていると感じているのは、関東で 21.8% (n=101)、中部で 31.3% (n=15)、近畿で 29.8% (n=73)、中国で 34.3% (n=12)、九州で 30.5% (n=15)、沖縄で 50.0% (n=2) とそれぞれ以前より減っていると感じている割合より高くなっている。一方で、東北、四国では、以前より就業日数が増えていると感じている回答者はおらず、ほとんど変化が無いと感じている。

■ 以前より増えている ■ 以前より減っている ■ あまり変化は無い ■ その他 □ 無回答



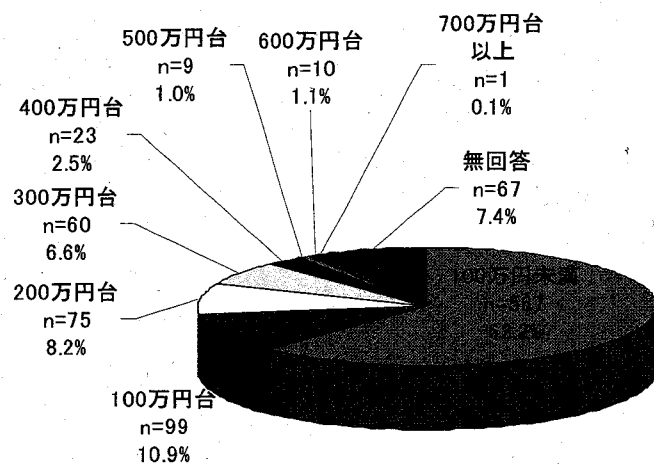
② 登録言語別就業日数の増減

言語別で見ると、ロシア語（69.0%、n=20）、イタリア語（58.8%、n=10）、フランス語（45.7%、n=21）で半数以上が就業日数が以前より増えていると感じている。韓国語では、50.0%（n=22）が以前とあまり変化は無いとしているが、以前より減っていると感じている者が 27.3%（n=12）いるのに対し、以前より増えていると感じている者は 2.3%（n=1）と、タイ語を除く 9 言語中最も低い割合になっている。



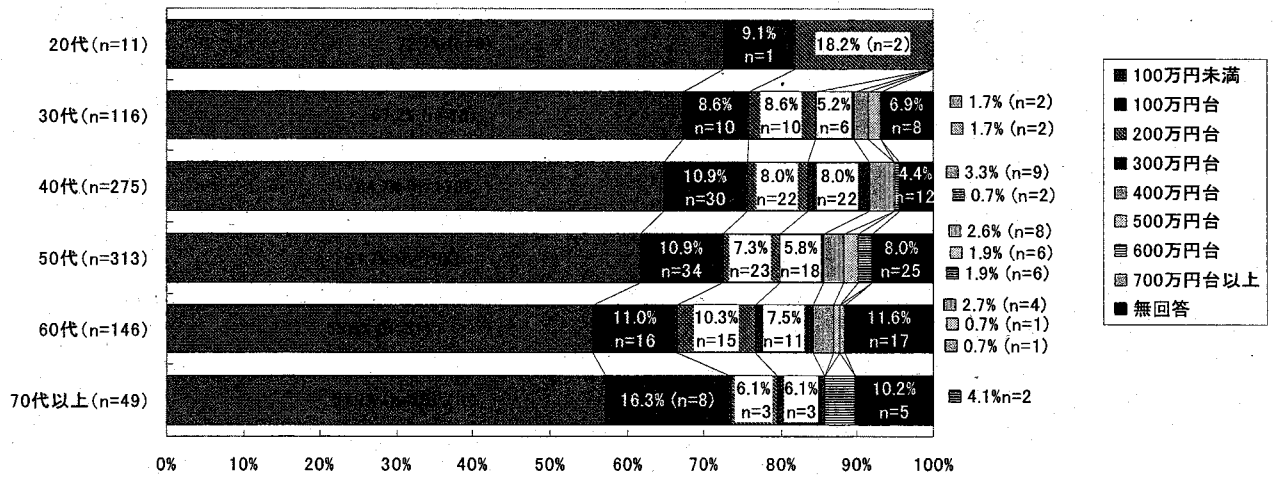
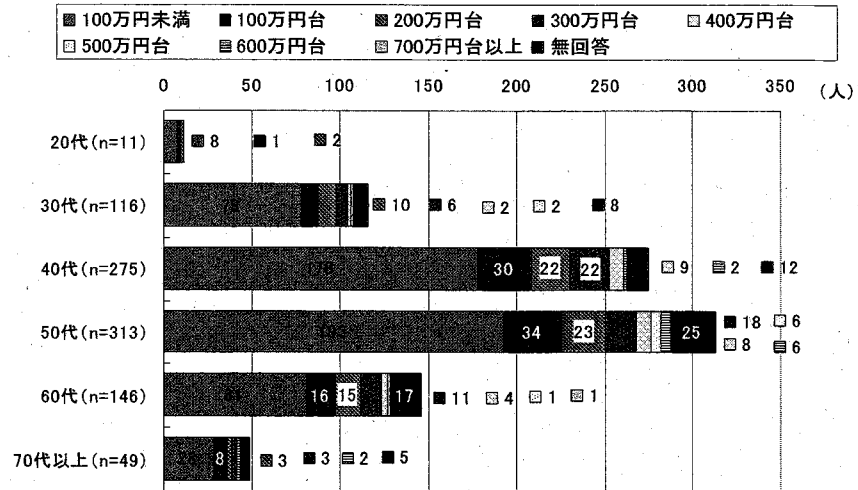
(4) 通訳案内業による年収 (n=911)

通訳案内業による年収は、100万円未満という回答が最も多く 62.2% (n=567) を占める。年収が 500 万円以上の者はわずか 2.2% (n=20) にとどまっている。



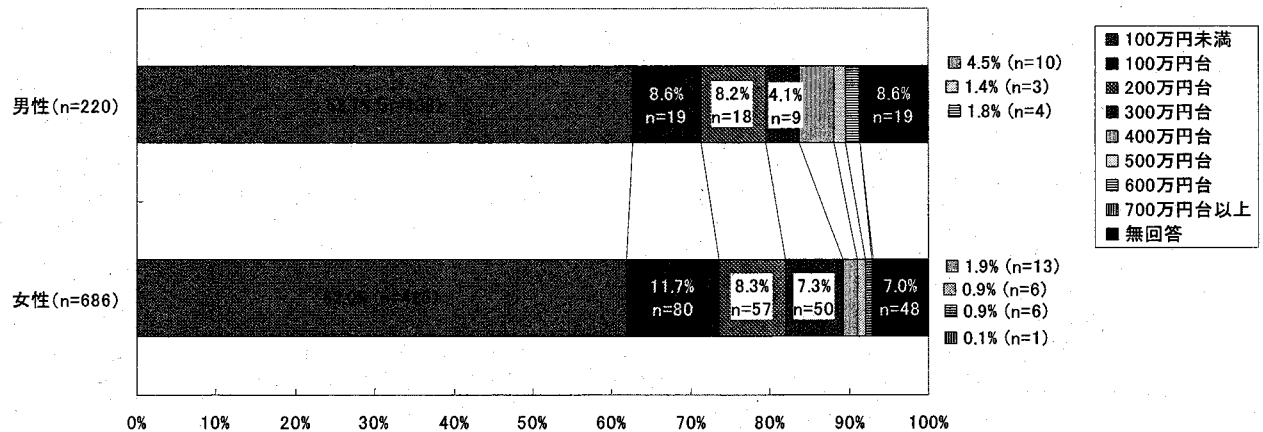
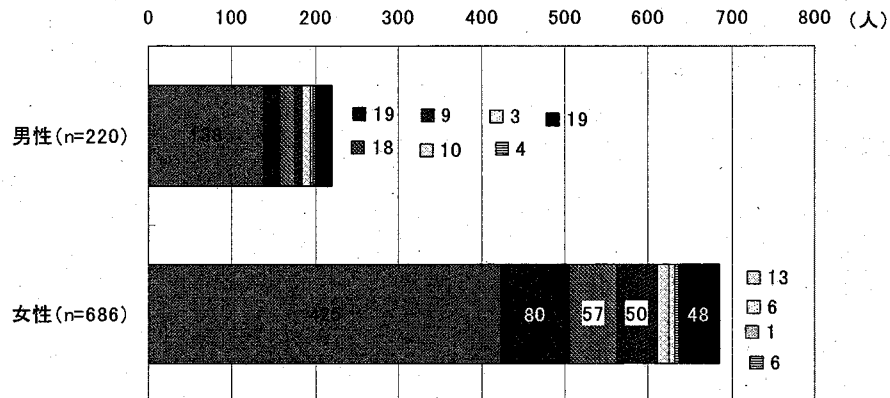
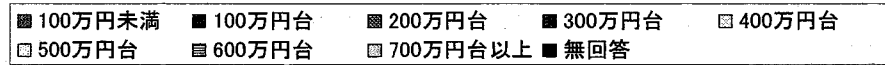
① 世代別通訳案内業による年収

世代による年収の違いはあまり無いものの、20代では全員が通訳案内業による年収が300万円未満と回答している。



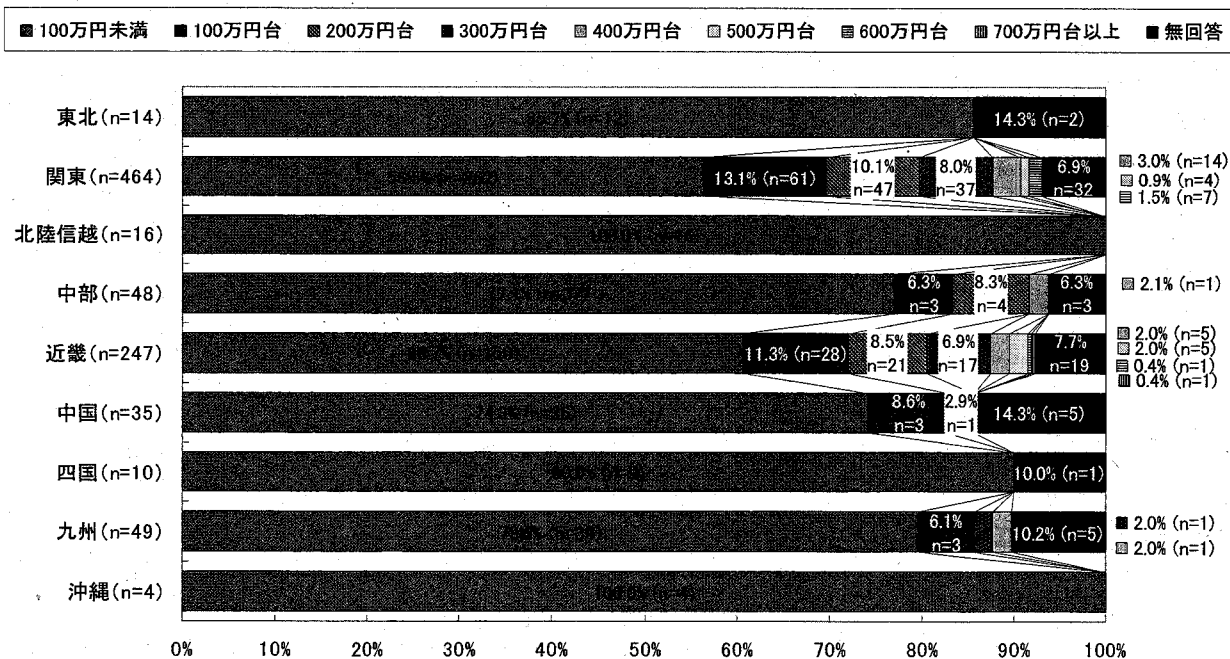
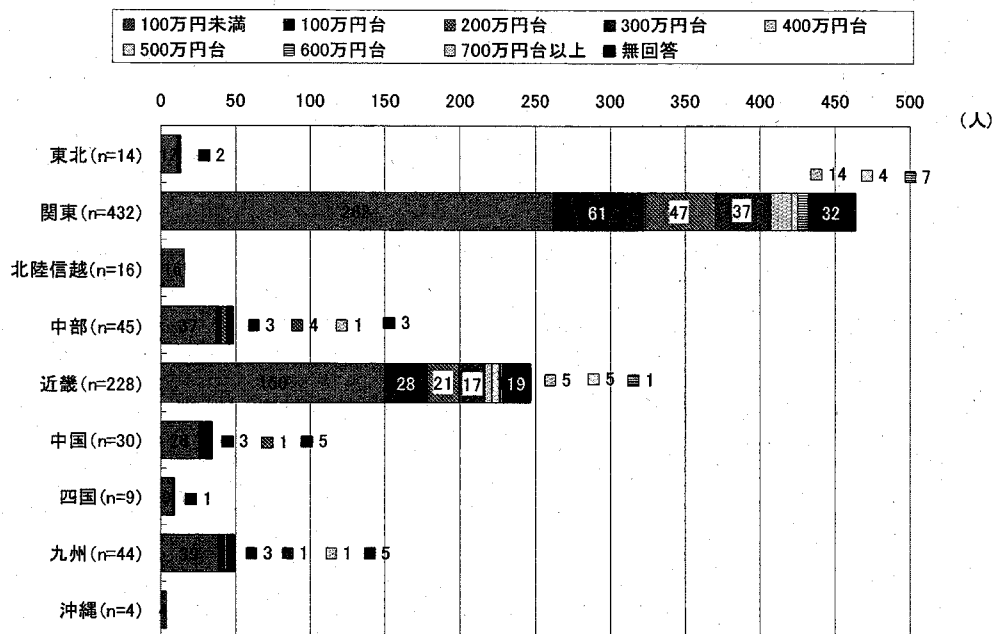
② 男女別通訳案内業による年収

男女別に年収の差はあまりなく、男女ともに 100 万未満と回答した者が最も多い。



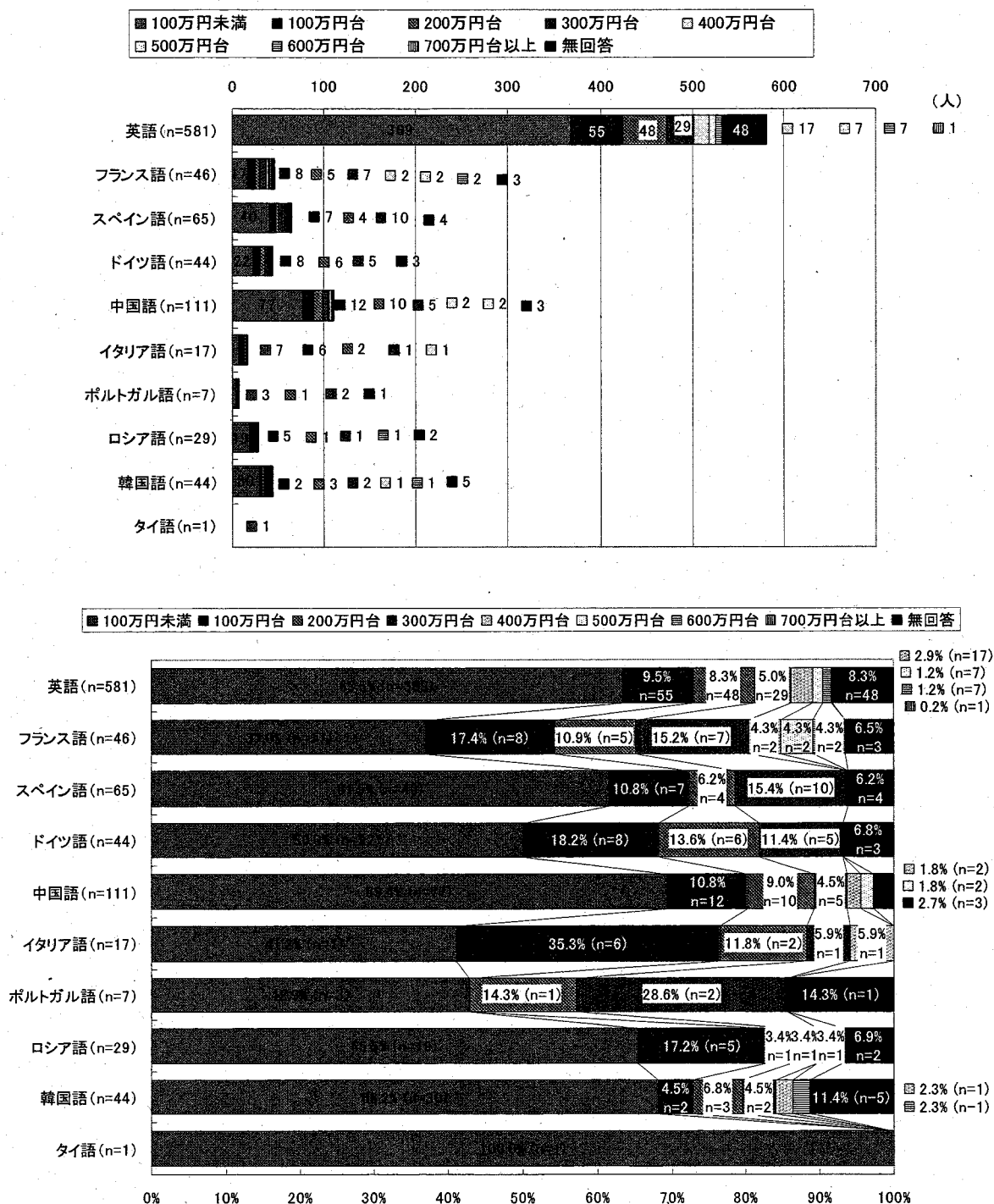
③ 地域別通訳案内業による年収

地域別では、東北、北陸、四国、沖縄で回答者のほとんどが通訳案内業による年収が100万未満と回答した。一方で、比較的年収の高い通訳案内士は関東、近畿に多い。



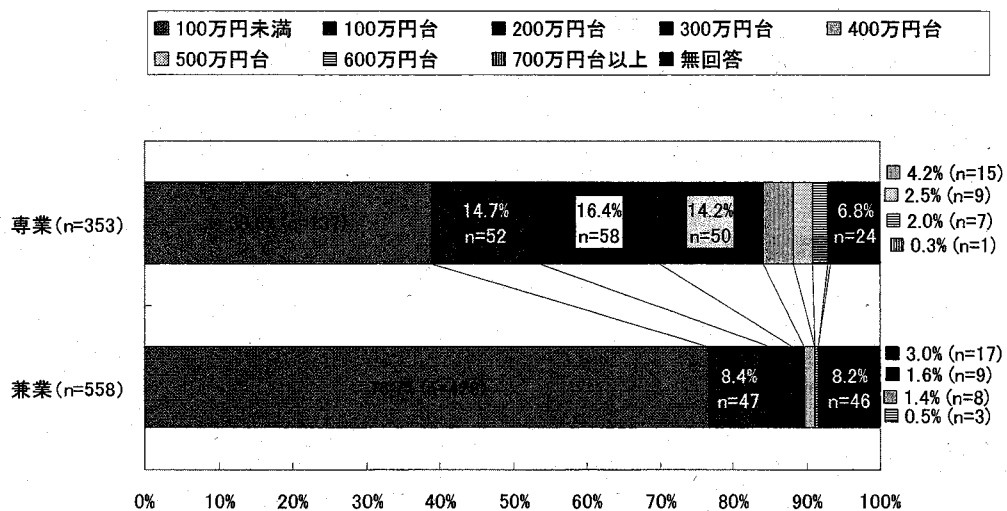
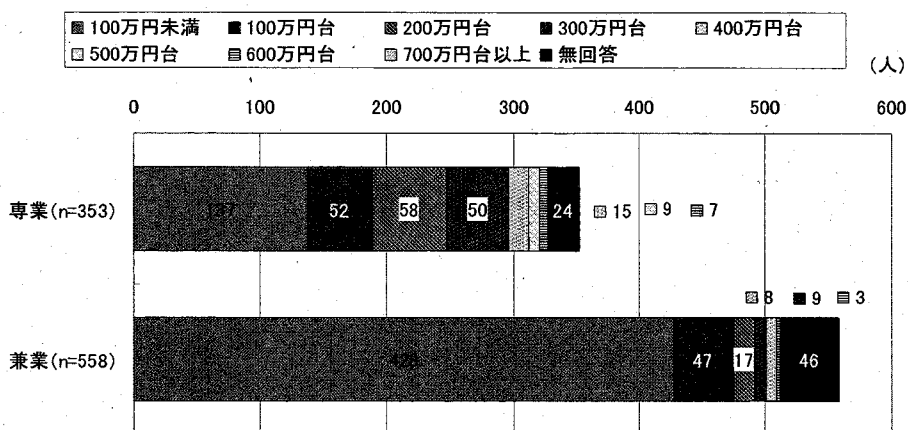
④ 登録言語別通訳案内業による年収

年収が 300 万円以上の割合は、ポルトガル語が最も高く 28.6% (n=2)、次いでフランス語の 28.1% (n=13)。年収が 600 万円台との回答は英語(1.2%、n=7)、フランス語 (4.3%、n=2)、ロシア語 (3.4%、n=1)、韓国語 (2.3%、n=1)、700 万円台以上と回答した者は英語に 0.2% (n=1) となっている。



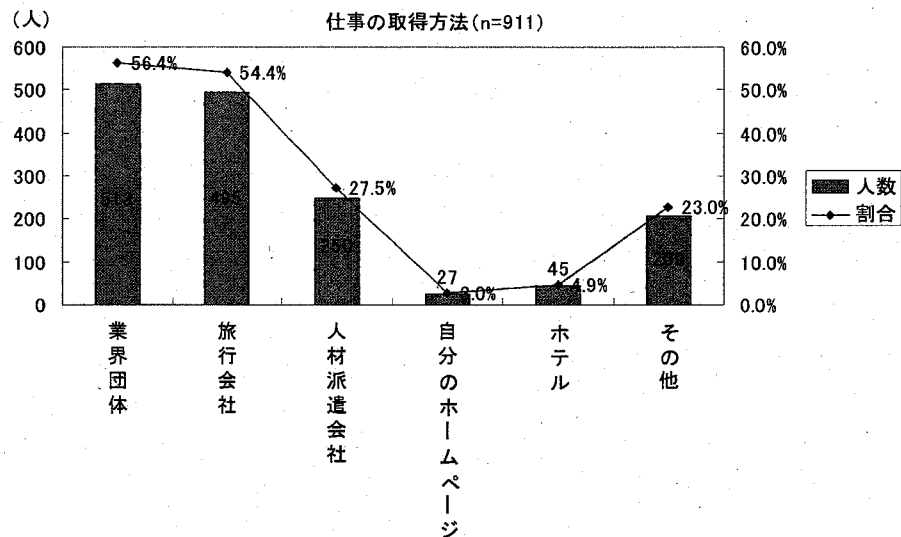
⑤ 就業状況別通訳案内業による年収

就業状況別では、専業でも年収が 100 万未満と回答した者が 38.8% (n=137) いる一方で、兼業で年収 300 万円台以上と回答した者も 3.5% (n=20) いる。



(5) 仕事の取得方法 (n=911) (複数回答)

通訳案内業の仕事の取得方法では、業界団体に登録しているという回答が専業者・兼業者の 56.4% (n=513) を占め最も多く、次いで旅行会社が 54.4% (n=495) となっている。その他仕事の取得方法としては、友人・知人の紹介や口コミなどの個人的なつながりによるものが多い。



その他仕事の取得方法

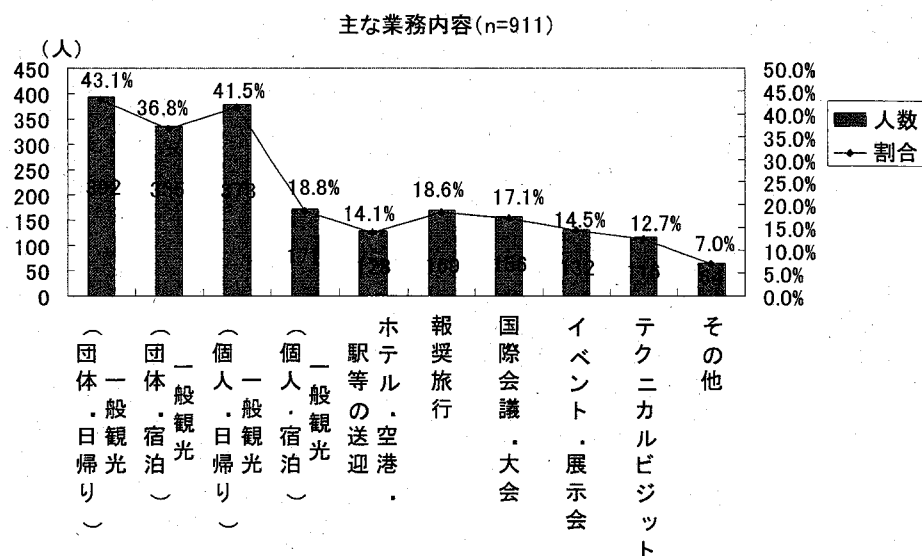
仕事の取得方法	(人)
個人的なつながりによる依頼・紹介	137
官公庁、国際協力団体	22
通訳・翻訳エージェント	8
本業関係による依頼・紹介	8
通訳ガイド検索システム	5
広告掲載	4
海外エージェント	4
通訳ガイド養成学校	3
特に何もしていない	3
ほとんど就業していない	2
ボランティア通訳団体	2
様々なエージェントに登録	1
交通会社	1
企業	1
観光施設	1
計	202

3. 通訳案内士の業務内容実態

(1) 主な業務内容 (n=911) (複数回答)

ここでは、「一般観光（団体・日帰り）」及び「一般観光（個人・日帰り）」は、団体及び個人の1日または半日程度の観光旅行に随行する業務を言い、「一般観光（団体・宿泊）」及び「一般観光（個人・宿泊）」は、団体または個人の1日以上観光旅行に随行し、宿泊を伴うものを言う。また、「ホテル・空港・駅等の送迎」業務は、ホテルでのチェックイン・チェックアウト補助、空港や駅で次の目的地までの輸送手段へ乗車・搭乗する補助を行う業務であり、通訳案内士の資格は必ずしも必要ないが、補佐的な仕事として、通訳案内士の資格を取得したばかりの者などが行うことがある業務である。「報奨旅行」とは、企業等の海外からの招待客に対する旅行に随行する業務を言い、一般観光に関する知識に加え、招待する企業に対する理解も必要とされることが多い。「国際会議・大会」及び「イベント・展示会」は、会議やイベント等での通訳業務ではなく、その前後に行われる「プレ／ポストツアー」や「同伴者プログラム」、会場での案内業務等を言う。「テクニカルビジット」は、企業や工場等見学可能な産業施設の視察旅行を言い、施設での通訳業務が含まれる場合が多い。

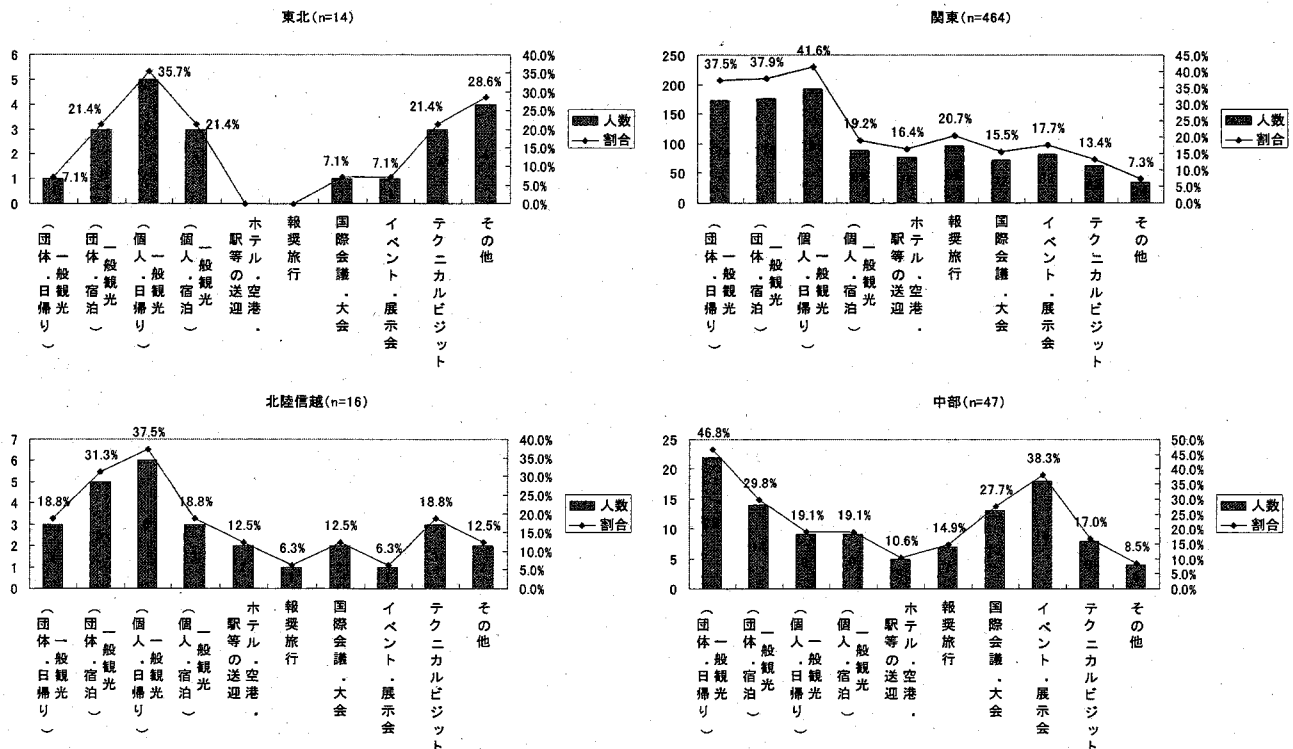
通訳案内士の業務では、団体の日帰り一般観光の通訳案内が専業者・兼業者の43.1%を占め最も多い。宿泊を伴う一般観光の通訳案内については、団体旅行の36.8% (335人) に対し個人旅行は18.8% (171人) とそれぞれ約半数となっている。



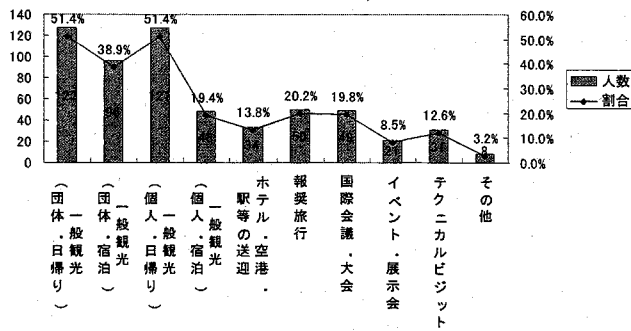
① 地域別業務内容

東北地区では、個人旅行の日帰り一般観光が最も多く 35.7% (n=5) となっている。関東地区においては、上記の全体とほぼ同様の傾向にあるが、団体の宿泊を伴う一般観光 (37.5%、n=176) が日帰り一般観光 (37.9%、n=174) を 0.4 ポイント上回っている。北陸信越地区では個人旅行の日帰り一般観光が 37.5% (n=6) でもっとも高い割合となっている。中部地区では、団体の日帰り一般観光が最も多く 46.8% (n=22)、次いでイベント・展示会が 38.3% (n=18)、国際会議・大会が 27.7% (n=13) である。イベント・展示会、国際会議・大会では他地域に比べ高い割合を占めていることがわかる。近畿地区では通訳案内業従事者の半数以上が団体 (51.4%、n=127) 及び個人 (51.4%、n=127) の日帰り一般観光を行っている。中国地区においても、日帰り一般観光が団体旅行 (48.6%、n=17)、個人旅行 (51.4%、n=18) とともに多い。九州地区では、団体旅行が多く、日帰り一般観光が 63.3% (n=31)、宿泊を伴う一般観光が 38.8% (n=19) となっている。沖縄においても、九州同様団体旅行を中心とした業務が多いと考えられる。

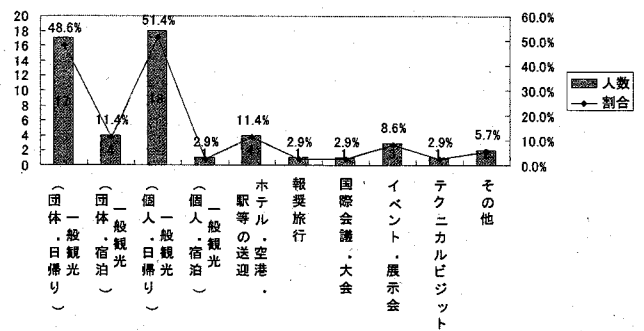
地域別業務内容



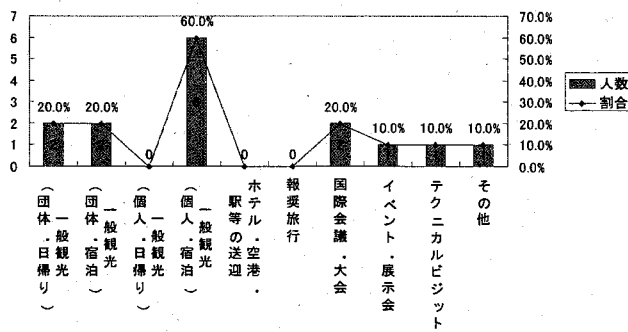
近畿(n=247)



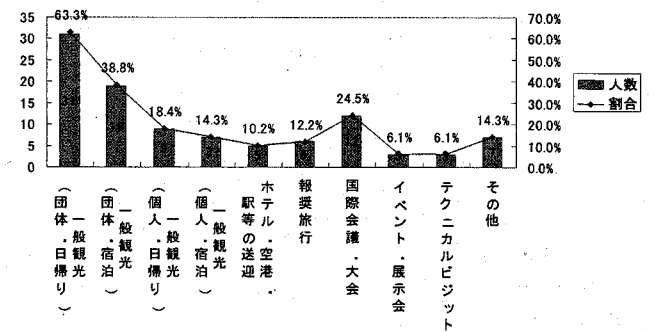
中国(n=35)



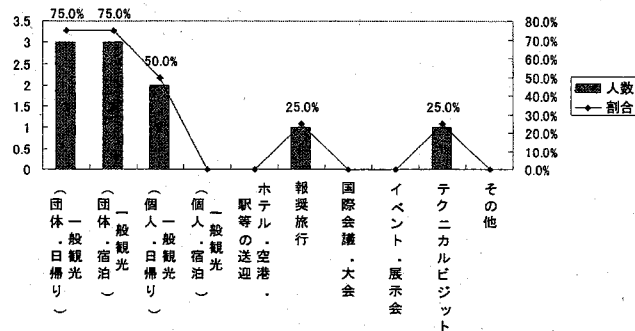
四国(n=10)



九州(n=49)



沖縄(n=4)

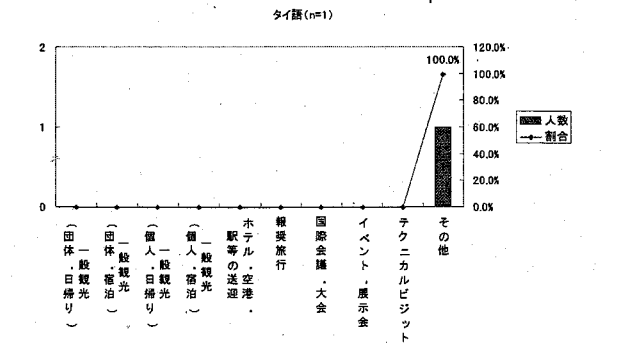
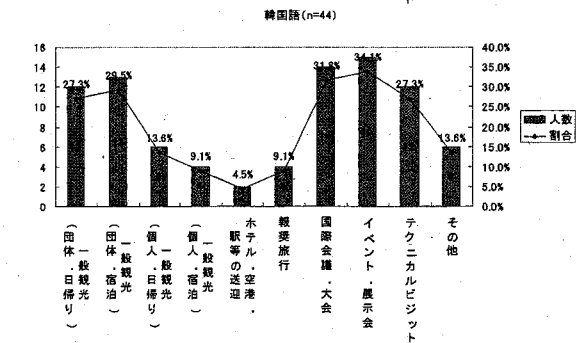
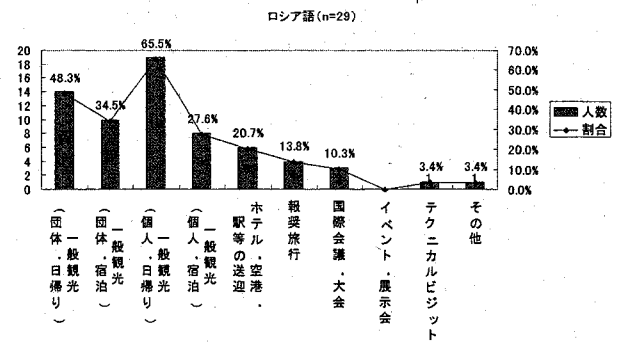
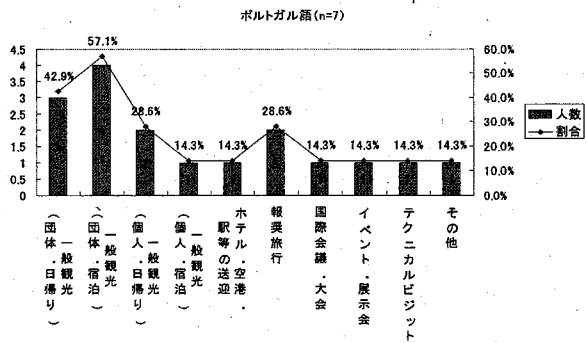
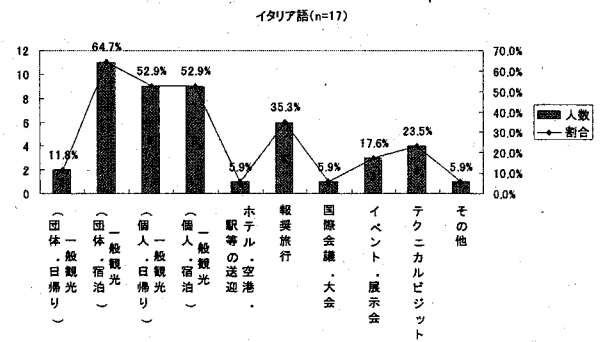
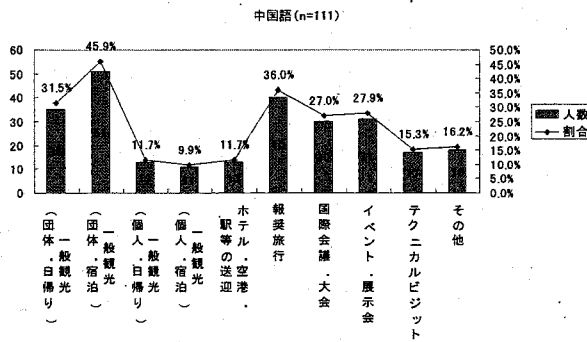
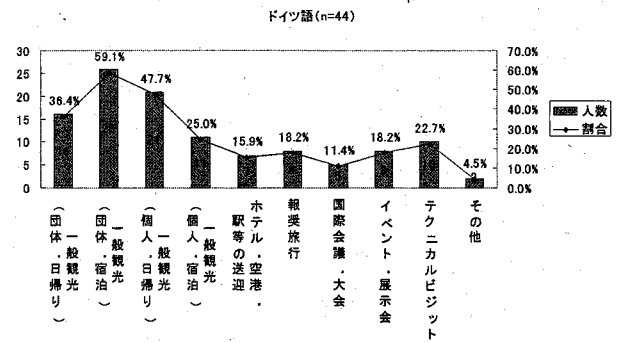
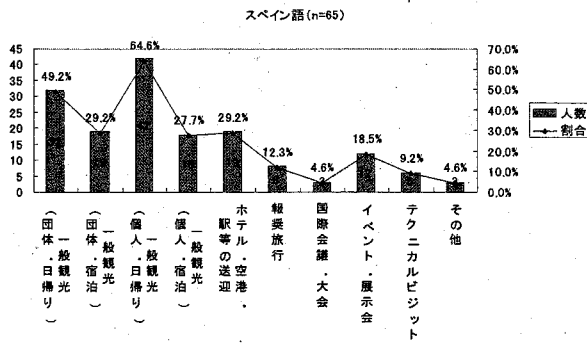
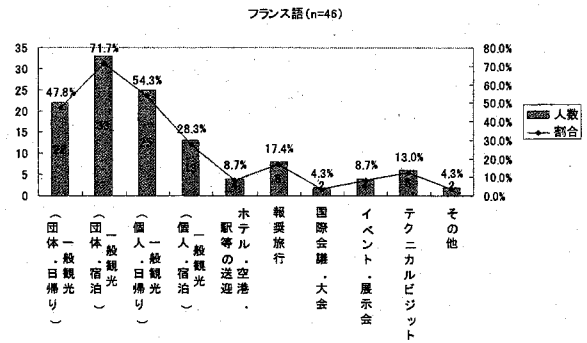
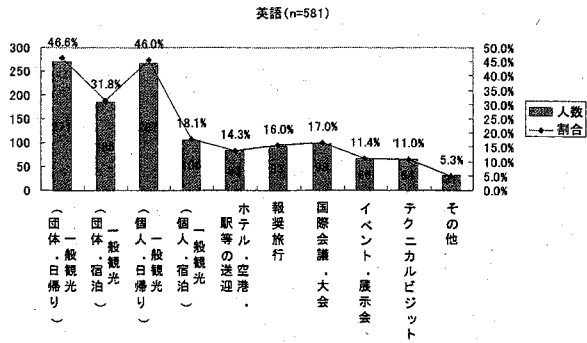


② 登録言語別業務内容

登録言語別で見ると、英語では日帰り一般観光が団体旅行（46.6%、n=271）、個人旅行（46.0%、n=267）ともに多くなっているが、フランス語（71.7%、n=33）とドイツ語（59.1%、n=26）、イタリア語（64.7%、n=11）、ポルトガル語（57.1%、n=4）、ロシア語（65.5%、n=4）においては、団体の宿泊を伴う一般観光が最も多い業務内容となっている。また、スペイン語では個人の日帰り一般観光が最も多く 64.6%（n=42）である。イタリア語では、個人旅行の割合が日帰り一般観光（52.9%、n=9）、宿泊を伴う一般観光（52.9%、n=9）ともに高くなっている。

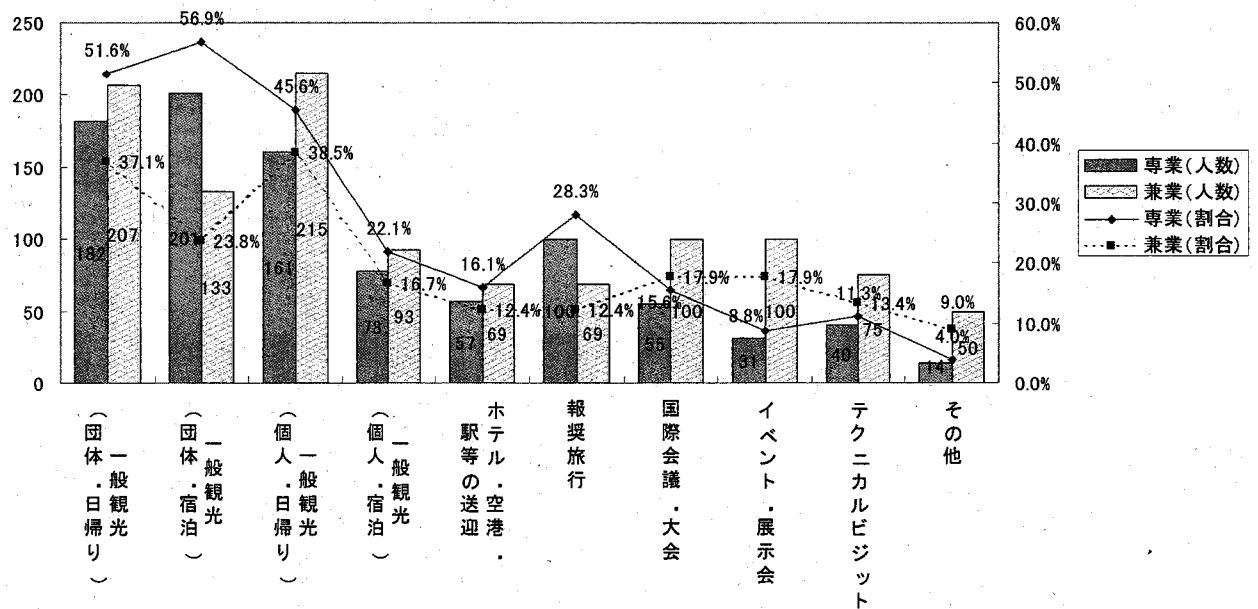
一方で、中国語および韓国語では、報奨旅行や国際会議・大会、イベント・展示会、テクニカルビジットの割合が他言語と比べ高くなっているのがわかる。

登録言語別業務内容



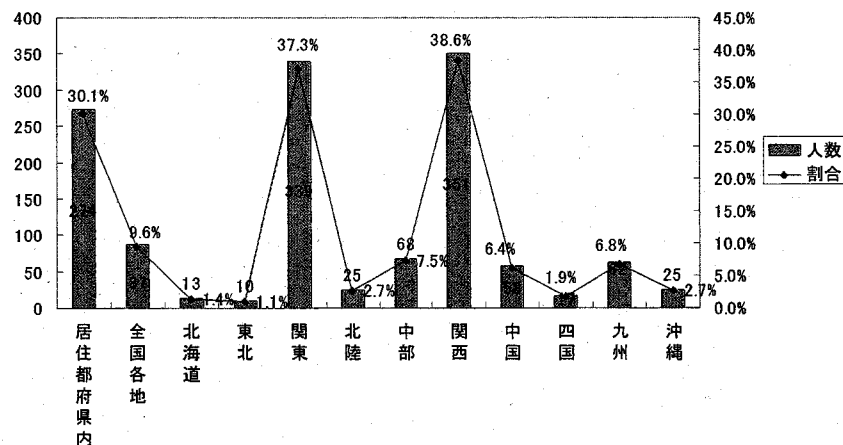
③ 専業／兼業別主な業務内容

専業者の業務内容で最も高い割合を占めるのは宿泊を伴う団体の一般観光で56.9% (n=201)、次いで日帰りの団体一般観光 (51.6%、n=182) となっている。兼業では、個人及び団体の日帰り一般観光が多くそれぞれ38.5% (n=215)、37.1% (n=207) となっている。また、国際会議・大会、イベント展示会、テクニカルビジットにおいて兼業者の割合が専業者の割合を上回っている。



(2) 活動地域 (n=911) (複数回答)

通訳案内士の活動地域では、関東が 37.3% (n=339)、関西が 38.6% (n=351) と多く、また、居住都府県内での活動が 30.1% (n=274) で、居住都府県に関わらず仕事を請負っている通訳案内士が約 7 割であることがわかる。



① 世代別活動地域

どの世代においても関東、関西地域での活動が多くなっている。70 代以上のみ関東・関西地域での活動の割合を居住都府県内での活動の割合が上回っており、46.9% (n=23) となっている。

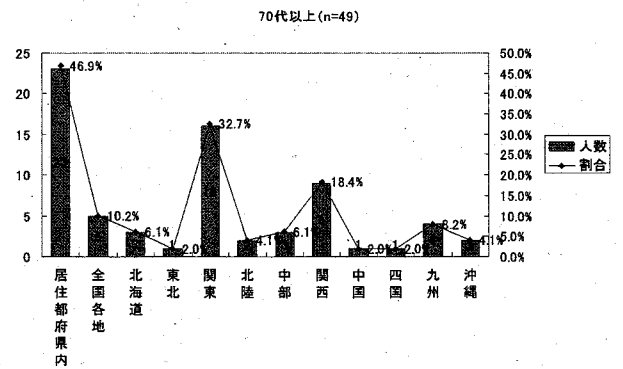
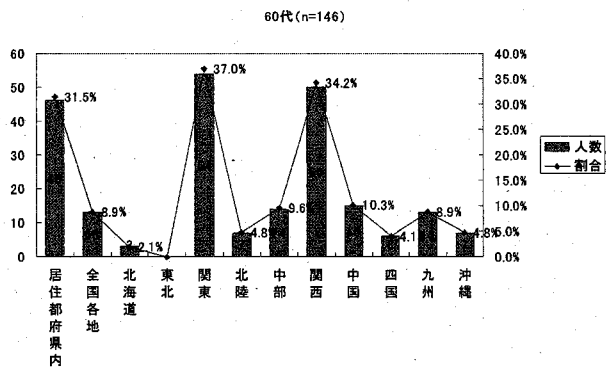
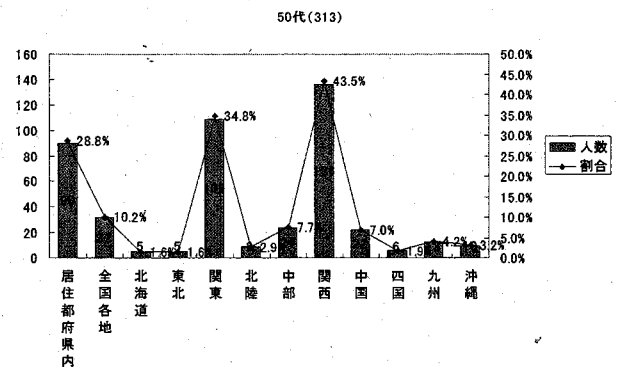
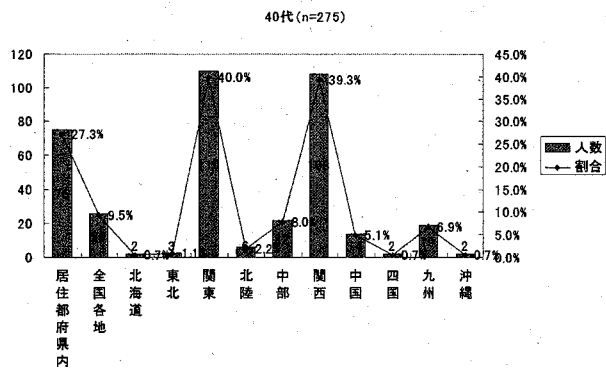
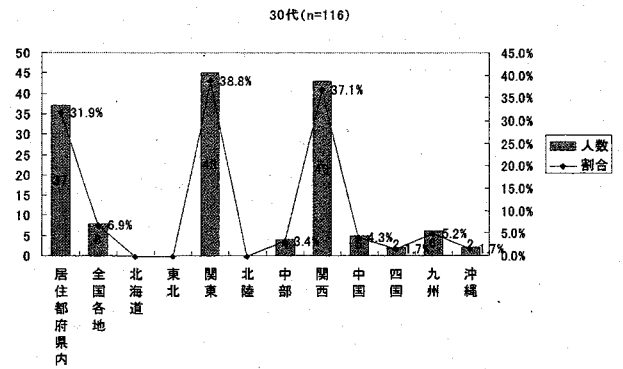
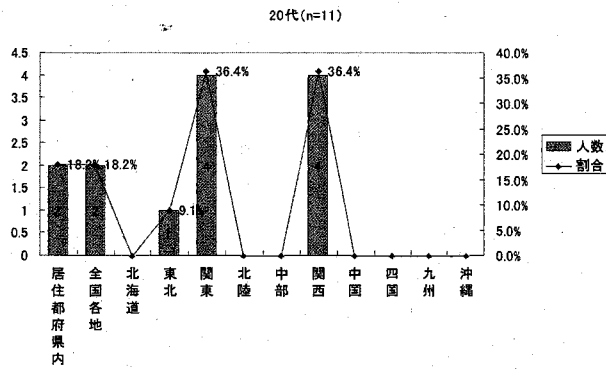
② 登録地域別活動地域

通訳案内士の登録地域別の活動地域では、北陸、中国、四国、沖縄を除いて登録している地域の割合が高くなっている。北陸、中国、四国、沖縄においても居住都府県内での活動という回答が最も多いため、居住都府県および周辺での通訳案内業務が大半を占めることがわかる。ただし、関東・近畿を除いては有効回答の絶対数が少ないため、明確な傾向はつかみにくい。

③ 登録言語別活動地域

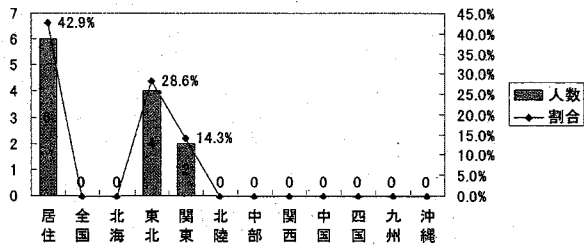
言語別においてもあまり差はなく、関東、関西がそれぞれ高い割合を占めている。

① 世代別活動地域

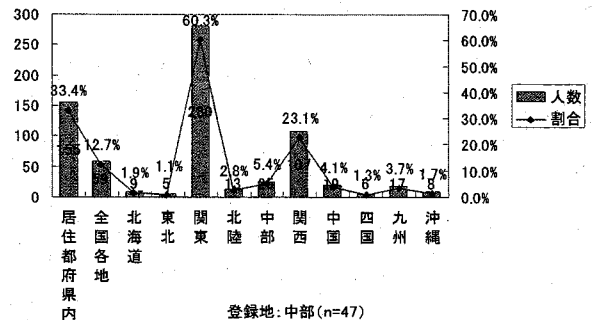


② 通訳案内士の登録地域別活動地域

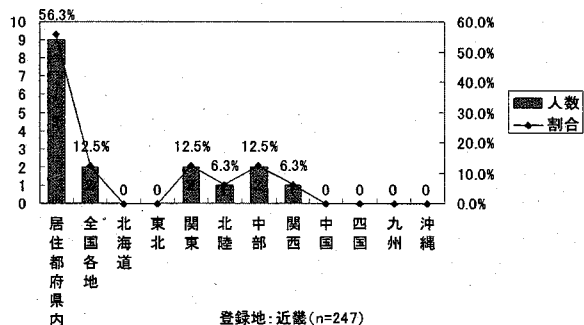
登録地: 東北(n=14)



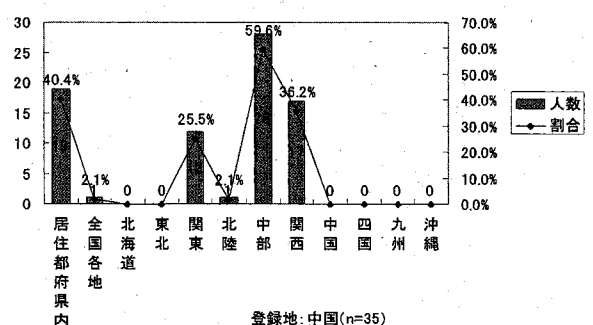
登録地: 関東(n=464)



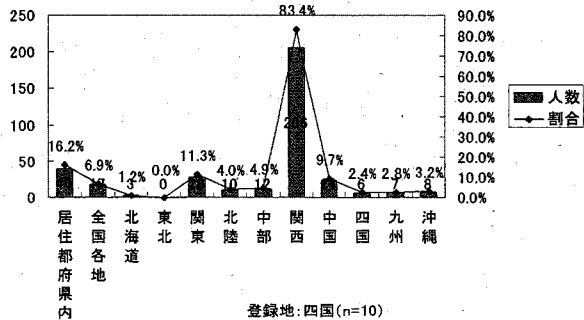
登録地: 北陸信越(n=16)



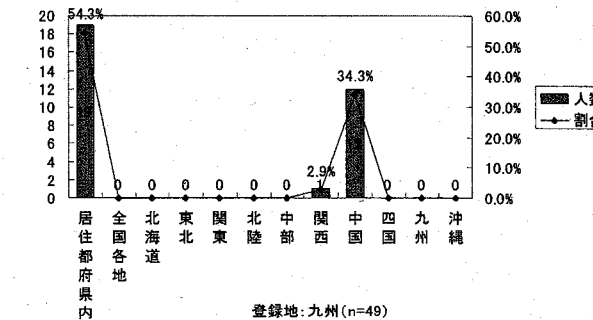
登録地: 中部(n=47)



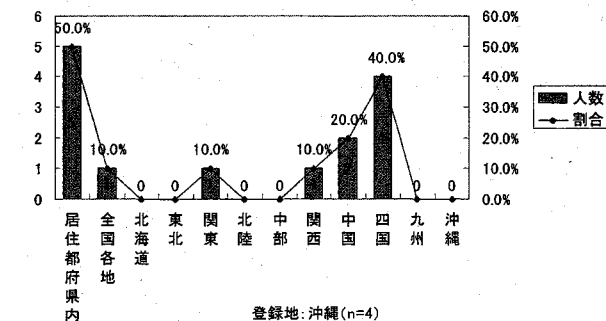
登録地: 近畿(n=247)



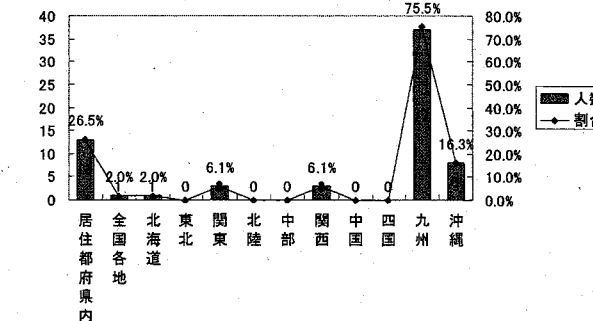
登録地: 中国(n=35)



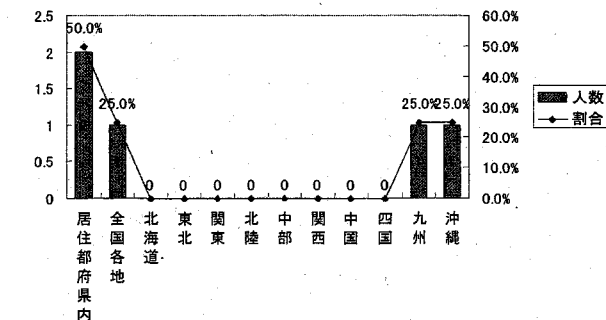
登録地: 四国(n=10)



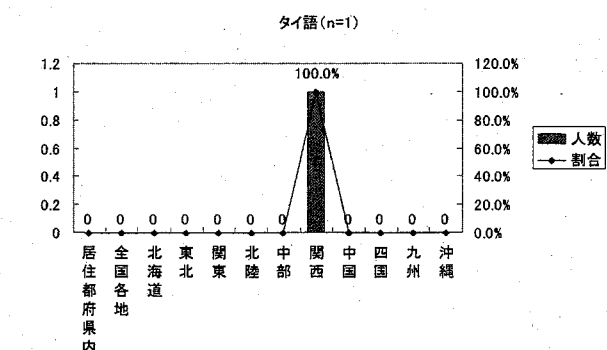
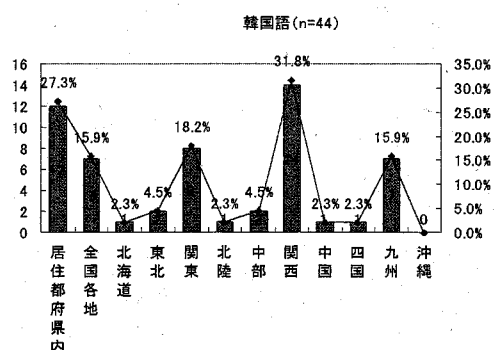
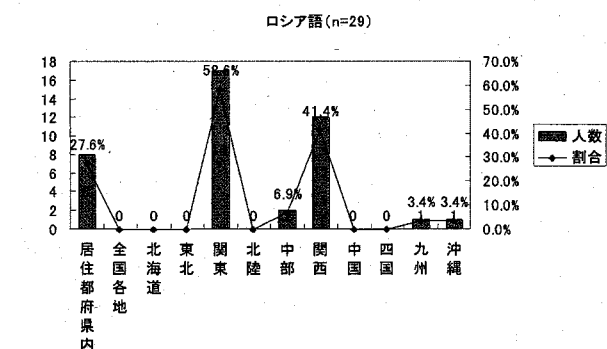
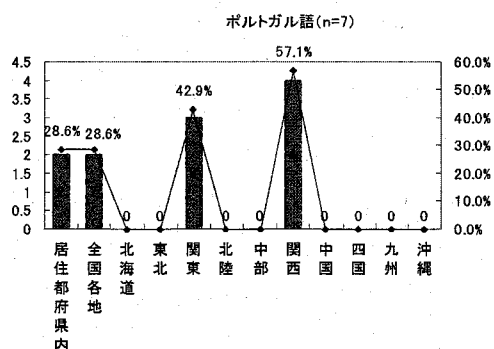
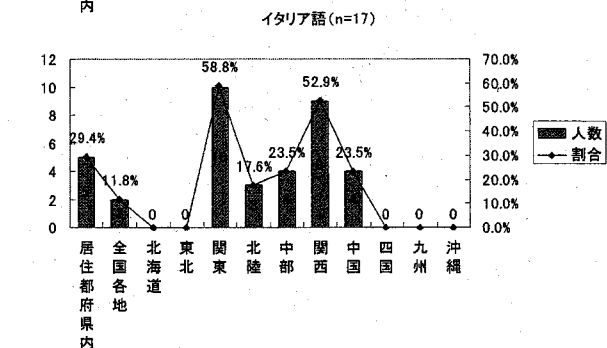
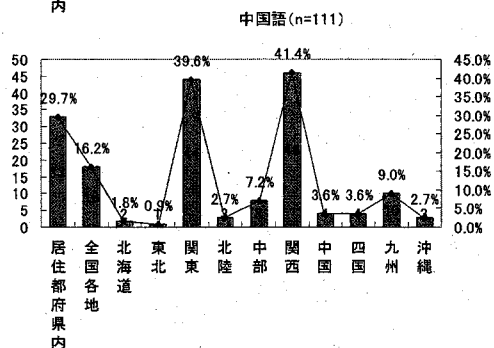
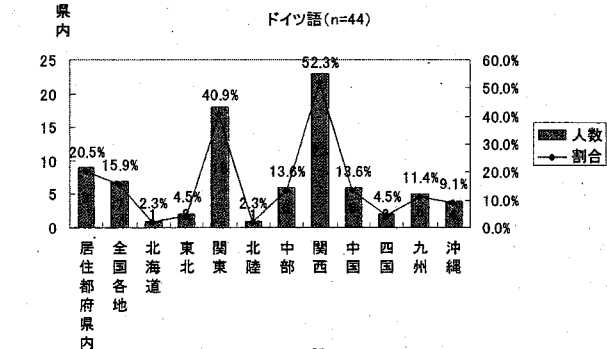
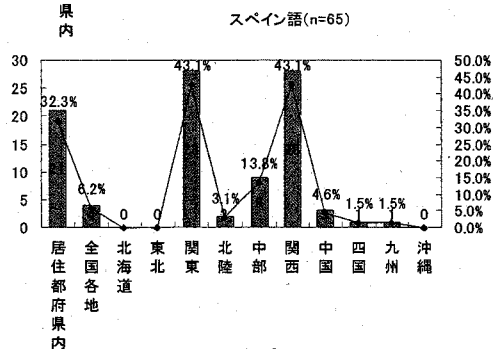
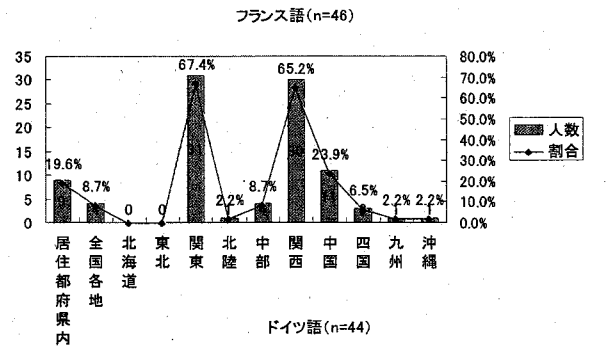
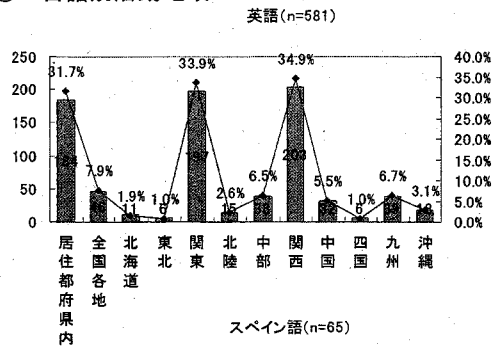
登録地: 九州(n=49)



登録地: 沖縄(n=4)

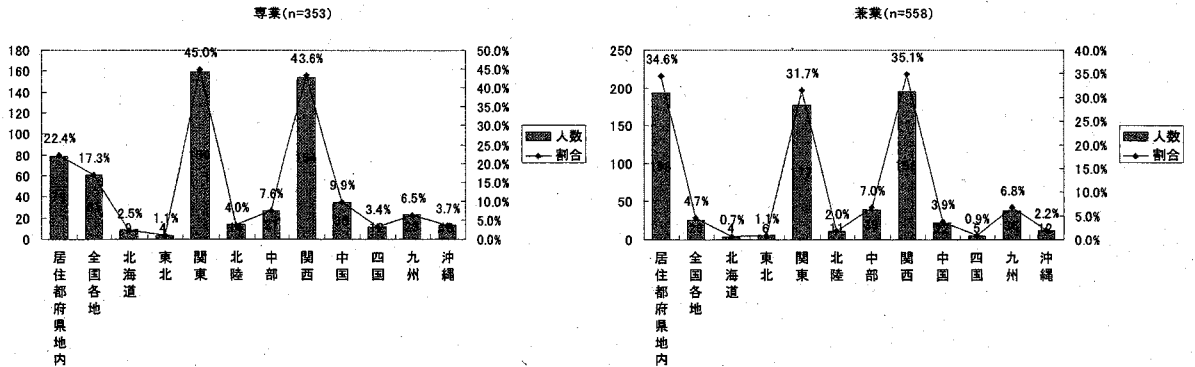


③ 言語別活動地域



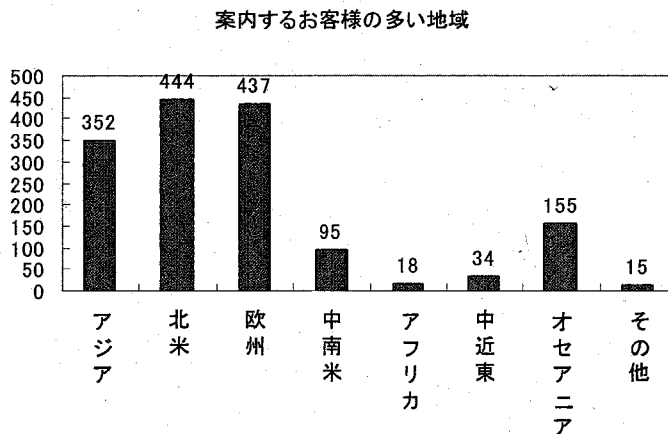
④ 専業／兼業別活動地域

専業では、関東が 45.0% (n=159)、関西が 43.6% (n=154) と高い割合となっている。一方、兼業では、関西が最も多く 35.1% (n=196)、次いで居住都府県内での活動が多く 34.6% (n=193) である。



(3) 案内することの多いお客様の地域・国 (n=911) (自由回答)

北米のお客様を案内することが多いと回答した通訳案内士は 447 人で最も多く、欧州のお客様という回答が 437 人で 2 番目に多くなっている。詳細の国で見ると、アメリカのお客様が多いとの回答が 337 人、オーストラリアのお客様との回答が 141 人、イギリスのお客様との回答が 132 人となっている。平成 19 年の訪日旅行者数が最も多かった韓国については、61 名が多いと回答しており第 9 位である。



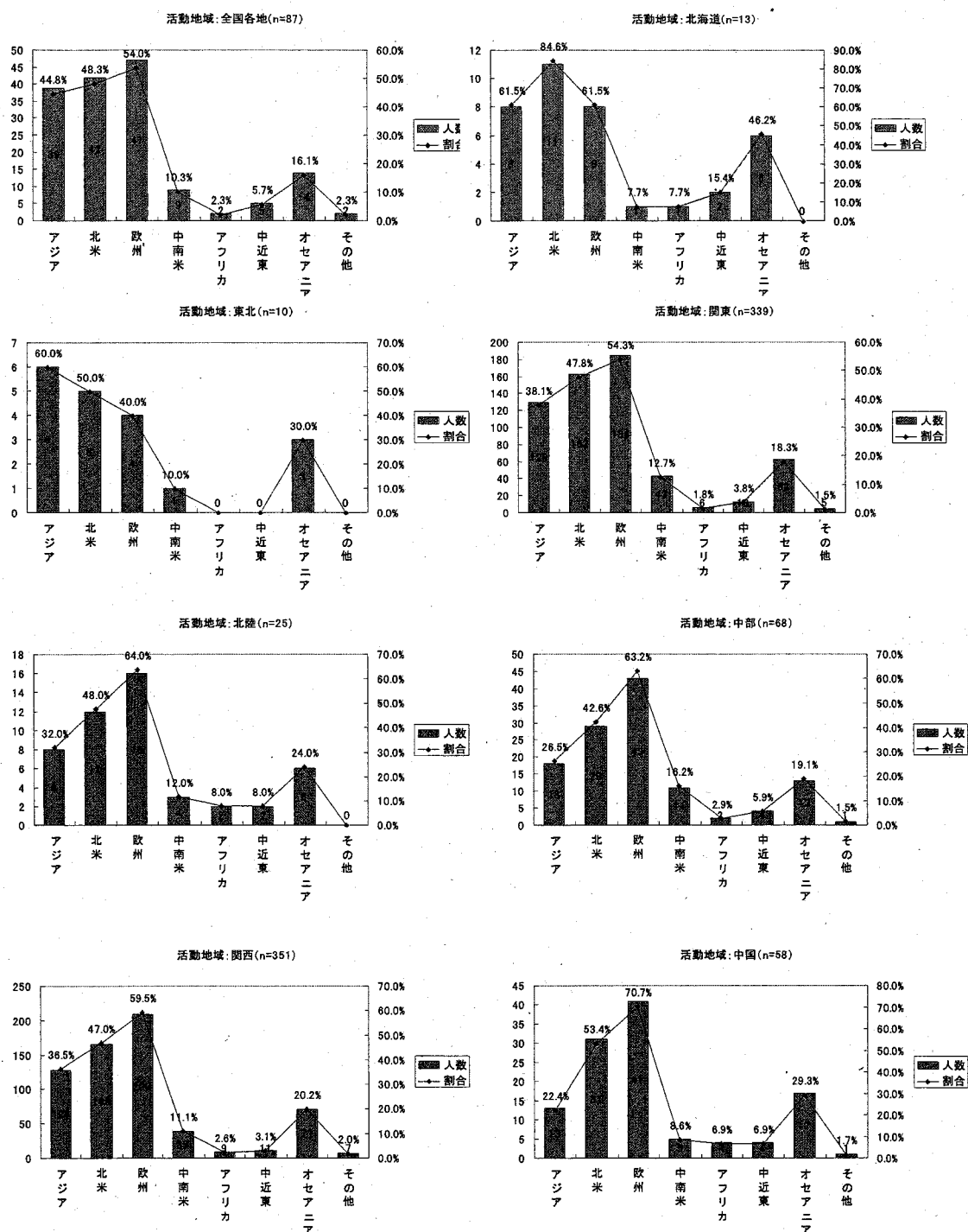
案内するお客様の国 トップ20		
順位	国名	人数
1	アメリカ	337
2	オーストラリア	141
3	イギリス	132
4	中国	127
5	カナダ	85
6	フランス	72
7	スペイン	70
8	ドイツ	67
9	韓国	61
10	メキシコ	54
11	台湾	52
12	シンガポール	51
13	イタリア	33
14	香港	29
15	インド	29
16	ロシア	27
17	マレーシア	20
18	スイス	20
19	ブラジル	18
20	タイ	16

① 通訳案内士の活動地域別案内するお客様の多い地域

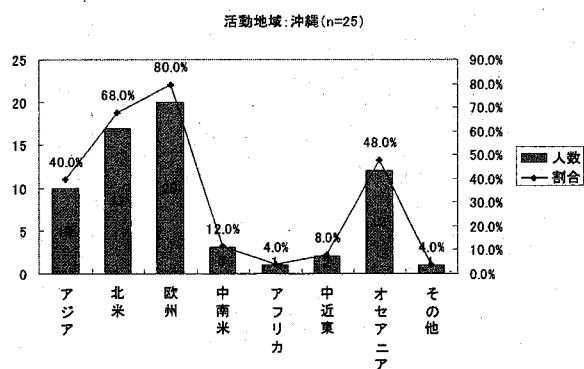
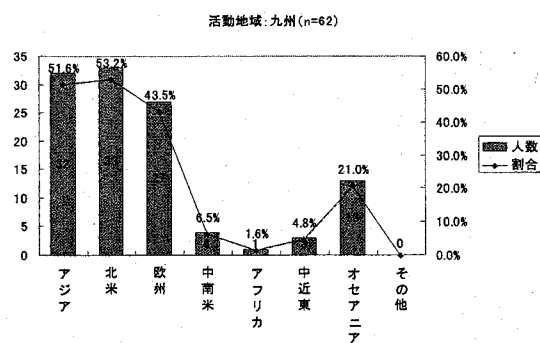
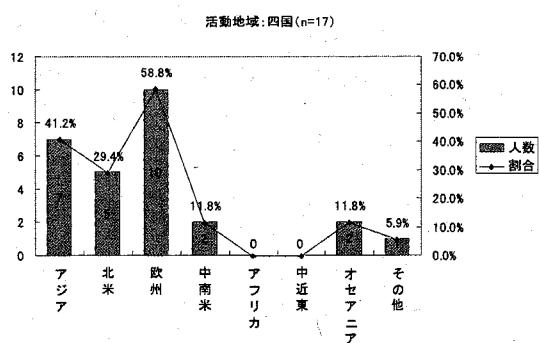
通訳案内士が活動している地域別に案内するお客様の多い地域を見ると、全国各地を案内する通訳案内士は、54.0% (n=47) が欧州からのお客様が多いと回答し、48.3% (n=42) が北米からのお客様が多いと回答している。

北海道では、84.6% (n=11) が北米からのお客様が多いとし、アジアからのお客様が多いとの回答と欧州からのお客様が多いとの回答が同率で 61.5% (n=8) である。東北では、60% (n=6) がアジアからのお客様が多いとしている。関東では、54.3% (n=184) が欧州からのお客様、47.8% (n=162) がそれぞれ多いと回答している。北陸においては、64.0% (n=16) が、中部では 63.2% (n=43)、関西で 59.5% (n=209)、中国で 70.7% (n=41)、四国で 58.8% (n=10)、沖縄で 80.0% (n=20) がそれぞれ欧州からのお客様が多いと回答しており、北海道と九州以外の地域において、欧州が最も高い割合となっている。九州では、北米 (53.2%、n=33)、アジア (51.6%、n=32) の割合が欧州の割合 (43.5%、n=27) を上回っている。

通訳案内士の活動地域別案内するお客様の多い地域

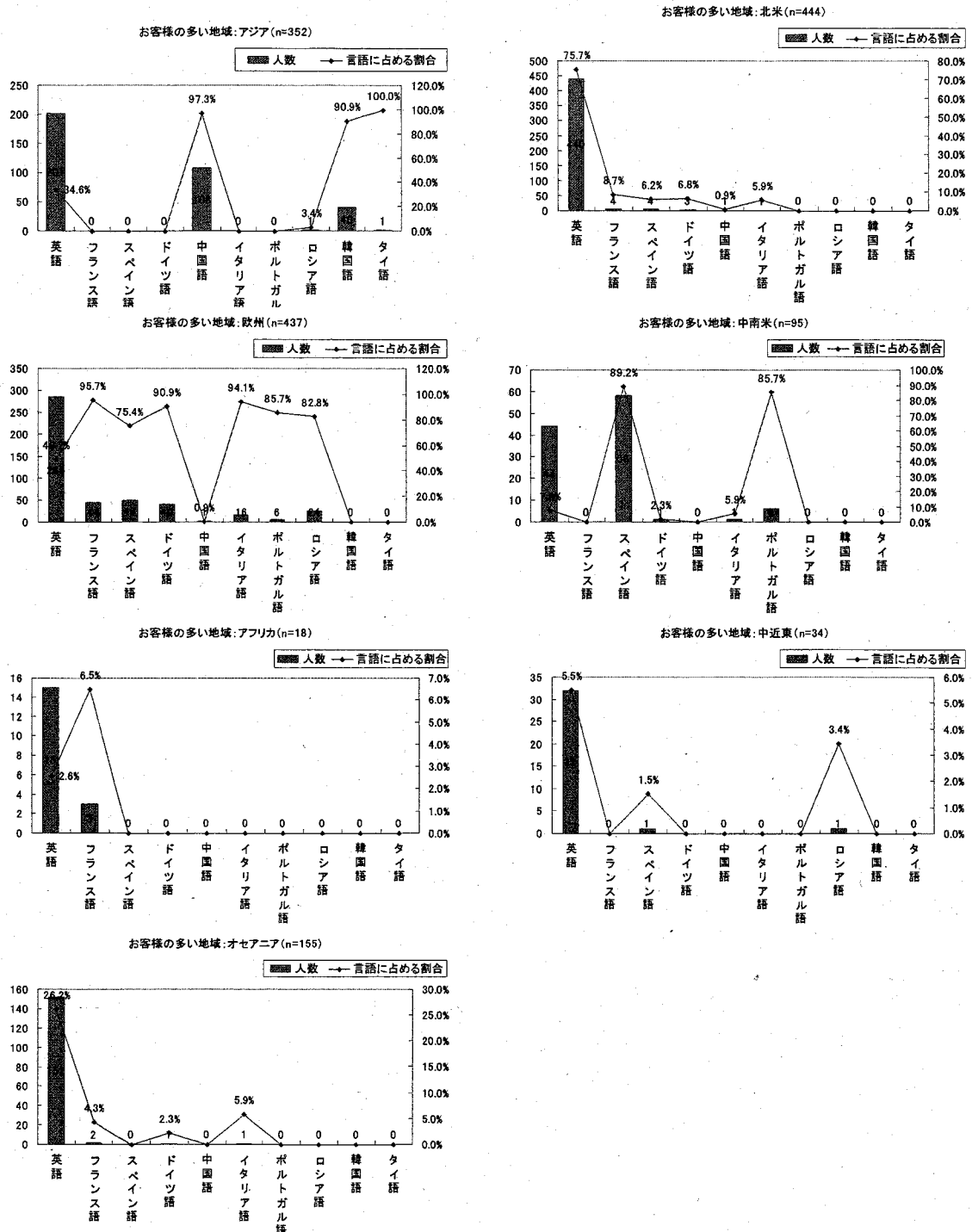


通訳案内士の活動地域別案内するお客様の多い地域



② 案内するお客様の多い地域別通訳案内士の登録言語²

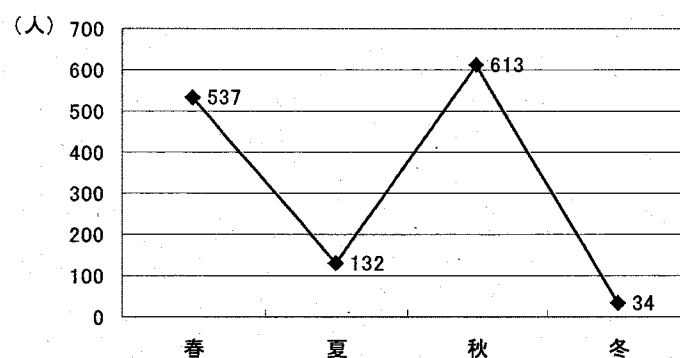
中南米を除く地域のお客様を案内しているのは、絶対数ではそれぞれ英語が最も多くなっている。各言語に占める案内するお客様の地域では、それぞれの言語圏のある地域で非常に高い割合を占めている。



² 複数言語登録している者については、全ての言語が回答に反映されている。

(4) お客様の多い時期 (n=911) (複数回答)

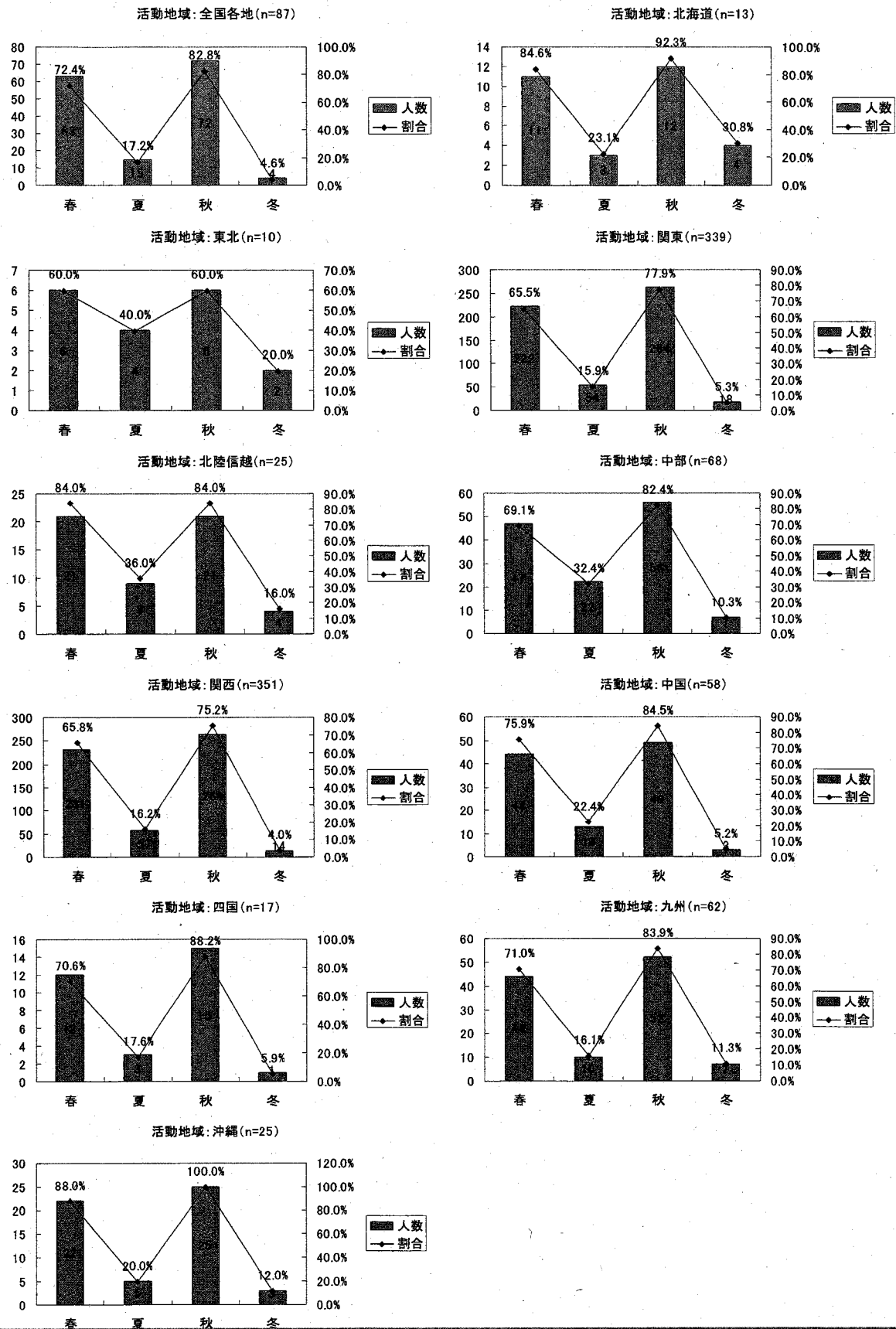
春 (n=537) と秋 (n=613) にお客様が多いとの回答が多く、季節変動が明白である。



① 通訳案内士の活動地域別お客様の多い時期

全地域で秋が最もお客様が多く、次に春にお客様が多いことがわかる。北海道では、冬が 30.0% (n=4) と他地域に比べて割合が高くなっている。また、東北では夏が 40.0% (n=4) で比較的高い割合になっている。

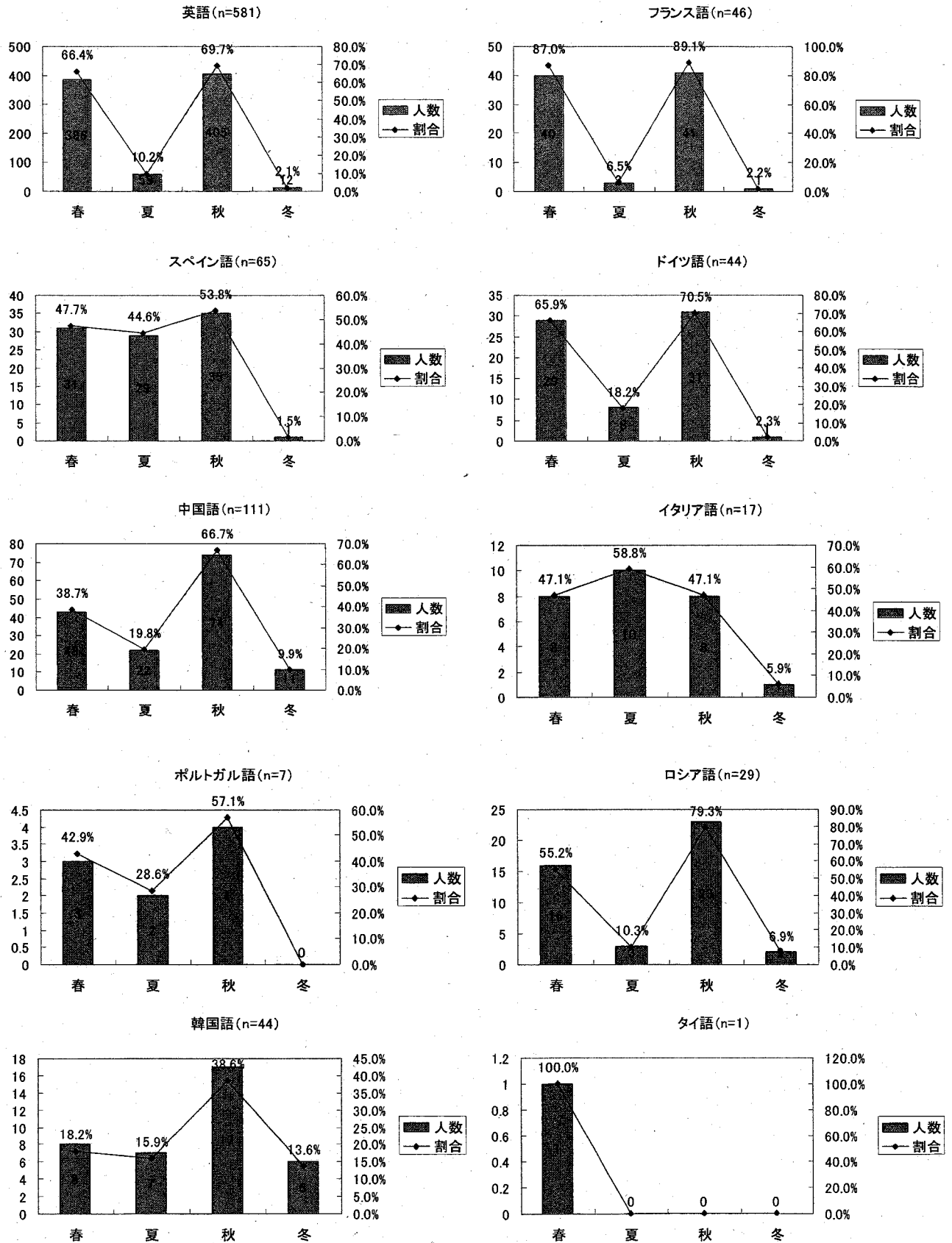
通訳案内士の活動地域別お客様の多い時期



② 登録言語別お客様の多い時期

英語、フランス語、ドイツ語、中国語、ポルトガル語、ロシア語で春と秋が高い割合となっている一方で、スペイン語では春（47.7%、n=31）、夏（44.6%、n=29）、秋（53.8%、n=35）の差が他言語に比べ小さくなっている。イタリア語においては、夏が 58.8%（n=10）と最も高い割合となっており、韓国語では春の割合（18.2%、n=8）が低く、秋（38.6%、n=17）の約半数で 10 言語中最も低い割合になっている。

登録言語別お客様の多い時期



(5) 案内する事の多い観光地・観光施設 (n=911) (自由回答)

お客様を案内する観光地・観光施設については、それぞれ「観光地」、「観光施設」、「その他」に分類し分析を行った。観光地では、京都、東京、箱根、奈良、鎌倉、日光などのいわゆるゴールデンルートと呼ばれている地域が多いが、高山、金沢、白川郷などの観光地を案内することも多くなっているのがわかる。観光施設については、有名な寺社仏閣が上位を占めている。一方で、温泉や産業観光に対する需要も出てきていることがわかる。

お客様を案内することの多い観光地・観光施設

順位	観光地(n=2,201)	人数
1	京都	326
2	東京	237
3	箱根	187
4	浅草	184
5	奈良	131
6	日光	126
7	鎌倉	117
8	富士	83
9	広島	55
10	大阪	53
11	高山	47
12	宮島	47
13	秋葉原	35
14	銀座	34
15	お台場	33
16	金沢	33
17	白川郷	29
18	長崎	27
19	名古屋	18
20	築地	17

順位	観光施設(n=1,288)	人数
1	金閣寺	131
2	皇居	119
3	清水寺	112
4	明治神宮	105
5	二条城	83
6	寺社仏閣	65
7	東大寺	49
8	東京タワー	45
9	大阪城	44
10	浅草寺	35
11	平安神宮	26
12	三十三間堂	25
13	広島平和公園	23
14	竜安寺	22
14	春日大社	22
16	長崎原爆資料館	14
17	名古屋城	13
18	江戸東京博物館	12
19	熊本城	11
20	東京ディズニーリゾート	10
20	首里城	10

順位	その他(n=43)	人数
1	温泉	10
2	トヨタ自動車の工場見学	5
3	遊覧船	2
4	ショッピング	2
5	別府温泉地獄めぐり	2
6	さっぽろ雪祭り	2
7	大相撲観戦	2
8	工場見学	2
9	隅田川クルーズ	2
10	スキー	1
10	山岳地域のトレッキング	1
10	四国八十八ヶ所	1
10	水上バス	1
10	サッカー観戦	1
10	茶道	1
10	着物ショー	1
10	朝市	1
10	東京近郊の祭り	1
10	箱根クルージング	1
10	武道	1
10	芦ノ湖クルーズ	1
10	有田焼窯元めぐり	1

① 登録言語別案内する事の多い観光地

欧米言語では、東京や京都などの代表的な観光地、観光施設が多いが、中国語では代表的な観光地に加え、お台場や秋葉原、銀座などのエリアが入っており、韓国語では別府や温泉といった回答が入っている。

言語別案内する観光地・観光施設

言語別案内する観光地・観光施設:英語

観光地、観光施設	人数
1 京都	194
2 東京	131
3 浅草	122
4 箱根	109
5 皇居	81
6 奈良	80
7 鎌倉	80
8 日光	75
9 金閣寺	75
10 明治神宮	73
11 清水寺	63
12 二条城	53
13 寺社仏閣	51
14 富士	49
15 広島	38
16 東京タワー	31
17 高山	29
18 宮島	29
19 東大寺	27
20 長崎	25

言語別案内する観光地・観光施設:フランス語

観光地、観光施設	人数
1 京都	27
2 東京	18
3 鎌倉	14
4 日光	12
5 浅草	12
6 明治神宮	11
7 箱根	11
8 奈良	11
9 二条城	9
10 金閣寺	9
11 広島	8
12 宮島	6
13 清水寺	6
14 皇居	6
15 浅草寺	5
16 秋葉原	5
17 寺社仏閣	5
18 東大寺	4
19 春日大社	4
20 高野山	4

言語別案内する観光地・観光施設:スペイン語

観光地、観光施設	人数
1 箱根	22
2 東京	21
2 京都	21
4 浅草	16
5 明治神宮	15
5 日光	15
7 皇居	12
8 富士	10
8 奈良	10
10 鎌倉	9
11 清水寺	8
11 金閣寺	8
13 金沢	7
13 高山	7
15 白川郷	6
15 二条城	6

言語別案内する観光地・観光施設:ドイツ語

観光地、観光施設	人数
1 京都	24
2 東京	13
3 奈良	10
3 金閣寺	10
5 浅草	8
6 日光	7
6 清水寺	7
8 箱根	6
8 二条城	6
10 高山	6
10 広島	6
12 竜安寺	5
12 寺社仏閣	5
13 平安神宮	4
13 鎌倉	4
15 明治神宮	3
15 白川郷	3

言語別案内する観光地・観光施設:中国語

観光地、観光施設	人数
1 京都	37
2 東京	36
3 箱根	24
4 大阪	19
5 金閣寺	18
6 富士	16
6 清水寺	16
8 皇居	15
9 大阪城	14
9 浅草	14
11 お台場	12
12 秋葉原	10
13 嵐山	9
14 東京ディズニーリゾート	7
15 奈良	6
15 浅草寺	6
15 神戸	6
15 銀座	6
15 宮島	6

言語別案内する観光地・観光施設:イタリア語

観光地、観光施設	人数
1 京都	9
2 東京	8
3 明治神宮	6
4 箱根	5
4 奈良	5
4 浅草	5
4 高山	5
4 鎌倉	4
9 富士	3
10 広島	3
10 宮島	3
10 白川郷	3
10 金沢	3
10 日光	3

言語別案内する観光地・観光施設:ポルトガル語

観光地、観光施設	人数
1 京都	5
2 東京	4
3 奈良	3
4 箱根	2
4 日光	2
4 大阪	2
4 寺社仏閣	2
5 明治神宮	1
5 清水寺	1
5 浅草	1
5 三十三間堂	1
5 鎌倉	1
5 東京タワー	1
5 沖縄	1
5 二条城	1
5 広島	1
5 金閣寺	1
5 富士	1

言語別案内する観光地・観光施設:ロシア語

観光地、観光施設	人数
1 箱根	12
2 東京	11
3 京都	10
4 日光	8
4 鎌倉	8
6 金閣寺	7
7 浅草	6
7 清水寺	6
9 竜安寺	5
10 奈良	4
10 皇居	4

言語別案内する観光地・観光施設:韓国語

観光地、観光施設	人数
1 京都	14
2 奈良	9
3 浅草	7
4 東京	6
4 清水寺	6
4 金閣寺	6
7 大阪城	5
8 箱根	4
8 二条城	4
8 東大寺	4
8 大阪	4
9 日光	3
10 別府	2
10 温泉	2
10 鎌倉	2
10 お台場	2
10 阿蘇	2
10 皇居	2

(6) 最近の傾向 (n=911) (自由回答)

① 旅行者の傾向

リピーターの増加やインターネットの普及等により全体的に旅行者のニーズが多様化してきている。外国人旅行者の興味関心事は、日本の伝統文化と最新の日本（サブカルチャー、最新技術、トレンドスポットなど）で二極化してきている。

最近の傾向

	主な回答
有名観光地以外の場所に行きたがる (n=59)	・あまり人の行かない場所への案内をリクエストされる ・リピーターからガイドブックなどで紹介されていない隠れた名所のリクエストが増えている ・ロシアの場合まだ典型的観光ルートが多いが、インターネットの普及で日本人の穴場のような場所を見たいという要望も時々ある。 ・昔ながらの観光箇所だけではなく、自分の興味のある物、場所を自国で得た情報を元に地方都市や特定の美術館、博物館を求める人が増えました。 ・「京都イコール日本」という感覚は変わらないが、リピーターには俗に小京都といわれる町などにお連れすると大変喜ばれる。
代表的な観光地に行く (n=42)	・リピーターが少ない国からの旅行者は代表的な観光地を訪問するのがほとんど ・典型的な観光地が多い ・京都は相変わらずの人気 ・景勝地としては富士山、箱根に人気が集まる
ショッピングのニーズが高い (n=40)	・アジア系のグループは買い物好き、浅草、秋葉原、銀座が人気 ・アジア系観光客はショッピングに興味があり、皇居などよりもアウトレットモールを好む ・団体客は、ショッピングが目的のことが多く、ショッピングモールへよく行く ・大型電気店への案内の希望が多い ・ドラッグストアが人気
体験観光のニーズが高い (n=23)	・体験型プログラムに興味を示す観光客が多い ・観光地を巡るにとどまらず、テーマ性の体験型の観光が増えてきた(禪の心を探る、海女との交流、和菓子作りなど) ・イチゴ狩り・こけしの絵付け・そば打ちなど体験型観光が好評
日本人の生活が見れる場所、体験できる場所を好む (n=19)	・普通の日本人の暮らしを見てみたいという方も増えている ・お昼などは、一般の日本人の行くお店を案内すると喜ばれる ・京都なら町家や市場など市民の生活の様子が見え、うかがえる場所を希望される ・寺社や観光地よりも日本的風景の残る普通の場所が喜ばれる ・地元の人の暮らし方が解るような場所や施設が喜ばれる ・リピーターが多く名所旧跡だけでなく、生活に密着した場所を案内すると喜ばれる
日本の伝統文化、歴史への興味関心が高い (n=19)	・古い情緒を残した浅草、都市そのものが歴史的文化的な京都・奈良が人気 ・ハイテクでない古い東京が見られるところ、寺社、庭園、下町 ・欧米からの観光客は歴史的な場所、古いものが好き
日本のサブカルチャーへの興味関心が高い (n=19)	・フランスのマングラームによって日本文化に興味を持つ若者が多い ・学生ツアーでは日本のアニメ・マンガの店や関連ミュージアムへの関心が高まっている ・伝統的なものはもちろんだが日本の新しい側面を見たいという観光客が増えた。秋葉原は「アキバ」「オタク」でよく知られており、希望する観光客も多い。アニメのアテレコ体験ツアーを好む方も多い
温泉・日本旅館に行く (n=18)	・温泉に入りたいという希望が多い ・温泉利用、日本旅館への宿泊、温泉コンプレックスで日帰り利用が多い ・温泉地旅館、和室滞在、大浴場や作動体験、居酒屋での食事など一歩踏み込んだ体験への希望がある
日本について多くの情報を事前に入手してくる (n=11)	・お客様が前もって多くの情報を入手しておられ、お客様のご希望によりご案内することも多くなった ・事前リサーチを重ね、個性的な旅行プランをもっている ・インターネット情報で日本についての基本知識を得ている客が多く、ありきたりの情報でなく、より新しい話題性のある場所に行きたがる傾向がみられる
日本のトレンド、最先端スポットへの興味関心が高い (n=11)	・日本のハイテクを感じられる所に行きたがる ・リピーターのお客様も多く、お台場、六本木など新しいスポットのリクエストも多くなっている
食事に関するニーズが多様化 (n=8)	・寺よりも有名レストランを案内する機会が多い ・昼食は吉野家など普通のところという要望が増えている ・日本の料理に関する関心が強い
自由なプランを好む (n=7)	・宿泊の長い、すべてガイドが案内するツアーが減り、自由旅行が増えた ・観光コースにとどまらず、個人の好みに応じて企画するFITツアー(個人旅行)が増加しているように思われる ・行きたいところを尋ねてのフリー行動が多い

② 観光地・観光施設の現状

観光地、観光施設においては、外国人の受入体制が一部まだ不十分なところもあるが、かなり整備されてきていることがわかる。

肯定的な傾向	人数
外国語の案内標記の整備・充実	16
トイレの整備・清潔感	12
外国人の受入体制が全体的に整ってきている	11
観光地・観光施設のサービス、外国人対応が向上	8
外国語パンフレットが充実	5

改善が必要な事項	人数
トイレの整備・設備が不十分	12
施設の設備・整備が不十分（外国人に対応できていない）	8
クレジットカード利用可能な箇所、ATMが不足	6
観光地・観光施設のサービス、外国人対応が不十分	5
外国語の案内標記が不足	4
外国語のパンフレットが不足	4

③ ガイドについて

最近の傾向として、外国から添乗員としてツアーに同行している者が観光案内をしている様子や日本在住の外国人が観光案内をしているなどの無資格ガイドが散見される（n=15）。また、外国人旅行者は増加しているものの、ガイドを伴わない旅行者も見られる（n=4）。

4. 兼業者・未就業者の実態

通訳案内のみを業としていない兼業者の実態、および通訳案内を業としていない未就業者の実態を分析する。

(1) 兼業者の本業（副業）（n=558）

兼業者の本業もしくは副業（通訳案内士が本業の場合）は、通訳・翻訳業が最も多く、次に語学学校講師や語学学校経営など語学を活かしたものが中心となっている。

本業（副業）	人数
通訳・翻訳	146
語学学校講師、語学学校経営	107
会社員（旅行業以外）	72
教職員（中学、高校、大学、専門学校など）	64
自営業・会社役員	39
主婦・無職	33
観光関連業務従事者	19
団体職員	15
講師（語学以外）	14
アルバイト	5
研究職	4
学生	2
農業	1
ボランティア	1
医師	1
タクシー乗務員	1

(2) 未就業者の本業（n=2,519）

一方で、未就業者の本業では、一般の会社員が最も多くなっており、次に退職者、主婦、無職、小学校、中学校、高校、大学、専門学校の教職員が多い。

本業	人数
会社員（旅行業以外）	543
退職者、主婦、無職	386
学校教職員（小・中・高・大学、専門学校）	306
通訳・翻訳	193
語学学校講師・経営	139
自営業・会社役員	138
公務員（国家・地方）	83
団体職員・役員	80
教育関係	54
観光関連従事者	27
医療関係	23
パート・アルバイト	15
学生	12
研究職	6
美術関係	4
農業	3
児童施設勤務	1
図書館司書	1
不定期業務に従事している	1

(3) 兼業・未就業の理由（n=3,077）

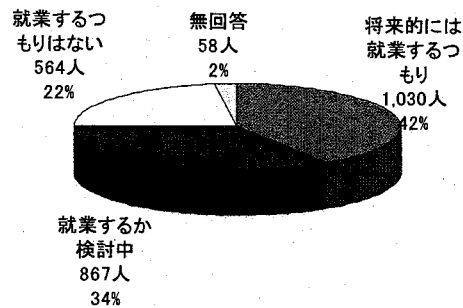
兼業や未就業の理由としては、「本業や他業務に従事」していることが最も多くあげられている。本業において「副業禁止規定」がある回答者も多く、通訳案内を業とできない要因となっている。

次に、通訳案内士の需要が少ないことがあげられており、その中でも、単に就業機会がないという理由に次いで、「地方在住のため需要がない、機会がない」という回答が目立った。

主な理由	人数
本業／他業務に従事	1,103
需要が少ない	522
生業としての不安定さ	415
育児、介護等家庭の事情	227
年齢、健康状態	152
技能・適性に不安がある	101
就業する意思がない	89
就業手段がない／わからない	81
就業条件が合わない	46
海外在住のため	24
その他	24
将来就業したい	20
以前は就業していたが休業中	8
就業に関する情報不足	6

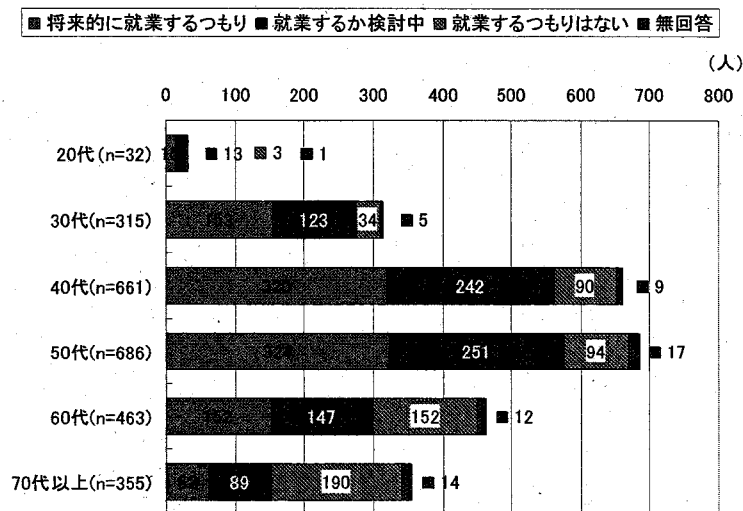
(4) 未就業者の就業意思 (n=2,519)

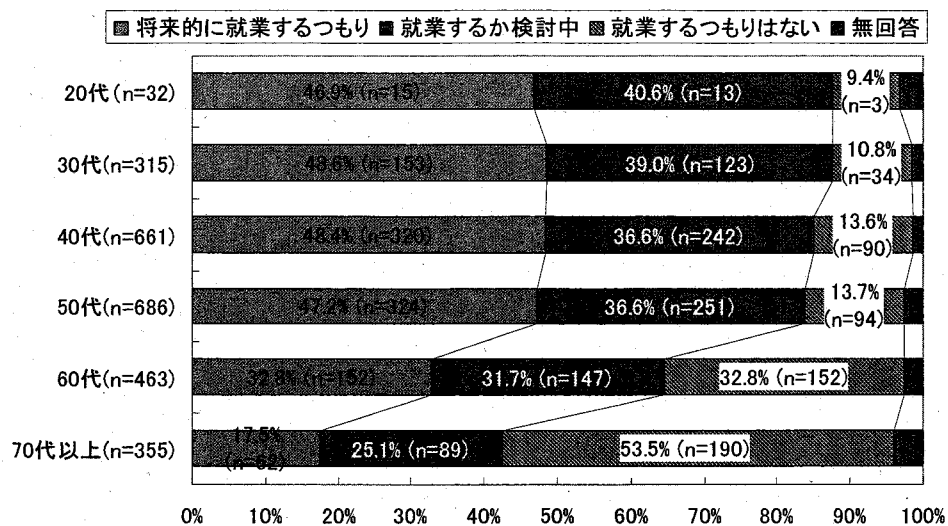
現在通訳案内を業としていないと回答した未就業者のうち、42% (n=1,030) が将来就業するつもりだと回答している。また、就業するか検討中の回答者は 34% (n=867) で、就業したいという意欲は比較的高いと考えられる。



① 世代別未就業者の就業意思

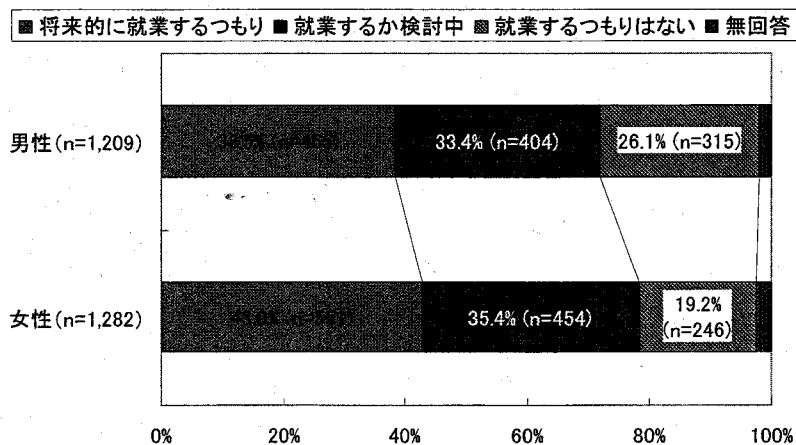
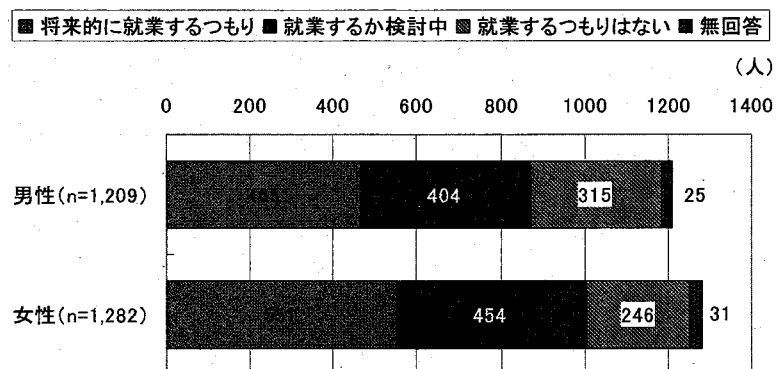
年齢別に就業意思を見ると、20代が30代よりやや就業意思が劣るが、全体的に年齢が若いほど就業意思があることがわかる。





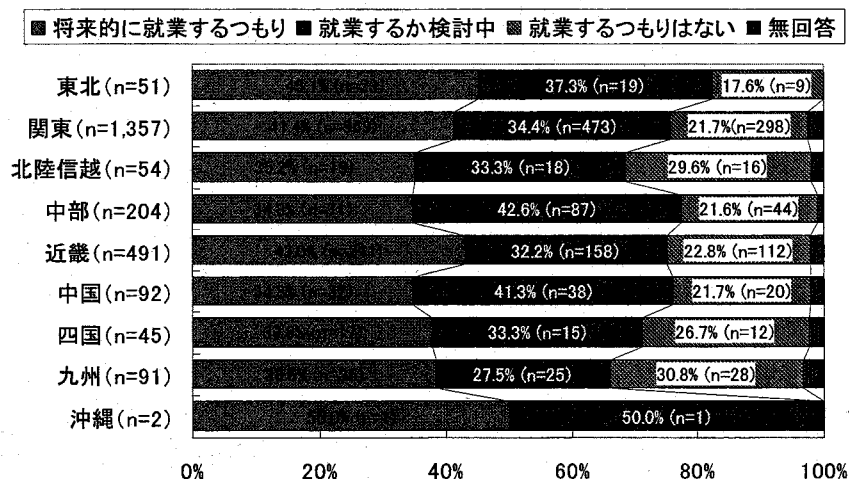
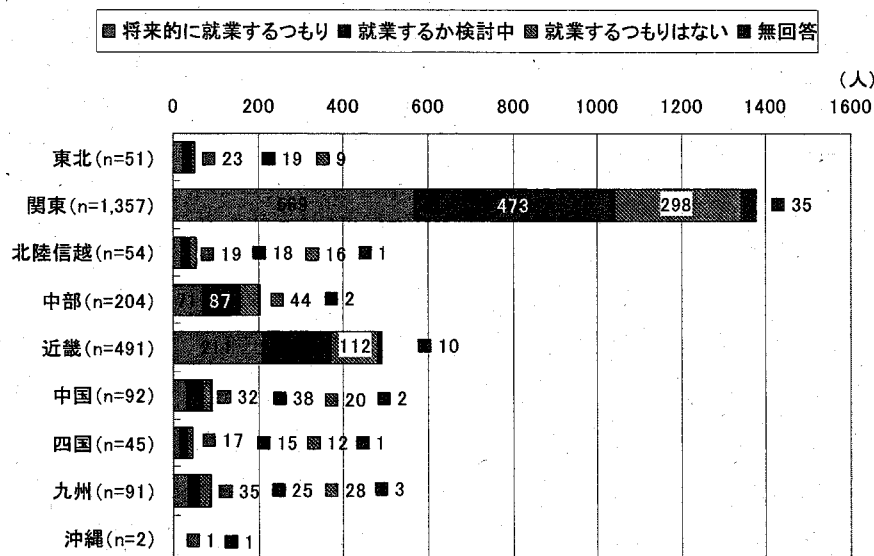
② 男女別未就業者の就業意思

男女別では、将来的に就業するつもりと回答した男性は 38.5% (n=465)、女性は 43.0% (n=551) で、男性より女性の方が将来の就業意思が高い。



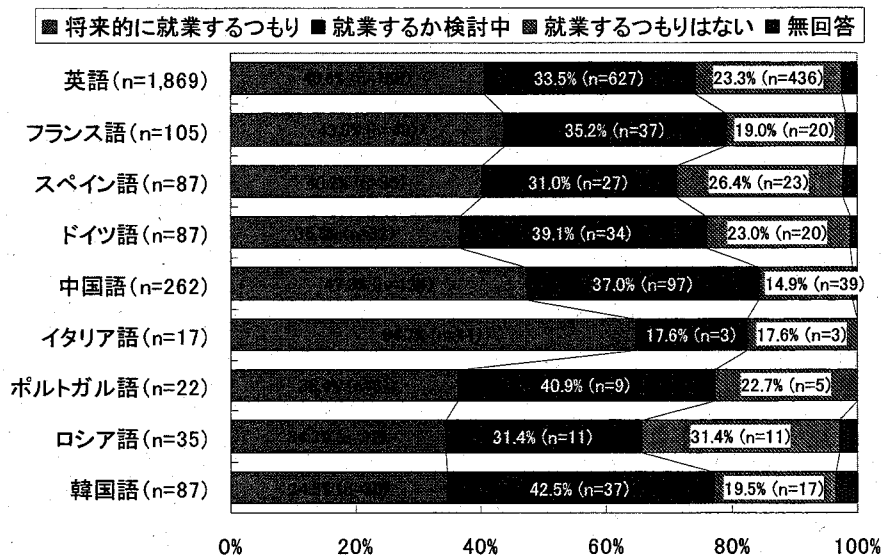
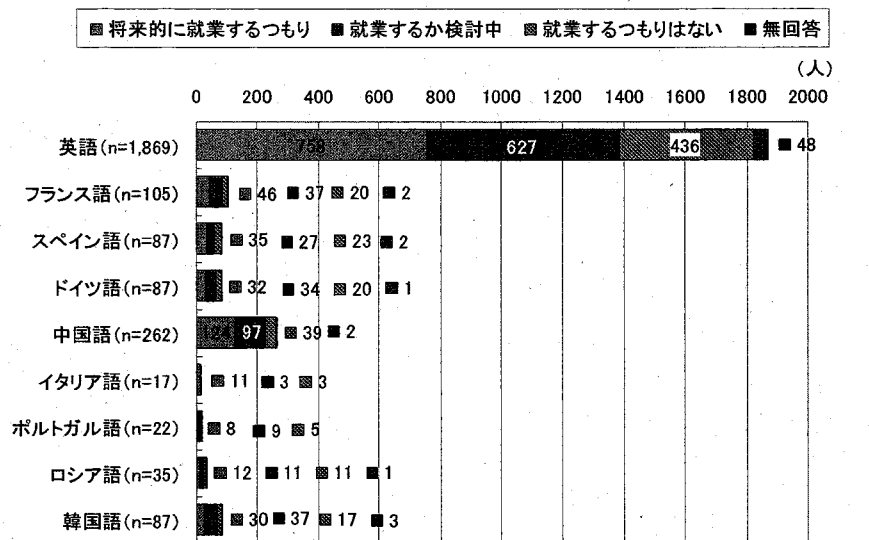
③ 地域別未就業者の就業意思

地域別では、東北（45.1%、n=23）や関東（41.4%、n=569）、近畿（43.0%、n=211）で就業意思が高くなっている。



④ 登録言語別未就業者の就業意思

言語別では、イタリア語が最も就業意思が高く 64.7% (n=11)、次に中国語で 47.3% (n=124) となっている。



(5) 通訳案内士業に就く際の弊害 (n=3,077) (自由回答)

生業として収入や就業機会が不安定なことが、通訳案内を業とする際に最も弊害となる要因としてあげられている。また、地方によって就業機会がないことなどの「需要がない・少ない」ということも弊害としてあげられている。実際に就業することを想定した際に、時間が不規則であったり、長時間拘束されたりする、といった就業条件が現在の生活に合わないことも弊害となっている。

就業意思別にみると、生業としての不安定さがそれぞれ最も多い弊害となっているが、「将来就業するつもり」と回答した者は、現在の本業や他業務との両立が困難であり、大きな弊害となっている。また、「就業するか検討中」と回答した者にとっては、需要が少ないことに加え、時間の不規則さや長時間の拘束など、就業条件が合わないことが弊害となっている。「就業するつもりはない」と回答した者は、60代 (n=152)、70代 (n=190) の回答者が多かったことから、大きな弊害として、年齢や健康状態があげられている。

弊害	主な回答
生業としての不安定さ (n=631)	収入が不安定 季節波動がある 専業では生計が成り立たない 職業の不安定さ 報酬が低い 就業機会が不安定
本業・他業務への従事 (n=355)	時間的余裕がない 本業との両立が困難 副業禁止規定 本業がある
需要がない・少ない (n=349)	就業機会がない・少ない 地方在住のため就業機会が少ない 無免許ガイドの横行で就業機会が少ない ボランティアガイドとの就業機会競合
年齢・健康状態 (n=222)	年齢 体力 年齢制限
就業条件が合わない (n=214)	勤務時間が不規則 時間的制約 就業地が遠方 長時間の拘束
育児・介護等家庭の事情 (n=147)	育児との両立 家庭生活との両立 介護
技能・適性 (n=142)	経験不足 スキル不足 知識不足
就業手段 (n=120)	就業方法がわからない 就業機会の確保 斡旋機関がない
その他 (n=67)	海外在住のため わからない 資格取得からの時間的経過
情報不足 (n=55)	就業に関する情報不足 仕事の内容がわからない 業界団体の情報が少ない
研修の仕組み (n=38)	研修機会がない 地方在住のため研修機会がない ガイド育成のシステムがない
通訳ガイドの地位 (n=28)	社会的認知度・地位が低い 身分が保証されない
業界団体への所属 (n=16)	業界団体への所属費用が高額 業界団体の機能が不明確・不十分
就業意思・意欲がない (n=14)	就業意思がない 意欲がない
就業予定 (n=3)	定年退職後の就業を考えている
就業検討中 (n=2)	就業を検討中

就業意思別通訳案内士業に就く際の弊害

将来的に就業するつもり(n=1,030)

就業に際しての弊害	人数
生業としての不安定さ	286
本業・他業務への従事	195
需要がない・少ない	155
就業手段	82
就業条件が合わない	76
育児・介護等家庭の事情	75
技能・適性	50
特になし	50
年齢・健康状態	43
その他	34
情報不足	33
研修の仕組み	21
通訳ガイドの地位	14
業界団体への所属	6
就業予定	3

就業するか検討中(n=867)

就業に際しての弊害	人数
生業としての不安定さ	221
需要がない・少ない	130
就業条件が合わない	104
本業・他業務への従事	100
年齢・健康状態	61
技能・適性	52
育児・介護等家庭の事情	52
特になし	39
就業手段	31
その他	20
情報不足	16
研修の仕組み	15
通訳ガイドの地位	9
業界団体への所属	6
就業検討中	2
就業意思・意欲がない	2

就業するつもりはない(n=564)

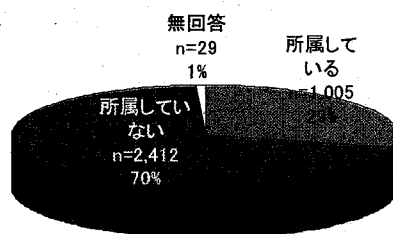
就業に際しての弊害	人数
生業としての不安定さ	124
年齢・健康状態	118
需要がない・少ない	64
本業・他業務へ従事	60
技能・適性	40
就業条件が合わない	34
特になし	22
育児・介護等家庭の事情	20
その他	13
就業意思・意欲がない	12
就業手段	7
情報不足	6
通訳ガイドの地位	5
業界団体への所属	4
研修の仕組み	2
ボランティアとしての活動を検討	1

5. 業界団体への所属状況

通訳案内士の仕事の取得方法として最も多い回答を得た、業界団体への所属状況について分析する。

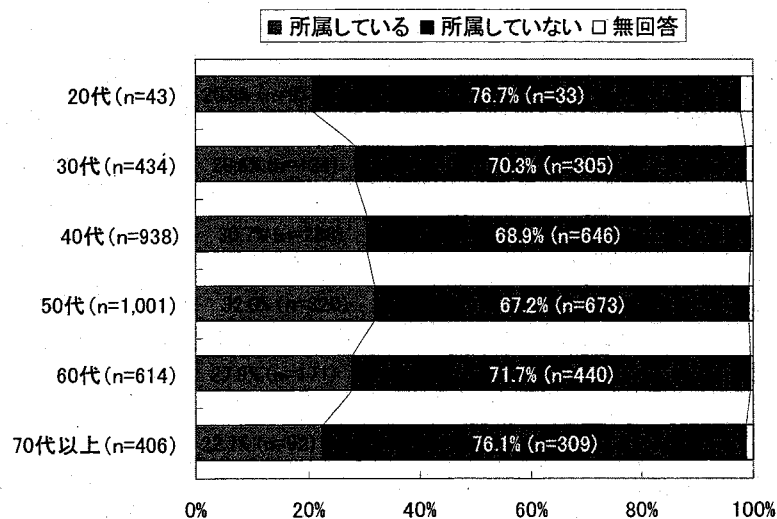
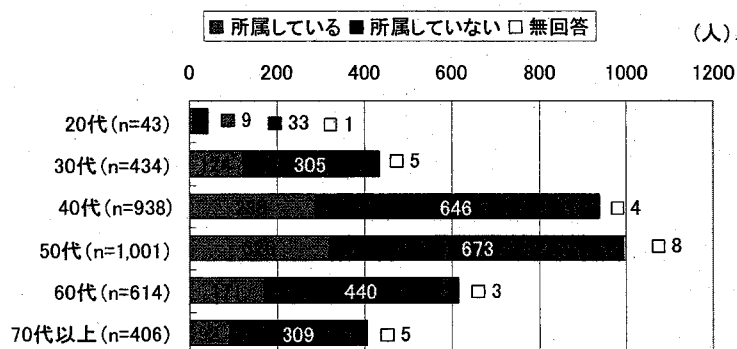
(1) 所属の有無 (n=3,446)

全体の 70% (n=2,412) が通訳案内士の業界団体に所属していないと回答しており、29% (n=1,005) が所属していると回答している。



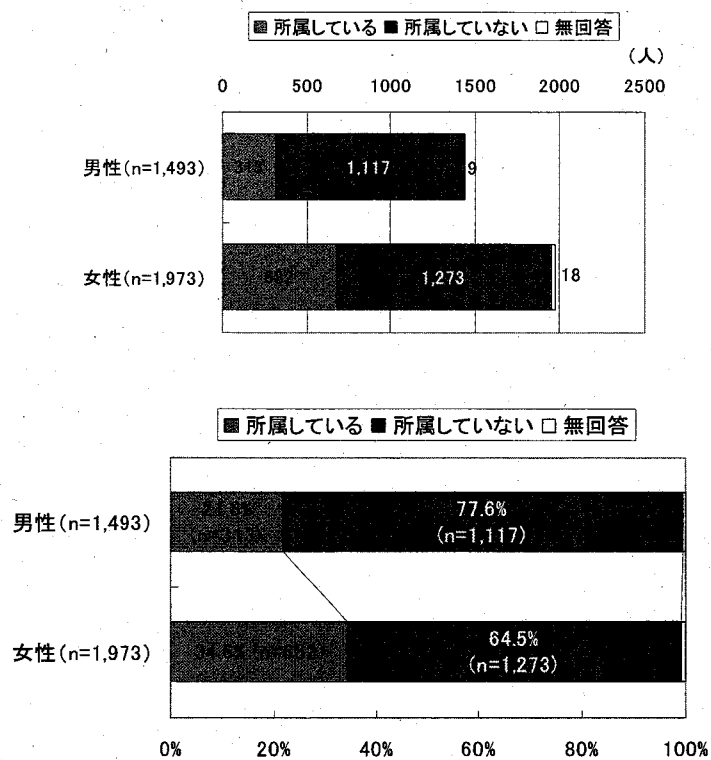
① 世代別業界団体への所属有無

年齢別に大きな差はなく、概ね 30%前後が業界団体に所属していると回答している。



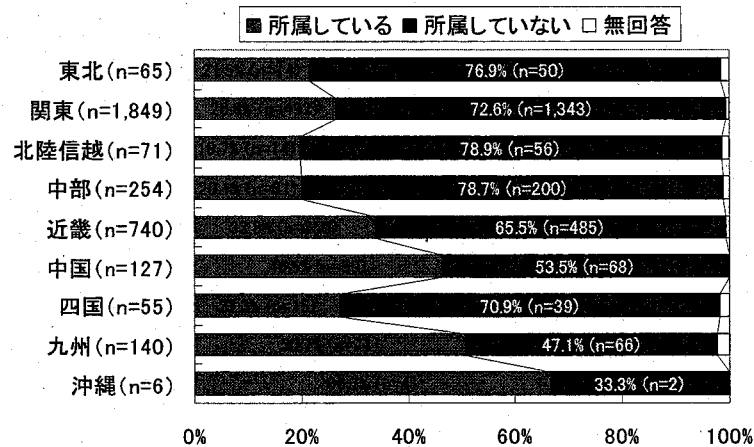
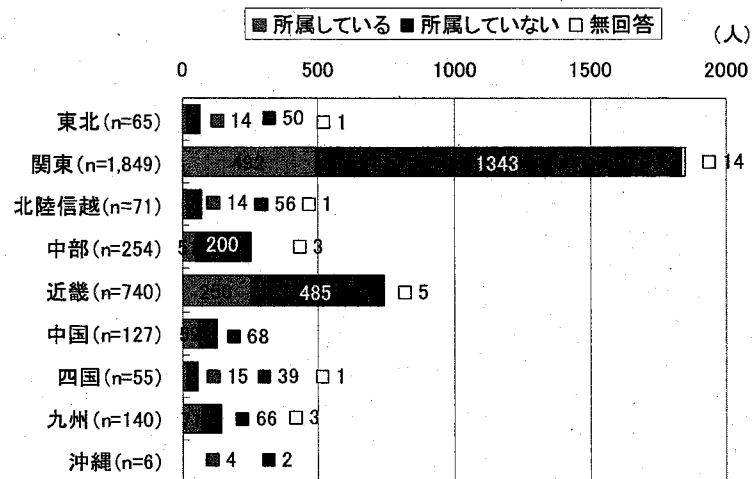
② 男女別業界団体への所属有無

業界団体に所属している割合は女性（34.6%、n=682）が男性（21.8%、n=313）を 12.8 ポイント上回っている。



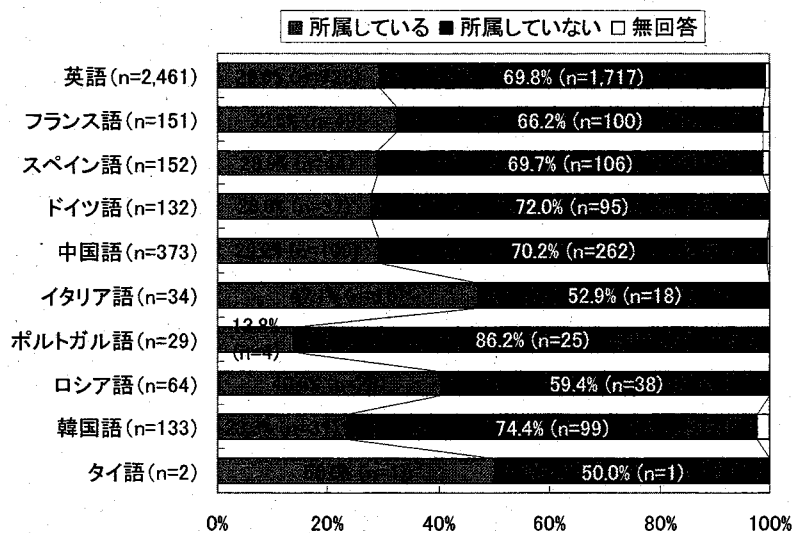
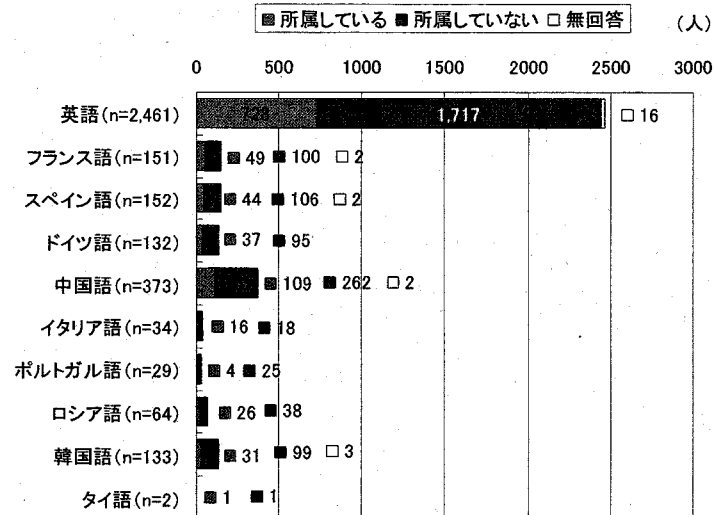
③ 地域別業界団体への所属有無

地域別では地域に業界団体のある中部（ひろしま通訳・ガイド協会）、九州（九州通訳ガイド協会）の所属割合が高く、それぞれ 46.5%（n=59）、50.7%（n=71）となっている。



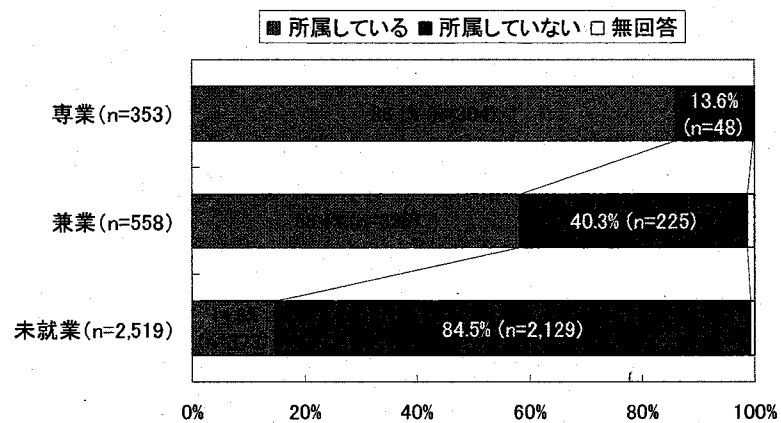
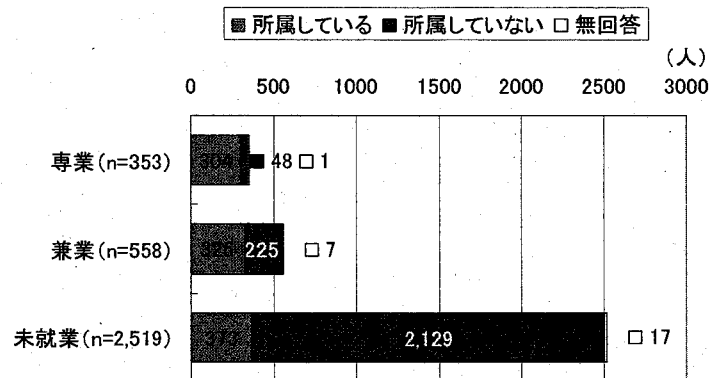
④ 登録言語別業界団体への所属有無

登録言語別では、イタリア語の通訳案内士の所属率が 47.1% (n=16) と高くなっている。また、ロシア語も 40.6% (n=26) と高い割合を占めている。



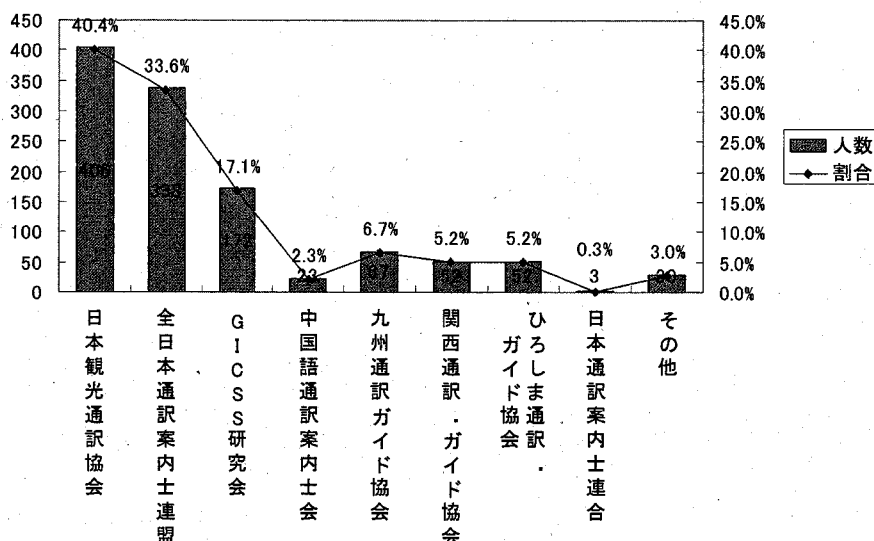
⑤ 就業状況別業界団体への所属有無

就業状況別では、専業で 86.1% (n=304) が業界団体に所属しており、兼業で 58.4% (n=326) が所属している。所属の割合では専業者の方が高いが、絶対数では兼業者の数の方が多くなっている。



(2) 所属している団体 (n=1,005) (複数回答)

通訳案内士が所属している団体では、日本観光通訳協会が最も多く 40.4% (n=406)、次に全日本通訳案内士連盟が 33.6% (n=338) となっている。



その他の団体としては、ロシア語通訳協会 (8 人)、長崎県通訳案内士協会 (5 人)、各地の善意通訳組織 (SGG) (5 人)、沖縄通訳案内士会 (3 人)、全日本韓国語通訳案内士会 (2 人) などがあげられている。

(3) 団体に所属していない理由 (n=2,412) (自由回答)

業界団体に所属していない理由としては、「就業していない」、「他に本業がある」、「所属の必要がない」という回答が上位にきている。また、「以前所属していたが、就業しなかったため、または、仕事の斡旋がなかったため脱退した」との回答も多く見られた。

	主な理由	人数
1	就業していないため	482
2	本業があるため	136
3	必要がないから	117
4	以前所属していたが脱退	97
5	本業で多忙のため	73
6	就業する意思がないため	66
7	仕事の斡旋がなくメリットがないので	53
8	就業の機会がないため	48
9	検討中	41
10	費用が高額	38

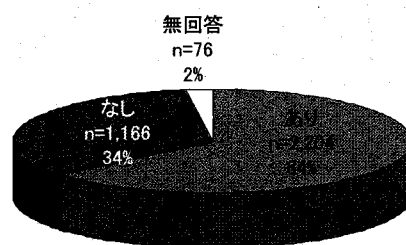
6. 研修・自己啓発

回答者全員の研修への参加状況や自己啓発について分析する。

(1) 就業前研修（新合格者研修）について（n=3,446）

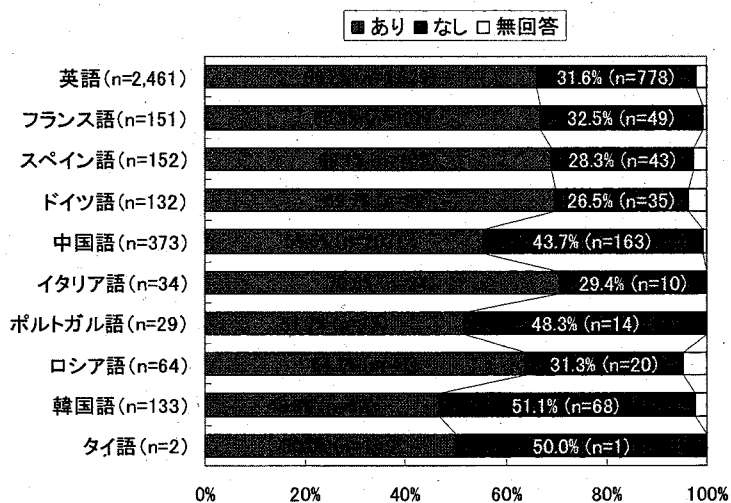
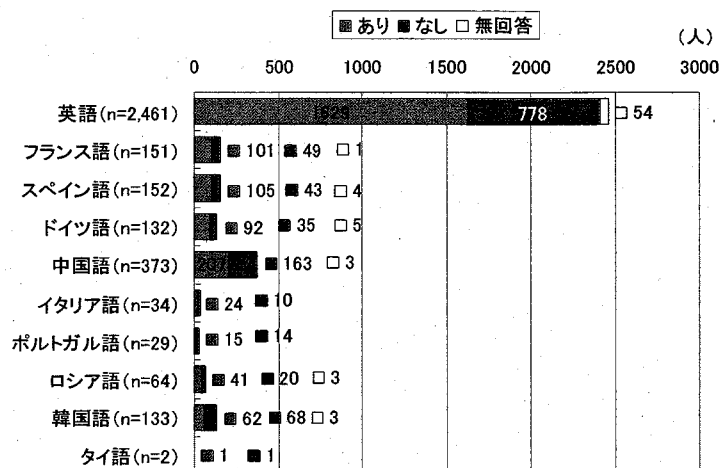
① 参加経験

就業前研修は、全体の半数以上の 64%（n=2,204）が参加した経験があると回答した。



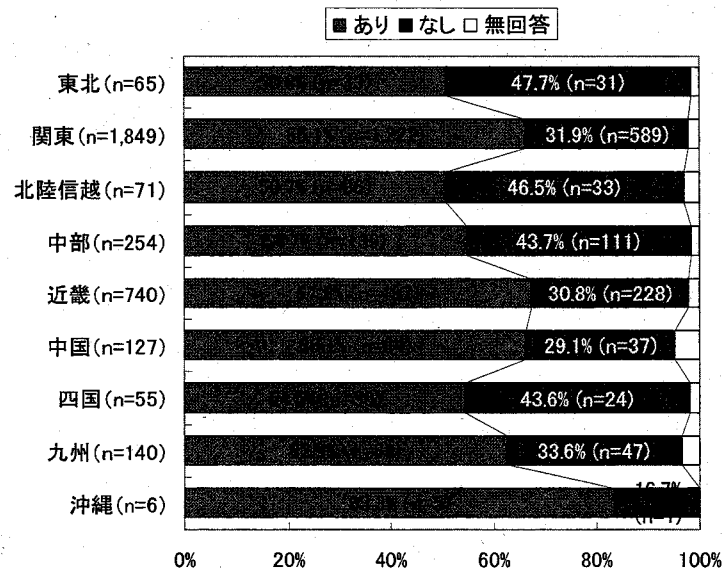
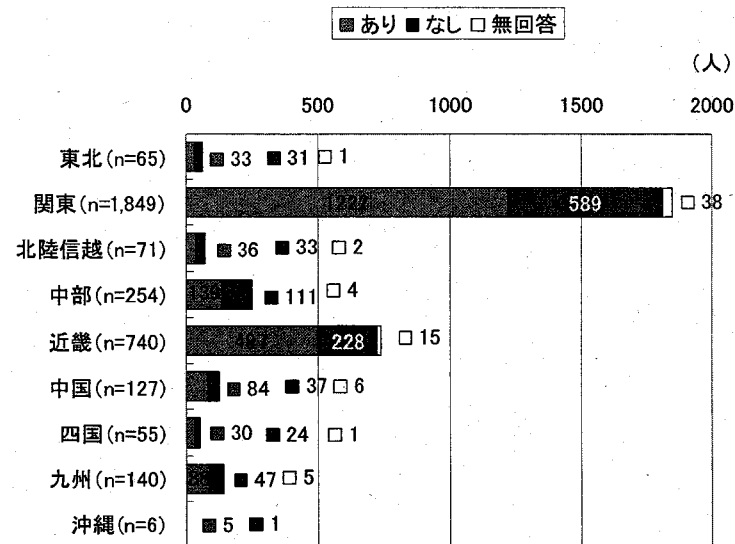
a. 登録言語別参加経験

登録言語別では、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語でそれぞれ約 70%が参加している。



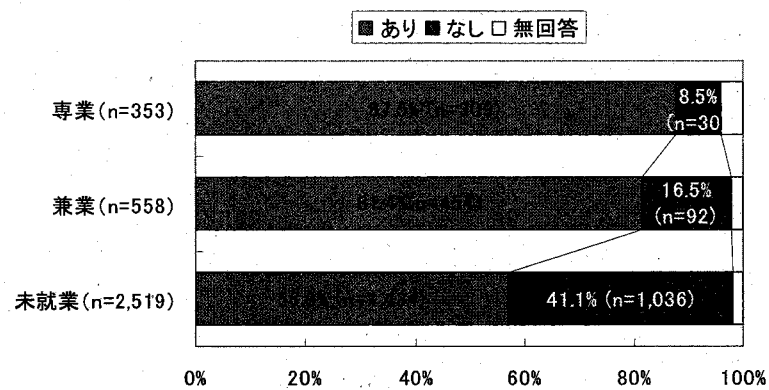
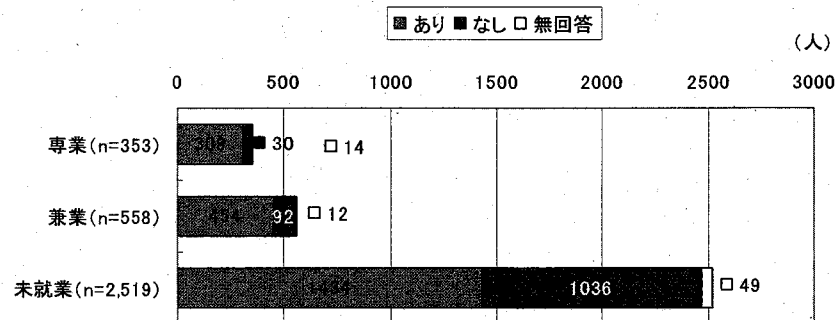
b. 地域別参加経験

また、地域別では、主な業界団体などの研修会が行われる関東（66.1%、n=1,222）と近畿（67.2%、n=497）で高い割合となっている。また、中国地区も66.1%（n=84）と高い割合で研修に参加していることがわかる。



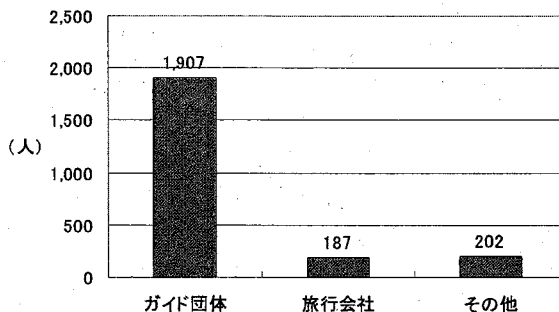
c. 就業状況別参加経験

就業状況別では、専業、兼業ともに参加率が 80%を超え高い割合となっている。



② 研修実施主催者 (n=2,204) (複数回答)

通訳案内士が参加している就業前研修の実施主催者では、ガイド団体が圧倒的に多くなっている。



その他は、通訳ガイド養成学校が最も多く 121 人、次いで自治体又は地域の観光協会が 16 人。

③ 研修情報の入手方法 (n=2,204) (自由回答)

研修情報はガイド団体から入手しているという回答が多い。

主な情報入手方法	人数
ガイド団体	926
合格通知に同封されていた案内	230
インターネット	147
通訳ガイド養成学校	146
友人・知人	52
旅行会社	29
業界紙・情報誌・新聞の広告等	20
試験会場での配布物	15
忘れた	9
自治体	8

④ 参加した感想・要望 (n=2,204) (自由回答)

参加した感想として、大変役に立ったという回答が最も多かった (n=1,349)。また、否定的な意見として、「研修に参加し、就業機会がない、収入が低い、業務が大変ということを知り落胆した」という回答も多く見られた。

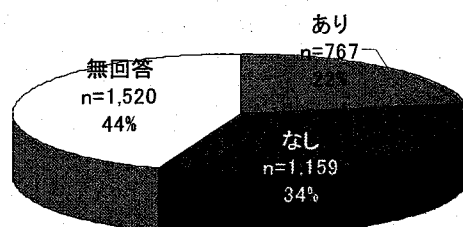
英語を中心に研修が行われることに対し、他の言語の案内士より言語別に研修を実施して欲しいという要望が多数見受けられた。

	主な回答
役に立った、充実した内容だった (n=1,349)	大変役に立った。勉強になる。 業務内容や業界について知る事が出来た ベテランガイドの話を聞け、非常に刺激となった 実践的な内容で非常に参考になった
ガイドの現状、業務内容を知り落胆した (n=107)	就業機会が少ない、報酬が少ないと聞き、ガイドに魅力がなくなった。実際に就業機会にもつながらなかった。 大変な仕事だとわかり不安になった 資格取得の勉強は実務に役立たない、実力不足とわかり、自信をなくした
あまりためにならない (n=107)	概要ばかりで実践に即した内容ではなかった 研修内容、講師のレベルに差がありすぎた 就業するには不十分
研修に対する要望 (n=81)	研修の機会を増やして欲しい 座学だけでなく実地研修をして欲しい 地方在住者が参加しやすいよう研修を実施して欲しい 言語別の研修を実施して欲しい

(2) 就業後の研修について (n=3,446)

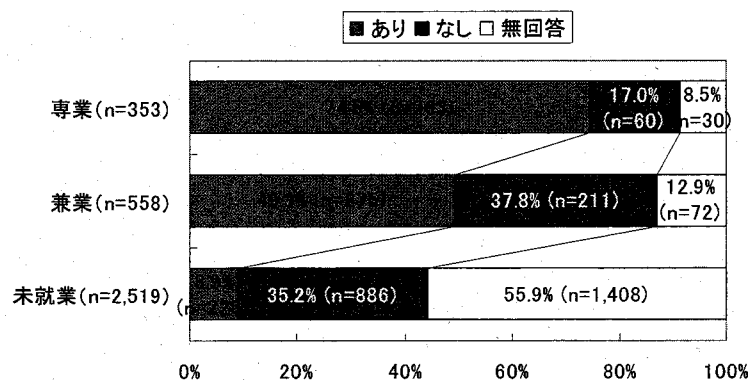
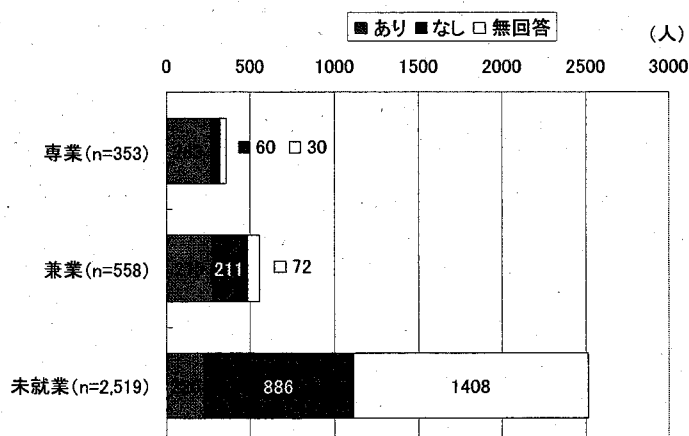
① 参加経験

就業後の研修参加率は就業前に比べ減少し、22% (n=767) である。



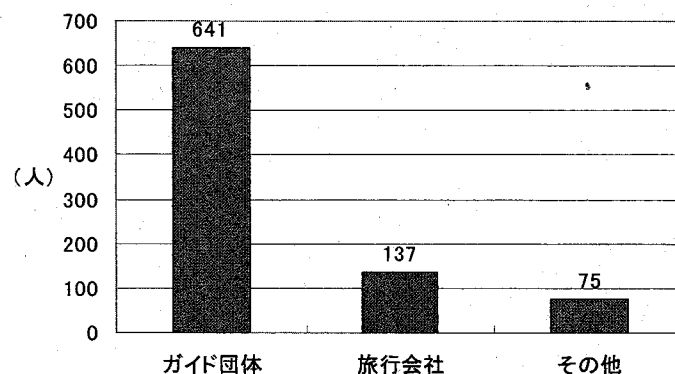
a. 就業状況別参加経験

就業状況別では、専業で 74.5% (n=263)、兼業で約半分の 49.3% (n=275) となっている。



② 研修実施主催者（n=767）（複数回答）

就業前研修同様、主な研修実施主体はガイド団体となっている。



③ 研修情報の入手方法（n=767）（自由回答）

研修情報は所属団体からの案内で知ることが多い。また、インターネットでも情報収集をしていることが伺える。

主な情報入手方法	人数
ガイド団体	469
インターネット	68
旅行会社	36
友人・知人	23
ダイレクトメール	10
特になし	9
業界紙・情報誌など	6
自治体	5
人材派遣会社	3
予備校からの案内	2

④ 参加した感想・要望（n=767）（自由回答）

研修に参加し、「大変役に立った」という感想が多かった。就業後研修では、テーマ別などより細分化された内容のものなどが行われており、集中して学習できたとの感想もあった。

また、研修に対する要望としては、就業前研修と同様に、研修が英語の案内士中心に行われるため、言語別の研修を実施して欲しいという要望も見られた。

	主な回答
ためになった (n=495)	大変役に立った。勉強になる。 ガイドのブラッシュアップに役立つ。 テーマが細分化されており、より専門的なことを学べる。 ガイド業務をする上で必須
ガイド研修に対する要望 (n=24)	英語中心の研修だけでなく、語学別研修もして欲しい 実地研修、OJTをして欲しい もっと研修日程を増やして欲しい
あまりためにならなかった (n=23)	あまり実務に役立つものではなかった(概要中心だった) 実務には経験が一番大事だと感じた 受講者のレベルが異なるので満足できなかった 研修内容にばらつきがある
研修内容に関する意見、感想 (n=11)	テーマが絞ってあるので集中できた 研修の質・参加費用にかなり差がある 実地研修が少なく、受身ばかりで身になっているか疑問
ガイド同士の交流に役立つ (n=9)	ガイド同士のネットワーク作りに有効 ガイド同士の意見交換・情報交換の場になって良い
研修費用について (n=8)	地方在住者が受講するには参加費に加え、交通費・宿泊費がかかり負担が大きい。 研修は参考になるが参加費用が高額 参加費用に補助があると助かる

(3) ガイド研修以外に自主的に受験・受講している試験・講習会等 (n=3,446) (自由回答)

通訳ガイドの研修以外には、語学力研鑽のため、語学試験の受験や語学コースに通学しているという回答が目立った。

また、旅程管理研修を受講したり、資格を取得しているものもいる。

主な研修・試験

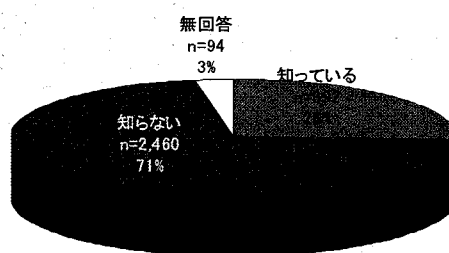
研修・試験	人数
語学力研鑽	275
旅程管理	196
旅行業取扱管理者	73
京都観光文化検定	40
通訳技能検定	30
東京シティガイド検定	23

7. 「通訳ガイド検索システム」について

平成 18 年度に導入された「通訳ガイド検索システム」について、認知度や登録希望の有無について調査している。「通訳ガイド検索システム」は、全国の有資格ガイドの中から、地域、分野、言語、その他条件で旅行者等のニーズにあった通訳案内士を検索し、予約を行うことを可能とするシステムで、平成 18 年 9 月より運用が開始されている。

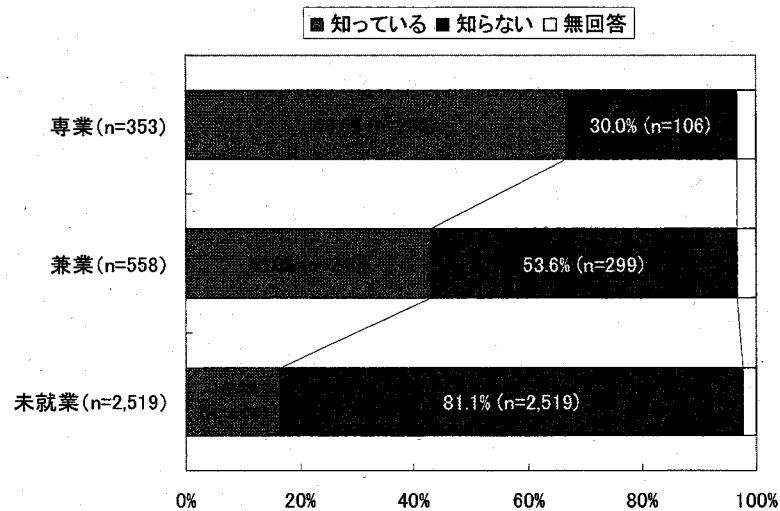
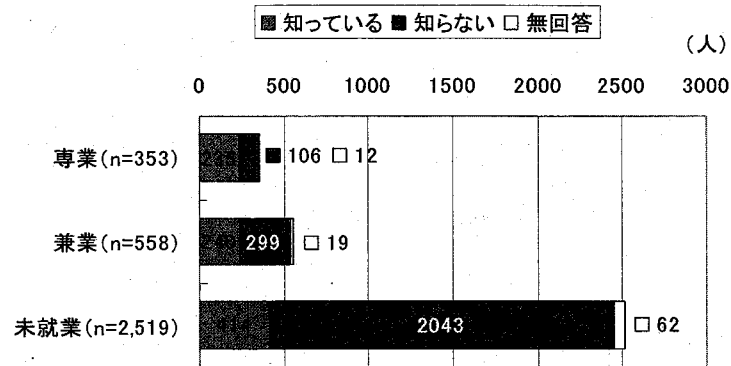
(1) 「ガイド検索システム」の認知度 (n=3,446)

「通訳ガイド検索システム」について知っているとは、26% (n=892)、知らないとは回答した者は 71% (n=2,460) であった。



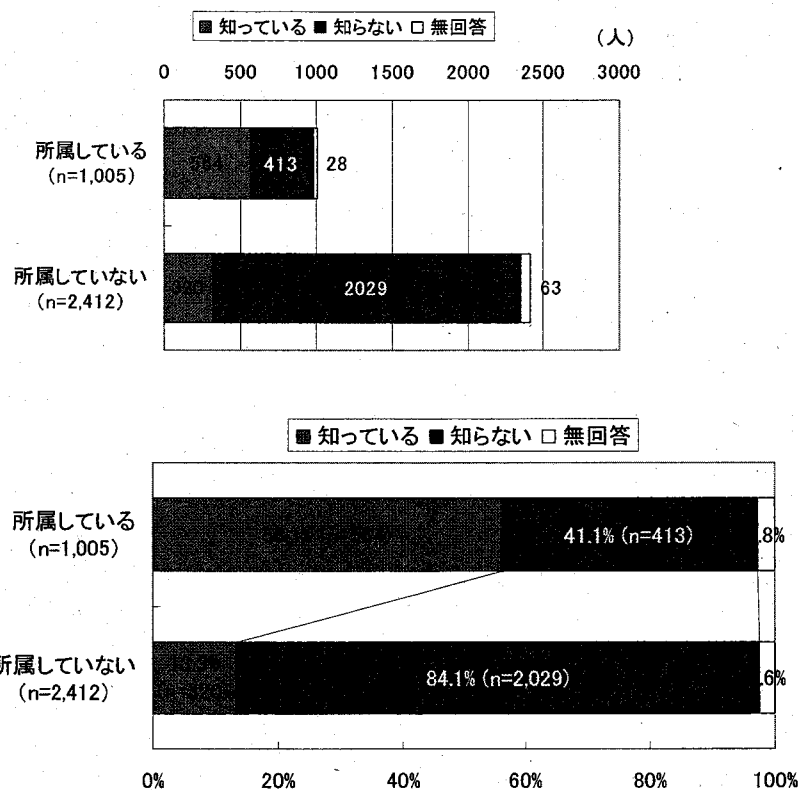
① 就業状況別

就業状況では、専業で66.6%（n=235）が通訳ガイド検索システムについて知っており、兼業で43.0%（n=240）が知っているとは回答している。



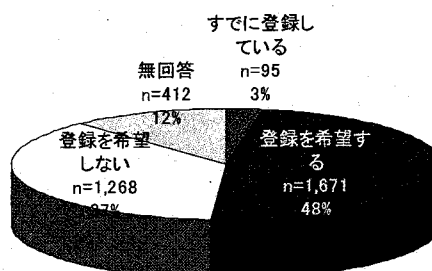
② ガイド団体の登録状況別

ガイド団体に所属している者のうち、56.1% (n=564) が通訳ガイド検索システムについて知っていると回答しており、所属していない者では 13.3% (n=320) が知っていると回答している。



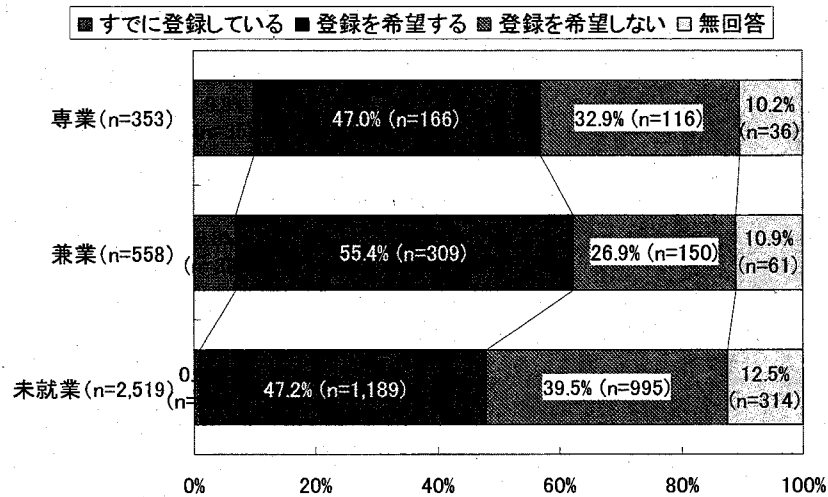
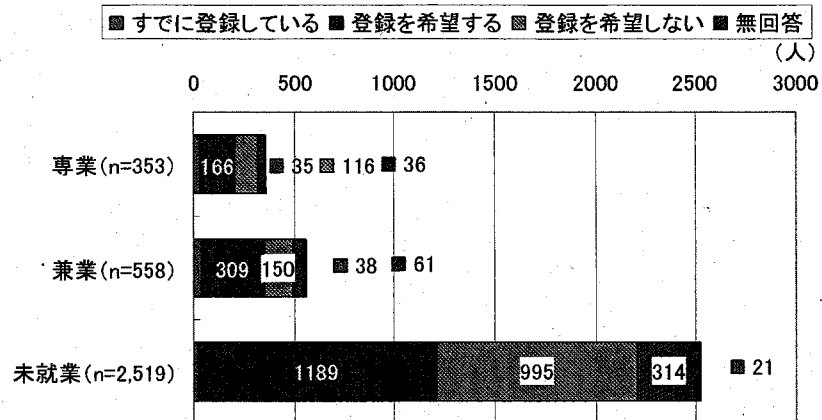
(2) 登録希望の有無 (n=3,466)

通訳ガイド検索システムへの登録については、すでに登録しているのが 3% (n=95)、登録を希望すると回答したのが約半数の 48% (n=1,671)、37% (n=1,268) が登録を希望しないとしている。



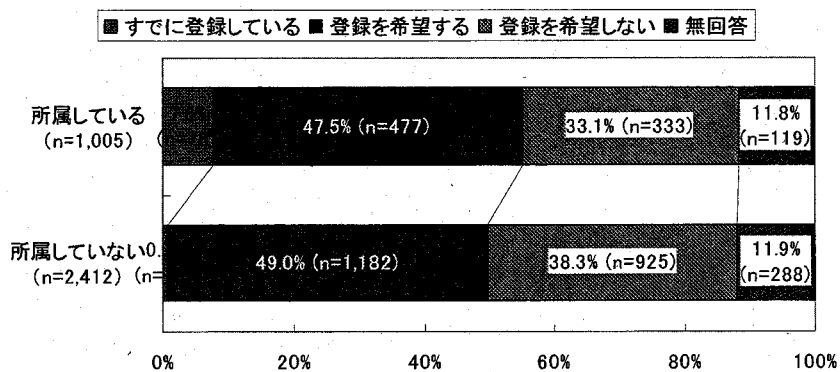
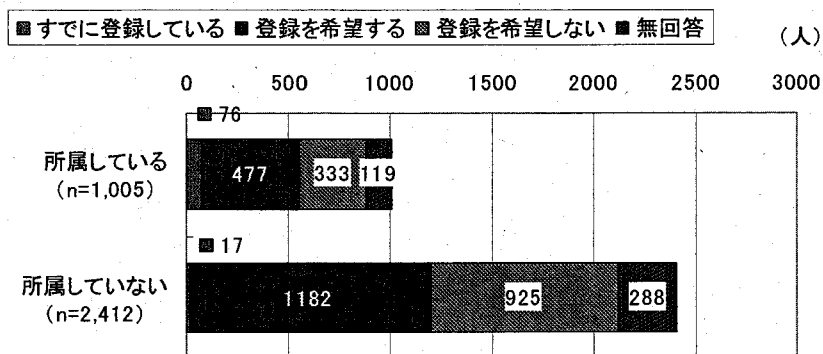
① 就業状況別

専業では 9.9% (n=35) がすでに検索システムに登録しており、兼業で 6.8% (n=38) が登録している。登録を希望している割合は兼業が最も多く 55.4% (n=309) となっている。



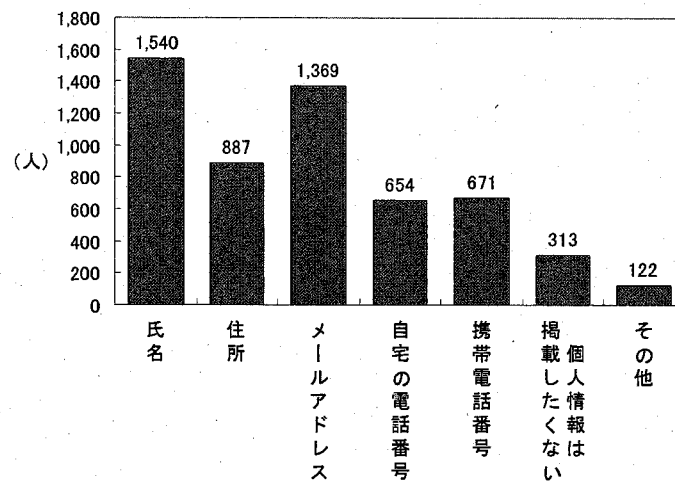
② 業界団体の所属別

業界団体に所属している 7.6% (n=76) がすでにガイド検索システムに登録しており、団体に所属していないものでも 0.7% (n=17) が登録している。また、所属の有無に関わらず約半数がガイド検索システムへの登録を希望している。



(3) 登録希望の場合の掲載可能な情報 (n=1,671) (複数回答)

ガイド検索システムに登録を希望する際に、掲載可能な情報としては、「氏名」、「メールアドレス」が多く、「住所」については市町村名までなら可能、という意見が多かった。また、その他の内容には、自己PRや得意分野を掲載したいとの意見があげられている。



8. 意見・要望（自由回答）

自由回答欄のその他の要望として、最も多くあげられているキーワードは「無資格ガイドの取り締まり強化」であった。内容としては、無資格・無免許ガイドを取り締まって欲しい、対策をとって欲しいという要望や、無資格・無免許ガイドにより就業機会が奪われているという意見が多く見られた。

また、就業機会が少ない、就業機会を増やして欲しい、収入が不安定、生計が成り立たないという意見や、平成 18 年度の通訳案内士試験の改正に伴って合格者が増加していることに対し、通訳案内士の質の低下や、通訳案内士の需給バランスが崩れ、通訳案内士としての報酬の低下を招くのではないかと懸念を持っているとの意見も寄せられた。

一方、そういったなかでも、退職後や育児後などガイド業務を行う時間的余裕ができたから将来的には就業したいとの意欲を示す声や、就業をサポートする仕組みづくり、ガイドとしてのレベルアップを目指す研修制度の充実を要望する声もあった。

	主な意見・要望のキーワード	人数
1	無資格ガイドの取り締まり強化	240
2	就業機会、収入の不安定さ	184
3	合格者数の増加による質の低下、需給のアンバランス	105
4	就業意欲	84
5	就業情報の提供	73
6	就業サポート	73
7	研修制度の整備希望	65
8	ボランティアでの就業希望	55
9	社会的地位の向上	30
10	ボランティアガイドとのすみわけ	29

資料

通訳案内士就業実態調査アンケート票

※該当する番号を○で囲んで下さい。また、必要に応じて回答を記入してください

問1 年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
問2 性別	1. 男性 2. 女性
問3 登録都道府県名	
問4 登録言語を○で囲んでください。(複数回答可) あわせて、登録年または免許取得年を記入してください。	1. 英語 昭和・平成()年 2. フランス語 昭和・平成()年 3. スペイン語 昭和・平成()年 4. ドイツ語 昭和・平成()年 5. 中国語 昭和・平成()年 6. イタリア語 昭和・平成()年 7. ポルトガル語 昭和・平成()年 8. ロシア語 昭和・平成()年 9. 韓国語 昭和・平成()年 10. タイ語 昭和・平成()年
問6 業界団体への所属の有無	1. 所属している 2. 所属していない
所属している団体の番号全てを○で囲んでください。	1. 日本観光通訳協会 2. 全日本通訳案内士連盟 3. GICSS研究会 4. 中国語通訳案内士会 5. 九州通訳ガイド協会 6. 関西通訳・ガイド協会 7. ひろしま通訳・ガイド協会 8. 日本通訳案内士連合 9. その他()
所属していない場合はその理由を記入してください。	
問7 通訳案内業務の就業状況を教えてください。 また、「2. 兼業」「3. 就業していない」と答えた方は本業をご記入ください。	1. 専業 2. 兼業 3. 就業していない 【本業】
問8 問7で「2. 兼業」、「3. 就業していない」と答えた方はその理由をご記入ください。	
問9 問7で「3. 就業していない」と答えた方にお聞きします。 通訳案内業務への就業意志について該当する番号を○で囲んでください。	1. 将来的には就業するつもり 2. 就業するか検討中 3. 就業するつもりはない
問10 問7で「3. 就業していない」と答えた方にお聞きします。 通訳案内業務に就業する際に弊害となることをご記入ください。	(問20に進んでください。)

問 11 問 7 で「1. 専 業」または「2. 兼 業」と答えた方にお聞きします。 どのような方法で仕事を得ていますか？ 該当する番号全てを○で囲んでください。	1. 業界団体に所属 2. 旅行会社に登録 3. 人材派遣会社に登録 4. 自分のホームページで宣伝 5. ホテルに登録 6. その他 ()
問 12 年間の就業日数、就業回数を教えて下さい。 就業日数は増えていると感じますか？	1. 1～30 日 2. 31～50 日 3. 51～100 日 4. 101～150 日 5. 151～200 日 6. 201～250 日 7. 250～300 日 8. 300 日以上 【回数】 年間 約()本 1. 年間就業日数は以前より増えていると感じる 2. 年間就業日数は以前より減っていると感じる 3. 年間就業日数にあまり変化はない 4. その他 ()
問 13 通訳案内業務にかかる年収はどの位ですか？	1. 100 万円未満 2. 100 万円台 3. 200 万円台 4. 300 万円台 5. 400 万円台 6. 500 万円台 6. 600 万円台 7. 700 万円台以上
問 14 案内することが多い地域はどこですか？	1. 居住する都道府県内 2. 全国各地 3. 北海道 4. 東北 5. 関東 6. 北陸 7. 中部 8. 関西 9. 中国 10. 四国 11. 九州 12. 沖縄
問 15 業務の内容はどんなものが多いですか？ 該当する番号を 3 つまで○で囲んでください。	1. 一般観光(団体・日帰り) 2. 一般観光(団体・宿泊) 3. 一般観光(個人・日帰り) 4. 一般観光(個人・宿泊) 5. ホテル・空港・駅等の送迎 6. 報奨旅行 7. 国際会議・大会 8. イベント・展示会 9. テクニカルビジット 10. その他()
問 16 お客様にはどこの国の方が多くいますか？ () 内には国名をご記入ください。	1. アジア () 2. 北米 () 3. 欧州 () 4. 中南米() 5. アフリカ() 6. 中近東() 7. オセアニア () 8. その他()
問 17 お客様の多い季節はいつですか？	1. 春 2. 夏 3. 秋 4. 冬
問 18 案内することが多い観光地、観光施設を教えてください。	
問 19 案内する地域、場所、施設等について、最近の傾向を教えてください。	

問 20 全員にお聞きします。 「通訳ガイド検索システム」 (http://www.guidesearch.jp)をご 存知ですか？ 検索システムへの掲載が可 能となった場合、登録を希望 しますか？また、希望する場 合は掲載可能な情報の番号 を全て○で囲んでください。	<table border="0"> <tr> <td>1. 知っている</td> <td>2. 知らない</td> </tr> <tr> <td>1. すでに登録している</td> <td>2. 登録を希望する</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3. 登録を希望しない</td> </tr> </table> 【掲載可能な情報】 <table border="0"> <tr> <td>1. 氏名</td> <td>2. 住所</td> <td>3. メールアドレス</td> </tr> <tr> <td>4. 自宅の電話番号</td> <td colspan="2">5. 携帯電話番号</td> </tr> <tr> <td colspan="3">6. 個人情報掲載したくない(団体の連絡先等のみ)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">7. その他 ()</td> </tr> </table>	1. 知っている	2. 知らない	1. すでに登録している	2. 登録を希望する	3. 登録を希望しない		1. 氏名	2. 住所	3. メールアドレス	4. 自宅の電話番号	5. 携帯電話番号		6. 個人情報掲載したくない(団体の連絡先等のみ)			7. その他 ()		
1. 知っている	2. 知らない																		
1. すでに登録している	2. 登録を希望する																		
3. 登録を希望しない																			
1. 氏名	2. 住所	3. メールアドレス																	
4. 自宅の電話番号	5. 携帯電話番号																		
6. 個人情報掲載したくない(団体の連絡先等のみ)																			
7. その他 ()																			
問 20 全員にお聞きします。 通訳案内業務に関する研修 への参加経験はありますか？ 参加した回数および日数、研 修の主催者について教えてく ださい。	【就業前研修】 参加経験 1. あり 2. なし 主催者 1. ガイド団体 2. 旅行会社 3. その他() 参加回数 ()回、 日数 ()日 研修情報の入手方法 参加した感想・要望 【就業後の研修】 参加経験 1. あり 2. なし 主催者 1. ガイド団体 2. 旅行会社 3. その他() 参加回数 ()回、 日数 ()日 研修情報の入手方法 参加した感想・要望																		
問 21 通訳案内業務に関する研修以 外に自主的に受験・受講して いる試験・講習会等があれば ご記入ください。	【例：ご当地検定、旅程管理研修など】																		
その他、ご意見・ご要望があればご 記入ください。																			

ご協力ありがとうございました

就業実態調査データ

第2部

(1) 年齢

年齢	人数
10代	0
20代	43
30代	434
40代	938
50代	1,001
60代	614
70代以上	406
無回答	10
計	3,446

(2) 性別

性別	人数
男性	1,439
女性	1,973
無回答	34
計	3,446

(4) 登録言語

言語	人数
英語	2,461
フランス語	151
スペイン語	152
ドイツ語	132
中国語	373
イタリア語	34
ポルトガル語	29
ロシア語	64
韓国語	133
タイ語	2
計	3,531

第3部

1. 通訳案内士の就業実態

(1) 就業状況

専業	兼業	就業していない	無回答	計
353	558	2,519	16	3,446

(1)①世代別就業状況

	専業	兼業	就業していない	無回答	計
20代	4	7	32		43
30代	43	73	315	3	434
40代	93	182	661	2	938
50代	119	194	686	2	1001
60代	74	72	463	5	614
70代以上	19	30	355	2	406

(1)②男女別就業状況

男女別	専業	兼業	就業していない	無回答	計
男性	78	142	1,209	10	1,439
女性	274	412	1,282	5	1,973

(1)④登録言語別就業状況

	専業	兼業	就業していない	無回答	計
英語	238	343	1,869	11	2,461
フランス語	20	26	105		151
スペイン語	23	42	87		152
ドイツ語	19	25	87	1	132
中国語	40	71	262		373
イタリア語	6	11	17		34
ポルトガル語	1	6	22		29
ロシア語	10	19	35		64
韓国語	10	34	87	2	133
タイ語	0	1	1		2

2. 通訳案内士の稼働実態

(1) 年間稼働日数

年間就業日数	
1～30日	494
31～50日	107
51～100日	121
101～150日	82
151～200日	47
201～250日	14
250～300日	3
300日以上	0
その他	2
無回答	36

第3部

(1)① 世代別年間稼働日数

年齢別	1～30日	31～50日	51～100日	101～150日	151～200日	201～250日	251～300日	無回答	計
20代	6	2	2	1					11
30代	67	13	10	14	6	2		4	116
40代	145	33	47	27	12	3		8	275
50代	171	41	29	24	21	7	1	19	313
60代	75	14	25	13	8	1	1	9	146
70代以上	29	4	8	3		1	1	3	49
無回答	1								1

(1)② 男女別年間稼働日数

年齢別	1～30日	31～50日	51～100日	101～150日	151～200日	201～250日	251～300日	無回答	計
男性	129	19	23	13	21	3	1	16	225
女性	363	88	97	69	26	11	2	30	686

(1)③ 地域別年間稼働日数

	1～30日	31～50日	51～100日	101～150日	151～200日	201～250日	251～300日	無回答	計
東北	13								13
関東	220	58	74	49	32	6	2		441
北陸信越	13	1							14
中部	33	7	7	1					48
近畿	138	30	27	26	13	5	1		240
中国	22	4	4						30
四国	8		1						9
九州	34	6	3	1	1				45
沖縄	3	1							4

(1)④ 言語別年間稼働日数

	1～30日	31～50日	51～100日	101～150日	151～200日	201～250日	251～300日	無回答	計
英語	321	65	73	51	27	11	2		550
フランス語	15	5	8	10	3	1	1		43
スペイン語	34	8	6	10	4	2			64
ドイツ語	23	5	11	4					43
中国語	64	16	15	5	9	1			110
イタリア語	7	2	4	2	2				17
ポルトガル語	2		2		1				5
ロシア語	15	7	5		1	1			29
韓国語	30	3	3	3	2				41
タイ語	1								1

(1)⑤ 専業／兼業別年間稼働日数

	1～30日	31～50日	51～100日	101～150日	151～200日	201～250日	251～300日	無回答	計
専業	100	46	78	70	33	12	2		341
兼業	388	61	42	11	14	2	1		519

(2)年間ツアー本数

本数	人数	本数	人数
0本	10	110本	2
1～10本	305	120本	1
11～20本	88	140本	1
21～30本	45	150本	1
31～40本	25	151～160本	2
41～50本	19	200本	1
51～60本	9	220本	1
61～70本	4		
71～80本	3		
100本	10		

第3部

(3) 就業日数の増減

	人数
以前より増えている	225
以前より減っている	137
あまり変化はない	289
その他	145
無回答	115

(3)① 地域別就業日数の増減

地域	以前より増えている	以前より減っている	あまり変化は無い	その他	無回答	計
東北			9	3	2	14
関東	101	76	141	81	65	464
北陸信越	1	2	6	3	4	16
中部	15	9	12	6	6	48
近畿	73	36	76	39	23	247
中国	12	4	9	2	8	35
四国		1	6	2	1	10
九州	15	8	16	5	5	49
沖縄	2				2	4

(3)② 言語別就業日数の増減

言語	以前より増えている	以前より減っている	あまり変化は無い	その他	無回答	計
英語	118	88	183	103	89	581
フランス語	21	5	5	9	6	46
スペイン語	20	9	22	9	5	65
ドイツ語	9	9	18	3	5	44
中国語	30	17	42	13	9	111
イタリア語	10	2	5			17
ポルトガル語	2	2	1		2	7
ロシア語	20	1	6	1	1	29
韓国語	1	12	22	6	3	44
タイ語				1		1

第3部

(4) 年収

年収	人数
100万円未満	567
100万円台	99
200万円台	75
300万円台	60
400万円台	23
500万円台	9
600万円台	10
700万円台以上	1
無回答	67
計	911

(4)①世代別年収

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
100万円未満	8	78	178	193	81	28
100万円台	1	10	30	34	16	8
200万円台	2	10	22	23	15	3
300万円台		6	22	18	11	3
400万円台		2	9	8	4	
500万円台		2		6	1	
600万円台			2	6		2
700万円台以上					1	
無回答		8	12	25	17	5
計	11	116	275	313	146	49

(4)②男女別年収

	男性	女性
100万円未満	138	425
100万円台	19	80
200万円台	18	57
300万円台	9	50
400万円台	10	13
500万円台	3	6
600万円台	4	6
700万円台以上		1
無回答	19	48
計	220	686

(4)③地域別年収

	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
100万円未満	12	262	16	37	150	26	9	39	4
100万円台		61		3	28	3		3	
200万円台		47		4	21	1			
300万円台		37			17			1	
400万円台		14		1	5			1	
500万円台		4			5				
600万円台		7			1				
700万円台以上					1				
無回答	2	32		3	19	5	1	5	
計	14	464	16	48	247	35	10	49	4

第3部

(4)④言語別年収

	英語	フランス語	スペイン語	ドイツ語	中国語	イタリア語	ポルトガル語	ロシア語	韓国語	タイ語
100万円未満	369	17	40	22	77	7	3	19	30	1
100万円台	55	8	7	8	12	6		5	2	
200万円台	48	5	4	6	10	2	1	1	3	
300万円台	29	7	10	5	5	1	2	1	1	
400万円台	17	2			2	1			1	
500万円台	7	2			2					
600万円台	7	2						1	1	
700万円台以上	1									
無回答	48	3	4	3	3		1	2	5	
計	581	46	65	44	111	17	7	29	43	1

(4)⑤就業状況別年収

	専業	兼業
100万円未満	137	428
100万円台	52	47
200万円台	58	17
300万円台	50	9
400万円台	15	8
500万円台	9	
600万円台	7	3
700万円台以上	1	
無回答	24	46
計	353	558

(5)事の取得方法(複数回答)

取得方法	人数
業界団体	513
旅行会社	495
人材派遣会社	250
自分のホームページ	27
ホテル	45
その他	209

3. 通訳案内士の業務内容実態

(1)主な業務内容(複数回答)

主な業務内容	人数
一般観光(団体・日帰り)	392
一般観光(団体・宿泊)	335
一般観光(個人・日帰り)	378
一般観光(個人・宿泊)	171
ホテル・空港・駅等の送迎	128
報奨旅行	169
国際会議・大会	156
イベント・展示会	132
テクニカルビジット	116
その他	64

第3部

(1)①地域別業務内容

主な業務内容	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
一般観光(団体・日帰り)	1	174	3	22	127	17	2	31	3
一般観光(団体・宿泊)	3	176	5	14	96	4	2	19	3
一般観光(個人・日帰り)	5	193	6	9	127	18		9	2
一般観光(個人・宿泊)	3	89	3	9	48	1	6	7	
ホテル・空港・駅等の送迎		76	2	5	34	4		5	
報奨旅行		96	1	7	50	1		6	1
国際会議・大会	1	72	2	13	49	1	2	12	
イベント・展示会	1	82	1	18	21	3	1	3	
テクニカルビジット	3	62	3	8	31	1	1	3	1
その他	4	34	2	4	8	2	1	7	

(1)②登録言語別業務内容

主な業務内容	英語	フランス語	スペイン語	ドイツ語	中国語	イタリア語	ポルトガル語	ロシア語	韓国語	タイ語
一般観光(団体・日帰り)	271	22	32	16	35	2	3	14	12	0
一般観光(団体・宿泊)	185	33	19	26	51	11	4	10	13	0
一般観光(個人・日帰り)	267	25	42	21	13	9	2	19	6	0
一般観光(個人・宿泊)	106	18	18	11	11	9	1	8	4	0
ホテル・空港・駅等の送迎	83	4	19	7	13	1	1	6	2	0
報奨旅行	93	8	8	8	40	6	2	4	4	0
国際会議・大会	99	2	3	5	30	1	1	3	14	0
イベント・展示会	69	4	12	8	31	3	1	0	15	0
テクニカルビジット	64	6	6	10	17	4	1	1	12	0
その他	31	2	3	2	18	1	1	1	6	1

(1)③専業／兼業別業務内容

主な業務内容	専業	兼業
一般観光(団体・日帰り)	182	207
一般観光(団体・宿泊)	201	133
一般観光(個人・日帰り)	161	215
一般観光(個人・宿泊)	78	93
ホテル・空港・駅等の送迎	57	69
報奨旅行	100	69
国際会議・大会	55	100
イベント・展示会	31	100
テクニカルビジット	40	75
その他	14	50

(2)活動地域

活動地域	人数
居住都府県内	274
全国各地	87
北海道	13
東北	10
関東	339
北陸	25
中部	68
関西	351
中国	58
四国	17
九州	62
沖縄	25

第3部

(2)①世代別活動地域

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
居住都府県内	2	37	75	90	46	23
全国各地	2	8	26	32	13	5
北海道			2	5	3	3
東北	1		3	5		1
関東	4	45	110	109	54	16
北陸			6	9	7	2
中部		4	22	24	14	3
関西	4	43	108	136	50	9
中国		5	14	22	15	1
四国		2	2	6	6	1
九州		6	19	13	13	4
沖縄		2	2	10	7	2
計	13	152	389	461	228	70

(2)②登録地域別活動地域

活動地域	登録地域								
	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
居住都府県内	6	155	9	19	40	19	5	13	2
全国各地	0	59	2	1	17	0	1	1	1
北海道	0	9	0	0	3	0	0	1	0
東北	4	5	0	0	0	0	0	0	0
関東	2	280	2	12	28	0	1	3	0
北陸	0	13	1	1	10	0	0	0	0
中部	0	25	2	28	12	0	0	0	0
関西	0	107	1	17	206	1	1	3	0
中国	0	19	0	0	24	12	2	0	0
四国	0	6	0	0	6	0	4	0	0
九州	0	17	0	0	7	0	0	37	1
沖縄	0	8	0	0	8	0	0	8	1

(2)③登録言語別活動地域

	英語	フランス語	スペイン語	ドイツ語	中国語	イタリア語	ポルトガル語	ロシア語	韓国語	タイ語
居住都府県内	184	9	21	9	33	5	2	8	12	0
全国各地	46	4	4	7	18	2	2	0	7	0
北海道	11	0	0	1	2	0	0	0	1	0
東北	6	0	0	2	1	0	0	0	2	0
関東	197	31	28	18	44	10	3	17	8	0
北陸	15	1	2	1	3	3	0	0	1	0
中部	38	4	9	6	8	4	0	2	2	0
関西	203	30	28	23	46	9	4	12	14	1
中国	32	11	3	6	4	4	0	0	1	0
四国	6	3	1	2	4	0	0	0	1	0
九州	39	1	1	5	10	0	0	1	7	0
沖縄	18	1	0	4	3	0	0	1	0	0

(2)④専業／兼業別活動地域

	専業	兼業
居住都府県内	79	193
全国各地	61	26
北海道	9	4
東北	4	6
関東	159	177
北陸	14	11
中部	27	39
関西	154	196
中国	35	22
四国	12	5
九州	23	38
沖縄	13	12

第3部

(3)案内することの多いお客様の国・地域

	人数
アジア	352
北米	444
欧州	437
中南米	95
アフリカ	18
中近東	34
オセアニア	155
その他	15

(3)①通訳案内士の活動地域別案内するお客様の多い地域

活動地域	お客様の多い地域							
	アジア	北米	欧州	中南米	アフリカ	中近東	オセアニア	その他
全国各地	39	42	47	9	2	5	14	2
北海道	8	11	8	1	1	2	6	0
東北	6	5	4	1	0	0	3	0
関東	129	162	184	43	6	13	62	5
北陸	8	12	16	3	2	2	6	0
中部	18	29	43	11	2	4	13	1
関西	128	165	209	39	9	11	71	7
中国	13	31	41	5	4	4	17	1
四国	7	5	10	2	0	0	2	1
九州	32	33	27	4	1	3	13	0
沖縄	10	17	20	3	1	2	12	1

(3)②案内するお客様の多い地域別通訳案内士の登録言語

	お客様の多い地域							
	アジア	北米	欧州	中南米	アフリカ	中近東	オセアニア	その他
英語	201	440	286	44	15	32	152	7
フランス語	0	4	44	0	3	0	2	
スペイン語	0	4	49	58	0	1	0	
ドイツ語	0	3	40	1	0	0	1	
中国語	108	1	1	0	0	0	0	2
イタリア語	0	1	16	1	0	0	1	
ポルトガル語	0	0	6	6	0	0	0	
ロシア語	1	0	24	0	0	1	0	6
韓国語	40	0	0	0	0	0	0	
タイ語	1	0	0	0	0	0	0	

(4)お客様の多い時期

時期	人数
春	537
夏	132
秋	613
冬	34

(4)①通訳案内士の活動地域別お客様の多い時期

人数	春	夏	秋	冬
全国各地	63	15	72	4
北海道	11	3	12	4
東北	6	4	6	2
関東	222	54	264	18
北陸信越	21	9	21	4
中部	47	22	56	7
関西	231	57	264	14
中国	44	13	49	3
四国	12	3	15	1
九州	44	10	52	7
沖縄	22	5	25	3

第3部

(4)②登録言語別お客様の多い時期

	春	夏	秋	冬
英語	386	59	405	12
フランス語	40	3	41	1
スペイン語	31	29	35	1
ドイツ語	29	8	31	1
中国語	43	22	74	11
イタリア語	8	10	8	1
ポルトガル語	3	2	4	0
ロシア語	16	3	23	2
韓国語	8	7	17	6
タイ語	1	0	0	0

第3部

4. 兼業者・未就業者の実態

(3) 兼業・未就業の理由(主な回答)

理由	回答	人数
本業／他業務に従事	本業で多忙	391
	本業があるため	218
	本業に専念	163
	副業禁止規定があるため	115
	時間的余裕がない	114
	本業との両立が困難	20
	公務員であるため	10
	学業優先のため	8
	ボランティアとして活動しているため	8
	本業の所得が大きいから	5
	別に収入がある	5
	本業の方が向いている	4
	本業をやめられない	4
	本業と並行しながら就業してきたため	4
	本業で満足	3
	本業で生計が成り立っている	3
	本業が安定しているため	3
	本業のほうが魅力的	3
	ボランティアで多忙	2
	観光ガイドは本業の仕事がないときにしている	2
	翻訳を主としてやりたい	1
	病院での通訳との兼業だから	1
	同時通訳者をめざし訓練中	1
	複数の仕事の両立を希望	1
	定期的な仕事を優先しているため	1
	別の仕事依頼があるため	1
	通訳の方が就業機会が多いし、報酬も高いから	1
	本業が自営で両立できるため	1
	職場の大学や学会関係で就業	1
	オフシーズンは他の仕事をしている(通訳案内士が本業)	1
	所属団体の語学支援ボランティア活動を行うことで満足しているから	1
	経済的余裕がある	1
	その時ある仕事をするから	1
	就業が困難なため	1
	本業の都合	1
	他の仕事に興味があったため	1
	本業を続けたい	1
	本職とするのが不安	1
小計		1,103

第3部

理由	回答	人数
需要が少ない	就業機会がない	197
	就業機会が少ない	125
	就業機会が不安定	46
	地方在住のため就業機会が少ない	36
	仕事の依頼が来ない	33
	居住地周辺での就業機会が少ない	21
	十分な仕事量がない	20
	無免許ガイドの横行により就業機会が奪われている	6
	就業機会が得難い	3
	ガイドの供給過多で就業機会がない	3
	就業機会に不安	2
	ドイツ語の通訳ガイドの需要が少ない	2
	就業機会がなく、季節変動もある	2
	就業環境が不安定	2
	就業機会が少なく、本業との両立も難しい	2
	新人ガイドの就業機会がないため	2
	専業できる量のガイドの仕事がない	2
	就業・研修の機会がない	1
	英語のみでは仕事が無い	1
	兼業で出来る就業機会がない	1
	就業機会がないため会社を辞められない	1
	就業機会がなく、あっても不規則で重労働	1
	英語ガイドは供給過多と聞いていたため	1
	仕事とのつながりがなく短期もできない	1
	就業機会が得られなかった	1
	行政が有資格者ガイドよりも無免許の育成を助成しているため不利	1
	ベテランガイドにオファーが集中している	1
	仕事が減ったため	1
	仕事が継続的に見込めない	1
	韓国語通訳案内士は、特に男性の場合就業の機会がほとんどない。	1
	専業として採用されないため	1
	通訳ガイドの激増、ボランティアガイドの増加により就業機会の確保が困難	1
	通訳案内士取得当時は、就業先を探したが見つからず、いつの間にか気持ちがい	1
	定年後に就業しようと考えたが、就業機会が少ないのであきらめた	1
	募集がない	1
小計		522

理由	回答	人数
生業としての不安定さ	生計が成り立たないため	221
	収入が不安定	73
	収入が少ない	38
	収入に不安がある	23
	職業の不安定さ	21
	収入、就業機会への不安	6
	社会的地位が低い	4
	収入と就業時期が不安定	4
	仕事の割りに賃金が安い	3
	待遇が悪い	3
	生活の安定のため	2
	経済的な保証がない	2
	時間、体力、収入に対する不安	2
	季節変動があるため	2
	生活できるほどの仕事がない	2
	無免許ガイドの横行による報酬の低下による低収入	1
	収入、就業時間が不規則	1
	フリーのガイドで年収500万円以上は無理だと思うから。	1
	兼業しないと生計が立てられない	1
	経済的に安定した仕事が必要	1
	現在の方が収入が安定している	1
	ひとつに絞れる状況ではない	1
	専業では難しい仕事(経済的に)という感じがするため	1
	他にも国家資格を持っていて、自営するならそちらの方が収入もステータスも高	1
小計		415

第3部

理由	回答	人数
育児、介護等家庭の事情	育児のため	92
	家庭の事情	53
	介護のため	39
	育児との両立が困難	13
	家事で忙しい	10
	家庭生活との両立が困難	6
	育児、介護のため	5
	妊娠中のため	3
	家事に専念	2
	扶養内のパートで働いているため	1
	家庭生活優先のため	1
	転居のため就業できない	1
	夫の転勤などで落ち着かない生活を送っていたため	1
	小計	227

理由	回答	人数
年齢、健康状態	高齢のため	58
	体力的に就業不可能	22
	リタイアしたため	16
	健康上の問題	14
	体調不良	12
	年齢	10
	病気療養中のため	9
	身体的障害	5
	年齢・体力的にきついため	5
	身体的に就業困難	1
	小計	152

理由	回答	人数
技能・適性に不安がある	スキル不足	29
	就業の自信がない	17
	就業準備中	10
	適性がない	8
	経験不足	7
	語学力不足	6
	登録から間もないため	4
	研修機会がない	4
	研修参加経験がなく就業に不安	2
	研修を受ける時間的・経済的余裕がないため	2
	業務に関する知識不足	2
	就業する準備が出来ていない	2
	名所旧跡の観光案内のための通訳はしたくないので	1
	研修や自己PRなど克服すべき課題があって躊躇している	1
	案内業務が苦手	1
	就業未経験のため、少し敷居が高い	1
	専業とする自信がない	1
	就業したがうまくいかなかった	1
	営業が厄介	1
	難しそうだから	1
	小計	101

第3部

理由	回答	人数
就業する意思がない	就業意思がない	61
	就業する必要がない	9
	積極的に活動していない	4
	年金生活者のため	3
	自分の語学力を知るために免許を取得したので	3
	無理をしない方針	1
	就業しないうちに意欲が衰えたため	1
	就業するのに労力がかかるため	1
	リタイアし、就業意思がないため	1
	興味がない	1
	トラブルに巻き込まれたくない	1
	就業活動をするのがおっくう	1
	外国人観光客に是非見てほしいと思う場所がないように感じられたため	1
	退職後で収入を必要としていないから	1
	小計	89

理由	回答	人数
就業手段がない／わからない	就業方法がわからない	61
	就業のきっかけがない	6
	就業機会を逃した	2
	業界団体に所属すべきか迷っているため	1
	県の働きかけがない	1
	顧客とのチャンネルがないため	1
	仕事確保のルートを作れない	1
	資格を取得してもどうしたらよいのかわからない	1
	協会に属すると会費もかかるし、リスクがあると思う	1
	就業への準備がなかなか進まないため	1
	就業機会の確保、業界全体の様子がわからない	1
	業界団体所属の勧誘など無かった	1
	団体未所属なので就業機会がない	1
	研修を受けられなかったため就業機会が得られなかった	1
	エージェントを知らない	1
	小計	81

理由	回答	人数
就業条件が合わない	就業時間が合わない	10
	不規則な就業時間	6
	就業条件が合わない	6
	仕事ハードなため	4
	土日を使っでの就業機会がない	3
	旅行会社に束縛される気がする	1
	高レベルの仕事の割に収入が少ない	1
	急な仕事依頼が多い	1
	パートタイムの仕事があれば就業してみたいが、その機会がないため	1
	就業できる環境にない	1
	観光案内業務の実態が望んでいたものと異なっていたため	1
	就業時期が不安定	1
	外出や宿泊が困難	1
	長期出張が困難なため	1
	天災などによる直前キャンセルされた経験あり	1
	都合の良い時間だけ働きたいが、ガイドでは無理なため	1
	一度でもオファーを断れば次の仕事はなかなかこないと聞いている	1
	研修で新人は参入しないで欲しいといわれ就業を躊躇したため	1
	新人ガイド育成の場が少なく、業界体質も新人に参入しづらい	1
	日当が安い	1
	タイミングが合わない	1
	旅行会社に下請けであるかのように利用されているから	1
	小計	46

第3部

理由	回答	人数
海外在住のため	海外在住のため	24
	小計	24

理由	回答	人数
その他	就業していないため	11
	資格取得準備中	2
	本格的に活動するメドが立っていない	1
	個人的に依頼があるとき以外は就業しない	1
	個人的理由のため	1
	質の悪い顧客の存在	1
	趣味として就業している	1
	就業期間が短い	1
	専業とする決心がつかない	1
	専業にする必要がない	1
	特定の顧客がいるため	1
	兼業する場合に申請が必要	1
	認知度が低い	1
	小計	24

理由	回答	人数
将来就業したい	定年退職後に就業予定	12
	就業を検討中	3
	まもなく就業予定	1
	今後徐々に就業していきたいと考えている	1
	もう少し現職を続けてからの就業を考えている	1
	将来の就業を希望	1
	専業にするか、このまま兼業でいくか考えているところ	1
	小計	20

理由	回答	人数
以前は就業していた	休業中	2
	就業機会を逃し、以前からの仕事を続けているため	1
	以前は就業していたが、一度やめてしまってから戻るきっかけを失くしたままにし	1
	以前は就業していたが、転居を機に就業していない	1
	機会を逃した	1
	以前はガイド業が主だったが、旅行会社の縮小で失業したため	1
	就業機会を逸しているため	1
	小計	8

理由	回答	人数
就業に関する情報不足	情報不足	1
	業界団体に関する情報がない	2
	就業に関する情報不足	2
	業務の現状がわからない	1
	小計	6

第3部

(4) 未就業者の就業意思

就業意思	人数
将来的には就業するつもり	1,030
就業するか検討中	867
就業するつもりはない	564
無回答	58
計	2,519

(4)① 世代別未就業者の就業意思

	将来的に就業するつもり	就業するか検討中	就業するつもりはない	無回答
20代	15	13	3	1
30代	153	123	34	5
40代	320	242	90	9
50代	324	251	94	17
60代	152	147	152	12
70代以上	62	89	190	14

(4)② 男女別未就業者の就業意思

	将来的に就業するつもり	就業するか検討中	就業するつもりはない	無回答
男性	465	404	315	25
女性	551	454	246	31

(4)③ 地域別未就業者の就業意思

	将来的に就業するつもり	就業するか検討中	就業するつもりはない	無回答
東北	23	19	9	
関東	569	473	298	35
北陸信越	19	18	16	1
中部	71	87	44	2
近畿	211	158	112	10
中国	32	38	20	2
四国	17	15	12	1
九州	35	25	28	3
沖縄	1	1		

(4)④ 登録言語別未就業者の就業意思

	将来的に就業するつもり	就業するか検討中	就業するつもりはない	無回答
英語	758	627	436	48
フランス語	46	37	20	2
スペイン語	35	27	23	2
ドイツ語	32	34	20	1
中国語	124	97	39	2
イタリア語	11	3	3	0
ポルトガル語	8	9	5	0
ロシア語	12	11	11	1
韓国語	30	37	17	3

第3部

5.業界団体への所属状況

(1)所属の有無

	人数
所属している	1,005
所属していない	2,412
無回答	29

(1)①世代別業界団体への所属有無

	所属している	所属していない	無回答
20代	9	33	1
30代	124	305	5
40代	288	646	4
50代	320	673	8
60代	171	440	3
70代以上	92	309	5

(1)②男女別業界団体への所属有無

	所属している	所属していない	無回答
男性	313	1117	9
女性	682	1273	18

(1)③地域別業界団体への所属有無

	所属している	所属していない	無回答
東北	14	50	1
関東	492	1343	14
北陸信越	14	56	1
中部	51	200	3
近畿	250	485	5
中国	59	68	0
四国	15	39	1
九州	71	66	3
沖縄	4	2	

(1)④登録言語別業界団体への所属有無

	所属している	所属していない	無回答
英語	728	1717	16
フランス語	49	100	2
スペイン語	44	106	2
ドイツ語	37	95	
中国語	109	262	2
イタリア語	16	18	
ポルトガル語	4	25	
ロシア語	26	38	
韓国語	31	99	3
タイ語	1	1	

(1)⑤就業状況別業界団体への所属有無

	所属している	所属していない	無回答
専業	304	48	1
兼業	326	225	7
未就業	373	2129	17

(2)所属している団体

業界団体	人数
日本観光通訳協会	406
全日本通訳案内士連盟	338
GICSS研究会	172
中国語通訳案内士会	23
九州通訳ガイド協会	67
関西通訳・ガイド協会	52
ひろしま通訳・ガイド協会	52
日本通訳案内士連合	3
その他	30

第3部

6.研修・自己啓発

(1)①就業前研修(新合格者研修)参加経験

参加経験	人数
あり	2,204
なし	1,166
無回答	76

(1)①a.登録言語別修行前研修(新合格者研修)参加経験

	あり	なし	無回答
英語	1629	778	54
フランス語	101	49	1
スペイン語	105	43	4
ドイツ語	92	35	5
中国語	207	163	3
イタリア語	24	10	
ポルトガル語	15	14	
ロシア語	41	20	3
韓国語	62	68	3
タイ語	1	1	

(1)①b.地域別就業前研修(新合格者研修)参加経験

	あり	なし	無回答
東北	33	31	1
関東	1222	589	38
北陸信越	36	33	2
中部	139	111	4
近畿	497	228	15
中国	84	37	6
四国	30	24	1
九州	88	47	5
沖縄	5	1	

(1)①c.就業状況別就業前研修(新合格者研修)参加経験

	あり	なし	無回答
専業	309	30	14
兼業	454	92	12
未就業	1434	1036	49

(1)②就業前研修(新合格者研修)研修実施主催者

実施主催者	人数
ガイド団体	1,907
旅行会社	187
その他	202

第3部

(2)就業後研修参加経験

参加経験	人数
あり	767
なし	1,159
無回答	1,520

(2)①a.就業状況別就業後研修参加経験

	あり	なし	無回答
専業	263	60	30
兼業	275	211	72
未就業	225	886	1408

(2)就業後研修の研修実施主催者

実施主催者	人数
ガイド団体	641
旅行会社	137
その他	75

9.「通訳ガイド検索システム」について

7.「通訳ガイド検索システム」について

(1)「ガイド検索システム」の認知度

	人数
知っている	892
知らない	2460
無回答	94

(1)①就業状況別「ガイド検索システム」の認知度

	専業	兼業	未就業
知っている	235	240	414
知らない	106	299	2043
無回答	12	19	62

(1)②ガイド団体の所属状況別「ガイド検索システム」の認知度

	所属している	所属していない
知っている	564	320
知らない	413	2029
無回答	28	63

(2)登録希望の有無

	人数
すでに登録している	95
登録を希望する	1671
登録を希望しない	1268
無回答	412

(2)①就業状況別登録希望の有無

	専業	兼業	未就業
すでに登録している	35	38	21
登録を希望する	166	309	1189
登録を希望しない	116	150	995
無回答	36	61	314

(2)②業界団体の所属状況別登録希望の有無

	所属している	所属していない
すでに登録している	76	17
登録を希望する	477	1182
登録を希望しない	333	925
無回答	119	288

(3)登録希望の場合の掲載可能な情報

掲載可能な情報	人数
氏名	1,540
住所	887
メールアドレス	1,369
自宅の電話番号	654
携帯電話番号	671
個人情報 掲載したくない	313
その他	122

都道府県別就業実態データ

有効回答者の属性(世代)

	都道府県	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
東北	青森県		3	5	3	2	1		14
	岩手県	1	1	3		1	1		7
	宮城県		1	8	2	2	4		17
	福島県		1	3	3	3	1		11
	秋田県	1		1	1		3		6
	山形県		1	1	4	2	2		10
	計	2	7	21	13	10	12	0	65
関東	茨城県		3	13	8	8	5		37
	栃木県		2	2	6	2	2		14
	埼玉県	6	26	46	65	39	27	1	210
	千葉県	3	30	47	74	53	25		232
	東京都	15	103	240	219	147	115	2	841
	神奈川県	1	53	125	153	99	70	1	502
	山梨県		1	1	7	2	2		13
	計	25	218	474	532	350	246	4	1,849
北陸 信越	新潟県		3	2	5	4	1		15
	長野県	1		6	7	2			16
	富山県		5	8	6		3		22
	石川県		2	5	5	3	2	1	18
	計	1	10	21	23	9	6	1	71
中部	福井県	1	2	3	3				9
	岐阜県		3	12	8	4	2		29
	静岡県		7	16	19	9	3		54
	愛知県	1	19	40	36	29	7		132
	三重県		3	9	10	5	3		30
	計	2	34	80	76	47	15	0	254
近畿	滋賀県		5	8	7	9	2		31
	京都府	4	17	36	46	18	8	1	130
	大阪府	2	44	97	98	47	28		316
	兵庫県	1	24	50	67	32	20		194
	奈良県	1	9	15	18	9	7		59
	和歌山県		1	3	4	2			10
	計	8	100	209	240	117	65	1	740
中国	鳥取県		1			2		1	4
	島根県			2	1	4			7
	岡山県		1	9	9	4	3		26
	広島県		11	27	18	13	7	1	77
	山口県		3	3	4	2	1		13
	計	0	16	41	32	25	11	2	127
四国	徳島県	1	1	5	3	1	1		12
	香川県		3		7	1	3		14
	愛媛県		2	7	1	5	3		18
	高知県			5	2	2	2		11
	計	1	6	17	13	9	9	0	55
九州	福岡県	1	14	30	19	8	10		82
	佐賀県		2	2	2	2	1		9
	長崎県	1	1	3	1	5	5		16
	熊本県		3	4	5	5	2		19
	宮崎県		1		1	2	2		6
	鹿児島県			2	2	1	3		8
	計	2	21	41	30	23	23	0	140
沖縄	沖縄県			2	2		2		6
無回答	無回答	2	23	32	40	24	17	2	139
総計		43	434	938	1001	614	406	10	3446

都道府県別就業実態データ

有効回答者の属性(性別)

	都道府県	男性	女性	無回答	計
東北	青森県	9	5		14
	岩手県	3	4		7
	宮城県	6	11		17
	福島県	6	5		11
	秋田県	4	2		6
	山形県	5	5		10
	計	33	32	0	65
関東	茨城県	16	21		37
	栃木県	8	6		14
	埼玉県	95	115		210
	千葉県	120	108	4	232
	東京都	330	503	8	841
	神奈川県	224	274	4	502
	山梨県	7	6		13
	計	800	1,033	16	1,849
北陸 信越	新潟県	6	9		15
	長野県	7	9		16
	富山県	12	10		22
	石川県	8	10		18
	計	33	38	0	71
中部	福井県	2	7		9
	岐阜県	10	19		29
	静岡県	29	25		54
	愛知県	58	74		132
	三重県	14	16		30
	計	113	141	0	254
近畿	滋賀県	12	19		31
	京都府	40	86	4	130
	大阪府	115	200	1	316
	兵庫県	77	117		194
	奈良県	22	37		59
	和歌山県	4	6		10
	計	270	465	5	740
中国	鳥取県	3	1		4
	島根県	5	2		7
	岡山県	8	18		26
	広島県	25	51	1	77
	山口県	4	9		13
	計	45	81	1	127
四国	徳島県	6	6		12
	香川県	9	5		14
	愛媛県	8	9	1	18
	高知県	5	6		11
	計	28	26	1	55
九州	福岡県	27	55		82
	佐賀県	6	3		9
	長崎県	12	4		16
	熊本県	6	12	1	19
	宮崎県	3	3		6
	鹿児島県	5	3		8
	計	59	80	1	140
沖縄	沖縄県	4	2		6
無回答	無回答	54	75	10	139
総計		1,439	1,973	34	3,446

都道府県別就業実態データ

有効回答者の属性(登録言語)

	都道府県	英語	フランス語	スペイン語	ドイツ語	中国語	イタリア語	ポルトガル語	ロシア語	韓国語	タイ語
東北	青森県	11			1	1				1	
	岩手県	4							1	2	
	宮城県	16		1							
	福島県	10	1								
	秋田県	5				1					
	山形県	6	1	1					2		
	計	52	2	2	1	2	0	0	3	3	0
関東	茨城県	26	1	1	1	4		2		2	
	栃木県	12			1	1					
	埼玉県	142	4	12	6	26	1		7	12	1
	千葉県	160	9	19	10	21	2	4	8	9	
	東京都	581	57	40	41	78	13	13	12	35	
	神奈川県	362	28	26	24	48	6	5	14	8	
	山梨県	10	1	1		1					
	計	1,293	100	99	83	179	22	24	41	66	1
北陸 信越	新潟県	12			2	2					
	長野県	11		1		3				1	
	富山県	15				4				2	
	石川県	13		1	1	1			1		
	計	51	0	2	3	10	0	0	1	3	0
中部	福井県	9									
	岐阜県	20		2		5		1		1	
	静岡県	40	2	2	1	6	1	1		1	
	愛知県	93	3	3	5	23	1	1	1	3	
	三重県	25		1		2				1	
	計	187	5	8	6	36	2	3	1	6	0
近畿	滋賀県	23	2	2		3				2	
	京都府	83	14	2	6	13	4	1	4	5	
	大阪府	224	8	17	12	36	2	1	7	19	1
	兵庫県	142	6	7	7	26	1		2	5	
	奈良県	45		2	2	9			2		
	和歌山県	5		2		1				2	
	計	522	30	32	27	88	7	2	15	33	1
中国	鳥取県	3		1		1					
	島根県	6				1					
	岡山県	19	1	1		1			1	3	
	広島県	59	1	2	1	13			1	2	
	山口県	13									
	計	100	2	4	1	16	0	0	2	5	0
四国	徳島県	10				2	1				
	香川県	14	1								
	愛媛県	16				1				1	
	高知県	10								1	
	計	50	1	0	0	3	1	0	0	2	0
九州	福岡県	56	2		3	14				7	
	佐賀県	7			1					1	
	長崎県	13	1			1				2	
	熊本県	15	1			2				1	
	宮崎県	5			1						
	鹿児島県	6				2					
	計	102	4	0	5	19	0	0	0	11	0
沖縄	沖縄県	5				1					
無回答	無回答	99	7	5	6	19	2		1	4	
総計		4,688	290	294	255	718	66	56	121	254	4

都道府県別就業実態データ

就業状況

	都道府県	専業	兼業	就業していない	無回答
東北	青森県		4	10	
	岩手県		2	5	
	宮城県	1	2	14	
	福島県		2	9	
	秋田県			6	
	山形県	2	1	7	
	計	3	11	51	0
関東	茨城県	1	4	30	2
	栃木県		3	11	
	埼玉県	22	27	161	
	千葉県	32	32	168	
	東京都	84	127	623	7
	神奈川県	60	68	373	1
	山梨県	2	2	9	
	計	201	263	1,375	10
北陸 信越	新潟県	1	5	9	
	長野県	1	3	12	
	富山県		3	19	
	石川県		3	14	1
	計	2	14	54	1
中部	福井県		2	7	
	岐阜県		5	24	
	静岡県		9	45	
	愛知県	6	21	103	2
	三重県		4	25	1
	計	6	41	204	3
近畿	滋賀県	4	7	20	
	京都府	31	35	63	1
	大阪府	40	59	216	1
	兵庫県	26	31	137	
	奈良県	5	7	47	
	和歌山県		2	8	
	計	106	141	491	2
中国	鳥取県			4	
	島根県		1	6	
	岡山県		5	21	
	広島県	5	22	50	
	山口県	2		11	
	計	7	28	92	0
四国	徳島県		1	11	
	香川県	1	1	12	
	愛媛県	2	3	13	
	高知県	1	1	9	
	計	4	6	45	0
九州	福岡県	5	25	52	
	佐賀県		3	6	
	長崎県	5	2	9	
	熊本県		5	14	
	宮崎県			6	
	鹿児島県		4	4	
	計	10	39	91	0
沖縄	沖縄県		4	2	
無回答	無回答	14	11	114	
総計		353	558	2,519	16

都道府県別就業実態データ

年間稼働日数

		1～30日	31～50日	51～100日	101～150日	151～200日	201～250日	251～300日	300日以上
東北	青森県	3							
	岩手県	2							
	宮城県	3							
	福島県	1							
	秋田県								
	山形県	4							
	計	13							
関東	茨城県	2	2						
	栃木県	3							
	埼玉県	24	10	4	5	3	3		
	千葉県	21	7	11	11	7	1		
	東京都	105	24	29	23	16	2	1	
	神奈川県	62	15	29	10	6		1	
	山梨県	3		1					
	計	220	58	74	49	32	6	2	0
北陸 信越	新潟県	5							
	長野県	3							
	富山県	2	1						
	石川県	3							
	計	13	1						
中部	福井県		1	1					
	岐阜県	3		2					
	静岡県	7	1						
	愛知県	21	4	4	1				
	三重県	2	1						
	計	33	7	7	1				
近畿	滋賀県	5	1	1	2	1			
	京都府	30	4	7	13	8	2		
	大阪府	62	14	12	4	4	1		
	兵庫県	33	8	5	6		2	1	
	奈良県	6	3	2	1				
	和歌山県	2							
	計	138	30	27	26	13	5	1	
中国	鳥取県								
	島根県								
	岡山県	4							
	広島県	16	4	4					
	山口県	2							
	計	22	4	4					
四国	徳島県								
	香川県	2							
	愛媛県	4		1					
	高知県	2							
	計	8		1					
九州	福岡県	20	3	2	1	1			
	佐賀県	2	1						
	長崎県	4	2						
	熊本県	5							
	宮崎県								
	鹿児島県	3		1					
	計	34	6	3	1	1			
沖縄	沖縄県	3	1						
総計		494	107	121	82	47	14	3	2

都道府県別就業実態データ

就業日数の増減

	都道府県	以前より増えている	以前より減っている	あまり変化は無い	その他
東北	青森県			3	
	岩手県			1	1
	宮城県			2	1
	福島県				1
	秋田県				
	山形県			3	
	計			9	3
関東	茨城県		1		3
	栃木県			2	1
	埼玉県	8	12	17	8
	千葉県	20	9	17	7
	東京都	45	36	68	35
	神奈川県	26	17	37	27
	山梨県	2	1		
	計	101	76	141	81
北陸 信越	新潟県		1	2	1
	長野県				2
	富山県	1		2	
	石川県		1	2	
	計	1	2	6	3
中部	福井県	1			
	岐阜県	2	2	1	
	静岡県	1	3		2
	愛知県	11	4	9	3
	三重県			2	1
	計	15	9	12	6
近畿	滋賀県	3	2	2	3
	京都府	26	9	20	7
	大阪府	26	13	35	15
	兵庫県	16	10	15	11
	奈良県	2	1	3	3
	和歌山県		1	1	
	計	73	36	76	39
中国	鳥取県				
	島根県				
	岡山県	1	2	1	
	広島県	11	1	8	2
	山口県		1		
	計	12	4	9	2
四国	徳島県				
	香川県			1	1
	愛媛県		1	3	1
	高知県			2	
	計		1	6	2
九州	福岡県	10	2	11	4
	佐賀県	1	2		
	長崎県	3	2	1	
	熊本県		1	2	1
	宮崎県				
	鹿児島県	1	1	2	
	計	15	8	16	5
沖縄	沖縄県	2			
無回答	無回答	6	1	14	4
総計		225	137	289	145

都道府県別就業実態データ

年収

	都道府県	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台以上
東北	青森県	3							
	岩手県	2							
	宮城県	3							
	福島県	1							
	秋田県								
	山形県	3							
	計	12							
関東	茨城県	2	1						
	栃木県	2	1						
	埼玉県	31	5	2	5	1	2	2	
	千葉県	27	8	9	7	3	1	1	
	東京都	121	26	19	18	8	1	3	
	神奈川県	75	20	17	7	2		1	
	山梨県	4							
	計	262	61	47	37	14	4	7	
北陸 信越	新潟県	6							
	長野県	4							
	富山県	3							
	石川県	3							
	計	16							
中部	福井県			1					
	岐阜県	3	2						
	静岡県	8							
	愛知県	23	1	3		1			
	三重県	3							
	計	37	3	4		1			
近畿	滋賀県	6	1	1	2				
	京都府	32	7	7	8	4	3	1	
	大阪府	66	11	10	2	1	2		
	兵庫県	37	6	2	5				1
	奈良県	8	3	1					
	和歌山県	1							
	計	150	28	21	17	5	5	1	1
中国	鳥取県								
	島根県	1							
	岡山県	4							
	広島県	20	3	1					
	山口県	1							
	計	26	3	1					
四国	徳島県								
	香川県	2							
	愛媛県	5							
	高知県	2							
	計	9							
九州	福岡県	23	1		1	1			
	佐賀県	3							
	長崎県	5	1						
	熊本県	5							
	宮崎県								
	鹿児島県	3	1						
	計	39	3		1	1			
沖縄	沖縄県	4							
無回答	無回答	12	1	2	5	2		2	
総計		567	99	75	60	23	9	10	1

都道府県別就業実態データ

業務内容

	都道府県	一般観光 (団体・日 帰り)	一般観光 (団体・宿 泊)	一般観光 (個人・日 帰り)	一般観光 (個人・宿 泊)	ホテル・空 港・駅等 の送迎	報奨旅行	国際会 議・大会	イベント・ 展示会	テクニカル ビジット	その他
東北	青森県		1	1	1					2	1
	岩手県		1	1							1
	宮城県	1	1	1	2					1	
	福島県							1			1
	秋田県										
	山形県			2					1		1
	計	1	3	5	3	0	0	1	1	3	4
関東	茨城県	1		1		1	1	1	2	1	
	栃木県	1		1					1	1	
	埼玉県	21	17	20	10	6	8	3	9	5	3
	千葉県	23	34	24	12	11	16	11	8	7	2
	東京都	80	74	90	38	34	50	33	34	34	16
	神奈川県	45	49	57	28	23	21	24	26	14	13
	山梨県	3	2		1	1			2		
	計	174	176	193	89	76	96	72	82	62	34
北陸 信越	新潟県	2	2	2		2			1	1	1
	長野県	1		1				1			
	富山県		3	1	1		1				1
	石川県			2	2			1		2	
	計	3	5	6	3	2	1	2	1	3	2
中部	福井県							1		1	
	岐阜県	1	1		2		1	2	4	2	1
	静岡県	4	2				1	2	6	1	
	愛知県	15	11	7	6	5	5	8	8	4	3
	三重県	2		2	1						
	計	22	14	9	9	5	7	13	18	8	4
近畿	滋賀県	7	4	5	1	1	2	2	1		
	京都府	32	36	37	17	10	16	10	3	9	2
	大阪府	54	31	48	17	17	17	18	10	12	3
	兵庫県	27	22	28	13	6	13	16	4	9	2
	奈良県	6	3	8			2	3	1	1	1
	和歌山県	1		1					2		
	計	127	96	127	48	34	50	49	21	31	8
中国	鳥取県										
	島根県	1									
	岡山県	1	1	2		1			1		
	広島県	14	3	16	1	3	1	1	2	1	2
	山口県	1									
	計	17	4	18	1	4	1	1	3	1	2
四国	徳島県										
	香川県	1	1		2						
	愛媛県	1			3			1	1		
	高知県		1		1			1		1	1
	計	2	2	0	6	0	0	2	1	1	1
九州	福岡県	17	15	3	4	4	4	9	1	3	6
	佐賀県	2		1	1	1		1	1		
	長崎県	4	1	2	2		1		1		1
	熊本県	5	1	2				1			
	宮崎県										
	鹿児島県	3	2	1			1	1			
	計	31	19	9	7	5	6	12	3	3	7
沖縄	沖縄県	3	3	2			1			1	
無回答	無回答	12	13	9	5	2	7	4	2	3	2
総計		392	335	378	171	128	169	156	132	116	64

都道府県別就業実態データ

活動地域

	都道府県	居住地内	全国各地	北海道	東北	関東	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
東北	青森県	1			1	1							
	岩手県	1			1								
	宮城県	1			2								
	福島県	1											
	秋田県												
	山形県	2				1							
	計	6	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0
関東	茨城県	1				3						1	
	栃木県	1				2							
	埼玉県	5	5			38	3	3	10	2	1	1	1
	千葉県	6	10	2		44	2	5	17	3		4	2
	東京都	107	30	5	3	100	4	10	46	8	3	8	3
	神奈川県	33	13	2	2	91	4	7	33	5	2	3	2
	山梨県	2	1			2			1	1			
	計	155	59	9	5	280	13	25	107	19	6	17	8
北陸 信越	新潟県	5				1			1				
	長野県	1				1		1					
	富山県	1	2					1					
	石川県	2					1						
	計	9	2	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0
中部	福井県					1							
	岐阜県	1	1			1		3	1				
	静岡県	1				3		6	1				
	愛知県	16				6	1	18	14				
	三重県	1				1		1	1				
	計	19	1	0	0	12	1	28	17	0	0	0	0
近畿	滋賀県	1				3		1	10		1		
	京都府	24	9	1		10	5	4	45	8	2	3	3
	大阪府	10	3	1		8	3	3	89	8	1	1	2
	兵庫県	3	5	1		5	2	3	49	8	2	2	2
	奈良県	2				2		1	11			1	1
	和歌山県								2				
	計	40	17	3	0	28	10	12	206	24	6	7	8
中国	鳥取県												
	島根県												
	岡山県	3								2			
	広島県	15							1	10			
	山口県	1											
	計	19	0	0	0	0	0	0	1	12	0	0	0
四国	徳島県												
	香川県	1				1			1		2		
	愛媛県	3								2	2		
	高知県	1	1										
	計	5	1	0	0	1	0	0	1	2	4	0	0
九州	福岡県	4	1			1			2			24	4
	佐賀県	2										2	
	長崎県	5		1		1						3	2
	熊本県	1										5	
	宮崎県												
	鹿児島県	1				1			1			3	2
	計	13	1	1	0	3	0	0	3	0	0	37	8
沖縄	沖縄県	2	1									1	1
無回答	無回答	6	5		1	11		1	15	1	1		
総計		274	87	13	10	339	25	68	351	58	17	62	25

都道府県別就業実態データ

未就業者の就業意思

	都道府県	将来的に就業するつもり	就業するか検討中	就業するつもりはない
東北	青森県	7	1	2
	岩手県	3		2
	宮城県	5	8	1
	福島県	5	3	1
	秋田県	3	1	2
	山形県		6	1
	計	23	19	9
関東	茨城県	9	12	9
	栃木県	4	5	2
	埼玉県	63	55	38
	千葉県	73	56	34
	東京都	259	218	134
	神奈川県	155	127	78
	山梨県	6		3
	計	569	473	298
北陸 信越	新潟県	2	2	4
	長野県	4	6	2
	富山県	5	6	8
	石川県	8	4	2
	計	19	18	16
中部	福井県	1	5	
	岐阜県	10	9	5
	静岡県	21	18	6
	愛知県	30	45	27
	三重県	9	10	6
	計	71	87	44
近畿	滋賀県	7	8	4
	京都府	27	25	9
	大阪府	99	63	52
	兵庫県	56	42	36
	奈良県	19	15	11
	和歌山県	3	5	
	計	211	158	112
中国	鳥取県	1	1	2
	島根県	4	1	1
	岡山県	8	10	3
	広島県	16	19	13
	山口県	3	7	1
	計	32	38	20
四国	徳島県	5	2	4
	香川県	3	7	2
	愛媛県	3	5	4
	高知県	6	1	2
	計	17	15	12
九州	福岡県	21	13	18
	佐賀県	3	2	1
	長崎県	2	4	3
	熊本県	5	4	4
	宮崎県	2	1	1
	鹿児島県	2	1	1
	計	35	25	28
沖縄	沖縄県	1	1	
無回答	無回答	46	38	26
総計		1,030	867	564

都道府県別就業実態データ

	都道府県	所属している	所属していない
東北	青森県	3	11
	岩手県	3	4
	宮城県	4	13
	福島県	1	9
	秋田県		6
	山形県	3	7
	計	14	50
関東	茨城県	6	31
	栃木県	2	12
	埼玉県	50	160
	千葉県	65	166
	東京都	241	592
	神奈川県	126	371
	山梨県	2	11
	計	492	1343
北陸 信越	新潟県	5	10
	長野県	3	13
	富山県	3	19
	石川県	3	14
	計	14	56
中部	福井県	1	8
	岐阜県	4	25
	静岡県	10	44
	愛知県	29	101
	三重県	7	22
	計	51	200
近畿	滋賀県	13	18
	京都府	53	75
	大阪府	106	207
	兵庫県	62	132
	奈良県	14	45
	和歌山県	2	8
	計	250	485
中国	鳥取県		4
	島根県	1	6
	岡山県	7	19
	広島県	45	32
	山口県	6	7
	計	59	68
四国	徳島県	4	8
	香川県	3	11
	愛媛県	7	10
	高知県	1	10
	計	15	39
九州	福岡県	46	35
	佐賀県	3	5
	長崎県	9	7
	熊本県	8	10
	宮崎県	1	5
	鹿児島県	4	4
	計	71	66
沖縄	沖縄県	4	2
無回答	無回答	35	103
総計		1,005	2,412

都道府県別就業実態データ

就業前研修参加経験

	都道府県	あり	なし
東北	青森県	6	8
	岩手県	3	4
	宮城県	11	5
	福島県	5	6
	秋田県	2	4
	山形県	6	4
	計	33	31
関東	茨城県	25	12
	栃木県	5	9
	埼玉県	130	75
	千葉県	150	78
	東京都	561	262
	神奈川県	343	148
	山梨県	8	5
	計	1222	589
北陸 信越	新潟県	8	6
	長野県	10	6
	富山県	9	13
	石川県	9	8
	計	36	33
中部	福井県	6	3
	岐阜県	19	10
	静岡県	34	18
	愛知県	60	71
	三重県	20	9
	計	139	111
近畿	滋賀県	24	7
	京都府	93	35
	大阪府	212	98
	兵庫県	122	66
	奈良県	39	19
	和歌山県	7	3
	計	497	228
中国	鳥取県	1	2
	島根県	4	3
	岡山県	20	5
	広島県	50	23
	山口県	9	4
	計	84	37
四国	徳島県	6	6
	香川県	10	4
	愛媛県	10	7
	高知県	4	7
	計	30	24
九州	福岡県	54	23
	佐賀県	4	5
	長崎県	8	8
	熊本県	13	6
	宮崎県	3	3
	鹿児島県	6	2
	計	88	47
沖縄	沖縄県	5	1
無回答	無回答	70	65
総計		2,204	1,166

北海道アンケート調査結果

通訳案内士に対するアンケート調査結果（概要）

調査期間：平成19年11～12月

調査対象者：北海道に登録している通訳案内士170人（当時）

回答数：64人

免許種類（人）：英語 45、フランス語 4、スペイン語 1、ドイツ語 2、
中国語 6、韓国語 6

問）資格を活用した割合は？（人）

- | | |
|-------------------------|----|
| ① 資格を活用した仕事のみを実施 | 1 |
| ② 主に資格を活用した仕事を実施 | 3 |
| ③ 資格を活用した仕事と活用しない仕事は同じ位 | 5 |
| ④ 主に資格を活用しない仕事を実施 | 11 |
| ⑤ 資格を活用した仕事は全く行っていない | 44 |

問）資格を活用した仕事はどのような経路で紹介を受けるか？（人）

（活用した仕事を行っている方のみが回答、複数回答あり）

- | | |
|-----------|---|
| ① 加入団体 | 8 |
| ② 旅行会社 | 5 |
| ③ 人材派遣会社 | 3 |
| ④ 任意団体 | 2 |
| ⑤ 自分でのみ活動 | 6 |
| ⑥ その他 | 6 |

「通訳案内士に関するアンケート」集計票

- 調査期間：平成19年11～12月
 ○ 調査対象者：北海道に登録している通訳案内士170人（当時）のうち不明者46人を除く124人
 ○ 回答者数：64人

【問3】 所有免許証の外国語

	①英語	②フランス語	③スペイン語	④ドイツ語	⑤中国語	⑥ロシア語	⑦韓国語	合計
人 員	45	4	1	2	6	0	6	64
構 成 比	70.3%	6.3%	1.6%	3.1%	9.4%	0.0%	9.4%	

【問4】 団体への加入状況

- ① 日本観光通訳協会に加入 ② 全日本有訳案内士連盟に加入
 ③ その他に加入 ④ 加入していない

全 体	①	②	③	④	合計
人 員	6	3	5	47	61
構 成 比	9.8%	4.9%	8.2%	77.0%	

【問5】 資格を活用した仕事を行っているか？

- ① 資格を活用した仕事のみを行っている ② 主に資格を活用した仕事を行っている
 ③ 資格を活用した仕事と活用しない仕事を同じくらい行っている ④ 主に資格を活用しない仕事を行っている
 ⑤ 資格を活用した仕事は全く行っていない

全 体	①	②	③	④	⑤	合計
人 員	1	3	5	11	44	64
構 成 比	1.6%	4.7%	7.8%	17.2%	68.8%	

【問6】 資格を活用しない仕事を行っている理由は？（問5で①～④の回答者のみ、複数回答あり）

- ① 資格を活用する仕事以外の仕事を希望しているため
 ② 資格を活用したいが仕事の量が少ないため
 ③ その他

全 体	①	②	③	合計
回 答 数	7	31	25	63
構 成 比	11.1%	49.2%	39.7%	

【問7】 どのような経路で仕事の紹介を受けているか？（問5で①～④の回答者のみ、複数回答あり）

- ① 加入団体 ② 旅行会社 ③ 人材派遣会社 ④ 任意団体 ⑤ 自分で活動 ⑥ その他

全 体	①	②	③	④	⑤	⑥	合計
回 答 数	8	5	3	2	6	6	30
構 成 比	26.7%	16.7%	10.0%	6.7%	20.0%	20.0%	

【問8】 語学力を活用してどのような仕事を行っているか？（複数回答あり）

- ① 通訳ガイド ② 会議通訳 ③ 企業通訳 ④ イベント通訳
 ⑤ 翻 訳 ⑥ 海外添乗 ⑦ その他

全 体	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
回 答 数	14	8	6	12	21	2	33	96
構 成 比	14.6%	8.3%	6.3%	12.5%	21.9%	2.1%	34.4%	

【問9】 どのような理由で通訳ガイド以外の仕事を行っているか？（問8で②～⑦の回答者のみ）

- ① 通訳ガイド以外の仕事の方が報酬が高いから
 ② 通訳ガイド以外の仕事の方が自分の能力・技能に合致しているから
 ③ 通訳ガイドの仕事が少ないから
 ④ その他

全 体	①	②	③	④	合計
人 員	8	7	30	12	57
構 成 比	14.0%	12.3%	52.6%	21.1%	

【問10】 通訳ガイドの仕事としてどのような仕事を行っているか？（問8で①の回答者のみ、複数回答あり）

- ① 観光案内 ② ショッピング ③ 送迎（空港、駅等） ④ VIP随行 ⑤ その他

全 体	①	②	③	④	⑤	合計
回 答 数	12	6	8	6	3	35
構 成 比	34.3%	17.1%	22.9%	17.1%	8.6%	

【問11】 観光ガイドとしてどのような顧客を対象として行っているか？（問8で①の回答者のみ、複数回答あり）

- ① 台湾・団体 ② 台湾・小グループ家族 ③ 台湾・個人
 ④ 韓国・団体 ⑤ 韓国・小グループ家族 ⑥ 韓国・個人
 ⑦ 香港・団体 ⑧ 香港・小グループ家族 ⑨ 香港・個人
 ⑩ 中国・団体 ⑪ 中国・小グループ家族 ⑫ 中国・個人
 ⑬ その他

全 体	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
回 答 数	0	1	0	0	0	0	2
構 成 比	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
全 体	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	合計
回 答 数	1	0	1	2	0	25	30
構 成 比	3.3%	0.0%	3.3%	6.7%	0.0%	83.3%	

【問12】 免許取得者名簿について、道庁ホームページでの掲載を希望するか？

- ① 氏名・住所・電話・FAX・E-mailまで希望
 ② 氏名・住所まで希望
 ③ 氏名・住所（市町村名まで）まで希望
 ④ 希望しない

全 体	①	②	③	④	合計
人 員	25	8	12	16	61
構 成 比	41.0%	13.1%	19.7%	26.2%	

【問13】 「通訳ガイド検索システム」への登録を希望するか？

- ① 希望する ② 希望しない ③ わからない

全 体	①	②	③	合計
人 員	20	15	29	64
構 成 比	31.3%	23.4%	45.3%	

「通訳ガイド検索システム」へ登録する場合の妥当な年会費は？

- ① 3,000円未満
 ② 3,000円以上6,000円未満
 ② 6,000円以上10,000円未満
 ③ 10,000円以上

全 体	①	②	③	④	合計
人 員	8	5	1	3	17
構 成 比	47.1%	29.4%	5.9%	17.6%	

【問14】 スキルアップに関する講習会の受講を希望するか？

- ① 希望する ② 希望しない ③ わからない

全 体	①	②	③	合計
人 員	45	6	13	64
構 成 比	70.3%	9.4%	20.3%	

【問15】 北海道で通訳ガイド団体が創設された場合、加入を希望するか？

- ① 希望する ② 希望しない ③ わからない

全 体	①	②	③	合計
人 員	34	8	22	64
構 成 比	53.1%	12.5%	34.4%	